松山市埋蔵文化財調查年報 13

平成12年度

2001

松山市埋蔵文化財調査年報 13

平成 12 年度

2 0 0 1



巻頭図版 1 船ヶ谷遺跡 4 次調査地 S R 1 出土 陶質土器 古墳時代中期



巻頭図版 2 船ヶ谷遺跡 4 次調査地 S R 1・ S K 24出土 ミニチュア製品(甲・冑・盾) 古墳時代中期



巻頭図版 3 久米高畑遺跡49次調査地完掘状況(南西より)

松山市には、数多くの貴重な埋蔵文化財があります。財団法人松山市生涯学習振興財団 埋蔵文化財センターでは、開発事業等によって失われようとしている遺跡について、事前 に発掘調査を行うことによって記録保存に努めています。

本書は、平成12年度に埋蔵文化財センターならびに松山市考古館が主体となって実施 した発掘調査と、展示会、講演会などの教育普及活動の概要をまとめたものです。

本年度の発掘調査では、古くは弥生時代前期から新しくは中・近世に至るまでの数多くの遺構や遺物を発見しています。特に、船ヶ谷遺跡 4 次調査地では、朝鮮半島で製作された陶質土器や祭祀にまつわる土器が多数出土するなど、古墳時代における朝鮮半島との交易・交流を示す貴重な資料を得ています。また、松ヶ谷遺跡では、弥生時代後期の竪穴式住居址と区画溝を検出し、弥生時代の高地性集落の構造を解明する貴重な資料を得ています。さらに、桑原遺跡 4 次調査地からは、松山市で初めての炭焼き窯が検出され中・近世の集落構造を究明するうえで、貴重な成果を得ることが出来ました。

このような、貴重な資料が得られましたのも、関係各位の埋蔵文化財に対する深いご理解とご協力のたまものと感謝し、厚くお礼申し上げますと共に、今後とも、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本書が、松山市民をはじめ、ひとりでも多くの方々に埋蔵文化財に対する知識の向上と調査研究のための資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

平成13年10月31日

財団法人松山市生涯学習振興財団 理事長 中 村 時 広

例 言

- 1 本書は、松山市教育委員会と財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センターが、平成12年 4月1日から平成13年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った教育普及事業の成果等をまとめた年次報告書である。
- 2 確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要をまとめた。
- 3 各調査の報告は、調査担当者が執筆した。なお、編集は髙尾和長が行った。
- 4 遺物写真のすべてと、遺構写真の大半を、大西朋子が撮影した。
- 5 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。
- 6 遺構は、以下の略号で示した。

SA:柵、柱列 SB:竪穴式住居址 掘立:掘立柱建物址 SD:溝 SE:井戸

SK:土坑 SP:柱穴 SR:自然流路 SX:性格不明遺構

- 7 各図の方位は、国土座標第4座標系に基づく座標北を基本とする。磁北の場合には、方位の上に 「磁北」と記入した。
- 8 刊行組織は以下のとおりである。

刊行主体〔平成13年10月31日現在〕

松山市教育委員会 教 育 長 中矢 陽三 局 大西 正氣 事 務 局 長 川口 岸雄 次 長 一色 巧 企 画 官 馬場 洋 文 課 長 化 財 課 (財)松山市生涯学習振興財団 理 事 長 中村 時広 事務局長 二宮 正昌 江戸 孝 事務局次長 事務局次長 森 和朋 埋蔵文化財センター 所 長 中川 隆 専 門 監 野本 力

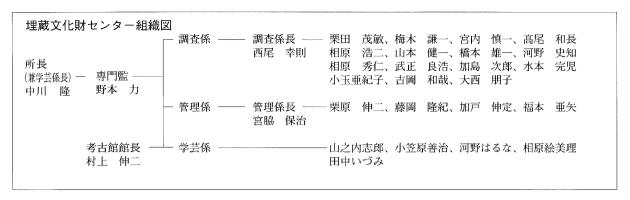
9 製版 カラー写真・写真図版-175線

印刷 オフセット印刷

用紙 カラー写真・本文 マットコート

製本 アジロ綴り

文化財課組織図(埋蔵文化財・史跡整備関係のみ) 調査員 - 主任 主事 課長 -主幹 副主幹 -奥村 康男 政本 和人 栗田 正芳 馬場 洋 八木 方人 田城 武志 小笠原 彰 主査 主事 重松 佳久 西森 一博 楠 寬輝



10 整理作業の協力者は、次のとおりである(順不同)。

池田學・水口あをい・山下満佐子・平岡直美・大西陽子・日之西美春・西本三枝・山邊進也・萩野ちよみ・吉井信枝・篠森千里・渡部英子・青野茂子・西川千秋・松本美代子・徳田朱美・森田利恵・黒田竜弥・宮内真弓・中村紫・田﨑真理・安井由起美・大野裕子・猪野美喜子・岡本邦栄・東山里美・髙尾久子・金子育代・仙波千秋・仙波ミリ子・高松健太郎・後藤公克・神野元・尾崎正・野本美登里・丹生谷道代・築山知子・矢野久子・多知川富美子・木下奈緒美・岩本美保・村上真由美・玉井順子・福島利恵・末光美恵・新藤奈緒子・菅原紗代・平岡華美・泉実希・吉岡智美・山之内聖子・清家忍・山口由浩・矢野妙・佐々木香・玉井裕子・石丸由利子・松下郁子・福岡志保美・渡辺佐代枝・渡辺真琴

11 以下の方々より、ご指導、ご協力をいただいた(平成12年度・順不同・敬称略)。

坂井秀弥(文化庁記念物課)/阿部義平(国立歴史民俗博物館)/松本修自(東京国立文化財研究所)/山中敏史(奈良国立文化財研究所)/林部均(奈良県立橿原考古学研究所)/上原真人(京都大学大学院)/前園美知雄(奈良芸術短期大学)/内田俊秀(京都造形芸術大学)/本田光子(別府大学)/下條信行(愛媛大学)/松原弘宣(愛媛大学)/田﨑博之(愛媛大学)/村上恭通(愛媛大学)/川岡勉(愛媛大学)/吉田広(愛媛大学)/三吉秀充(愛媛大学)/渡辺智恵美(附元興寺文化財研究所)/「古田広(愛媛大学)/三吉秀充(愛媛大学)/渡辺智恵美(附元興寺文化財研究所)/「古田広(愛媛大学)/中野良一(財愛媛県埋蔵文化財調査センター)/東田書兄(財愛媛県埋蔵文化財調査センター)/東田書兄(財愛媛県埋蔵文化財調査センター)/柴田書兄(財愛媛県埋蔵文化財調査センター)/柴田書子(財愛媛県埋蔵文化財調査センター)/森光晴(愛媛考古学協会)/長井数秋(日本考古学協会)/大澤正巳(日本考古学協会)/定森秀夫(京都文化博物館)/亀田修一(岡山理科大学)/渡部明夫(香川県歴史文化博物館)/一山典(徳島市立歴史資料館)/松岡宏一(瀬戸内海歴史民俗資料館)/藤川智之(財徳島県埋蔵文化財センター)/浅岡俊夫(六甲山麓遺跡調査会)/竹内直文(磐田市教育委員会)/正岡睦夫(岡山県古代吉備文化財センター)/多田仁(財愛媛県埋蔵文化財調査センター)/劉振東(中国社会科学院考古研究所)/山内英樹(財愛媛県埋蔵文化財調査センター)/田内逸武(東雲神社)/藤田三郎(田原本町教育委員会)

12 ご指導、ご協力をいただいた機関は、次のとおりである(平成12年度・順不同・敬称略)。

文化庁/奈良国立文化財研究所/京都造形芸術大学文化財保存科学研究室/愛媛大学法文学部考古学研究室/愛媛大学埋蔵文化財調査室/奈良県立橿原考古学研究所ならびに同附属博物館/愛媛県歴史文化博物館/愛媛県立歴史民俗資料館/下関市立考古博物館/桜井市文化財協会/愛媛県教育委員会/財愛媛県埋蔵文化財調査センター/財元興寺文化財研究所/㈱京都科学/㈱古環境研究所/伊予市教育委員会/北条市立ふるさと館/重信町歴史民俗資料館

本文目次

L	平成12年度 松田市理威又化射調登燃发	
	船ヶ谷遺跡4次調査地	2
	桑原遺跡 4 次調査地	8
	東本遺跡 6 次調査地	12
	釜ノ口遺跡10次調査地	· 16
	西石井荒神堂遺跡 2 次調査地	18
	筋違P遺跡	· 22
	北久米遺跡 2 次調査地	· 26
	松ヶ谷遺跡	. 30
	五楽遺跡 3 次調査地	. 34
	来住町遺跡10次調査地	
	来住町遺跡11次調査地	
	久米高畑遺跡46次調査地	. 48
	久米高畑遺跡47次調査地	
	久米高畑遺跡48次調査地	• 54
	久米高畑遺跡49次調査地	• 56
	久米高畑遺跡50次調査地	
	来住廃寺26次調査地	
	来住廃寺27次調査地	
	公共工事に伴う確認調査 I	
	公共工事に伴う確認調査Ⅱ	
	久米官衙遺跡群~回廊北方官衙における土地の利用形態について~	• 74
Ι	平成12年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
	松山市埋蔵文化財確認調査一覧	
	松山市埋蔵文化財本格調査一覧	
	[平成12年度 保存処理及び出土遺物整理	• 93
	1.出土遺物整理の概要 2.保存処理事業 Ⅰ 3.保存処理事業 Ⅱ 4.朝日谷2号墳出土の線刻鉄鏃	
	5.絵画・線刻土器一覧 6.〈補遺〉船ヶ谷遺跡3次調査地出土遺物曲物の保存処理について	
[平成12年度 啓蒙普及事業	135
	1.展示活動 2.教育普及活動 3.収集・保管活動 4.広報・出版活動 5.施設の利用	
	6.資料の貸出 7.職員研修・会議 8.松山市文化財情報館	

挿図・写真目次

卷頭図	版1 船ヶ谷遺跡4次調査地SR1出	上陶質土	22	
巻頭図	版 2 船ヶ谷遺跡4次調査地SR1・5	S K24出	土ミニチュア土製品(甲・冑・盾)	
巻頭図	版 3 久米高畑遺跡49次調査地完掘状	:況(南西	まより)	
船ヶ名	; 遺跡 4 次調査地	•••••		2
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真 1	SR1検出状況(東より)	
図 2	遺構配置図(縮尺1:300)	写真 2	SK1検出状況(北より)	
		写真3	掘立2完掘状況(南東より)	
		写真 4	SK10壺棺検出状況(南より)	
		写真 5	SK7泥除未製品出土状況(西より)	
		写真 6	SK14遺物出土状況(南より)	
		写真 7	SB1完掘状況(南より)	
		写真8	須恵器횷出土状況(南より)	
		写真9	陶質土器出土状況(南西より)	
		写真10	SK24遺物出土状況(北東より)	
		写真11	SK24井戸枠出土状況(南東より)	
桑原遣	遺跡 4 次調査地			8
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真1	1区完掘状況 (西より)	
図 2	1区遺構配置図(縮尺1:160)	写真 2	2区第V層上面遺構完掘状況(南西より)	
図 3	2区遺構配置図(縮尺1:160)			
東本遺	遺跡 6 次調査地	•••••	•••••	12
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真 1	SB1検出状況(北より)	
図 2	1区遺構配置図(縮尺1:200)	写真 2	2区遺構検出状況(東より)	
図 3	2 区遺構配置図(縮尺 1:200)			
				16
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真 1	遺構完掘状況(北より)	
			SB1遺物出土状況(北東より)	
				.8
図 1				
図 2	遺構配置図(縮尺1:120)	写真 2	SK1遺物出土状況(南東より)	
	SK1出土遺物実測図(縮尺1:4)			
				2
図 1			SB13竃ならびに甕検出状況(東より)	
	遺構配置図(縮尺1:150)		遺構検出状況(東より)	
図 3	出土遺物実測(縮尺1:4、1:3)			

北久米	遺跡 2 次調査地			26
図 1	調査地位置図(縮尺 1:25,000)	写真 1	遺構完掘状況(西より)	
図 2	遺構配置図(縮尺1:150)	写真 2	SB3遺物出土状況(西より)	
	出土遺物実測図(縮尺1:3、1:4)			
松ヶ谷	遺跡			30
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真 1	SB1完掘状況(西より)	
図 2	遺構配置図(縮尺1:150、1:2,000)	写真 2	SD1完掘状況(北より)	
	出土遺物実測図(縮尺1:4、1:3、			
五楽遺	跡 3 次調査地			34
図 1	調査地位置図(縮尺 1:25,000)	写真1	調査地全景(南より)	
図 2	調査地測量図(1)(縮尺1:1,000)	写真2	2区全景(南東より)	
	調査地測量図(2)(縮尺1:1,000)			
	平井谷2号墳石室測量図(縮尺1:30)			
				40
	調査地位置図(縮尺 1:25,000)			
	遺構配置図(縮尺1:150)			
				44
	調査地位置図(縮尺 1:25,000)			
図 2	遺構配置図(縮尺1:200)			
			掘立2完掘状況(東より)	
				48
	調査地位置図(縮尺 1:25,000)			
	調査地と正倉院周辺(縮尺1:2,000)	写真 2	SD001遺物出土状况(西より)	
図3				
			===+ b A = /== b b b	52
	調査地位置図(縮尺 1:25,000)	与具Ⅰ	調査地全景(四より)	
	遺構配置図(縮尺1:120)			- 1
			************************************	54
	調査地位置図(縮尺1:25,000)		遺情候出状况 (留果より)	
	「回廊状遺構」と調査地(縮尺 1:2,0			
			マ本準を提合を建設には10年とり	56
			区画溝と掘立柱建物群検出状況(南より)	
	遺構配置図(縮尺1:200)			
	出土遺物実測図(縮尺1:3)		SD007週物快出状况(北より)	69
				OZ
	調査地位置図(縮尺 1:25,000)			
凶 2	遺構配置図(縮尺1:250)			
		子具 3	SB4完掘状況(西より)	

来住廃	寺26次調査地		
図 1	調査地位置図(縮尺 1:25,000)	写真 1	礎石検出状況 (西より)
図 2	基壇測量図(縮尺1:200)		
来住廃	寺27次調査地		68
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真 1	調査地全景(南より)
図 2	調査区平・断面図(縮尺1:150)	写真 2	SP9周辺調査状況(南南東より)
久米地	区公共事業に伴う確認調査 Ι …		70
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真 1	掘削状況 (西より)
		写真 2	作業風景 (西より)
		写真3	SB1遺物出土状況(1)(東より)
		写真4	SB1遺物出土状況(2)(東より)
		写真 5	SD1完掘状況 (北東より)
		写真 6	SD1遺物出土状況(北西より)
		写真7	SD2完掘状況 (北東より)
		写真8	SX1完掘状況(北より)
久米地	区公共事業に伴う確認調査 Ⅱ …	•••••	······································
図 1	調査地位置図(縮尺1:25,000)	写真 1	T1大溝完掘状況(北より)
図 2	調査地と大溝の位置(縮尺1:2,000)		
久米官	衙遺跡群 ~回廊北方官衙におけ	る土地の	利用形態について~74
図 1	回廊北方官衙の建物配置(縮尺1:1	,000)	
図 2	久米官衙遺跡群全体図(縮尺1:2,00	00)	
保存処	理及び出土遺物整理	•••••	93
図 1	農具類実測図(1)(縮尺1:10、1:12)	写真 1	来住町遺跡 8 次調査地出土鉄鎌(処理前)
図 2	農具類実測図 (2) (縮尺1:4、1:8、1:12)	写真 2	来住町遺跡 8 次調査地出土鉄鎌(処理後)
図 3	農具類実測図(3)(縮尺1:4、1:6、1:8)	写真3	久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀 (持ち込み状況)
図 4	工具類実測図(縮尺1:8)	写真4	久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀(持ち込み状況)
図 5	紡織具類実測図(縮尺1:8)	写真 5	久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀(土器切り離し状況)
図 6	武器・馬具類実測図(縮尺1:4、1:8、1:	10, 1:12)	写真 6 久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀
			(クリーニング後)
図 7	服飾具類実測図(1)(縮尺1:2、1:4)	写真7	辻遺跡出土鍔 (処理前)
図 8	服飾具類実測図(2)(縮尺1:4、1:8)	写真8	辻遺跡出土鍔 (処理後)
図 9	容器類実測図(1)(縮尺1:10)	写真 9	船ヶ谷遺跡4次調査地出土獣骨(処理前)
図10	容器類実測図(2)(縮尺1:4、1:8、1:12)	写真10	船ヶ谷遺跡4次調査地出土獣骨(処理後)
図11	容器類実測図(3)(縮尺1:6、1:8、1:10)	写真11	北梅本北池遺跡出土獣歯 (処理前)
図12	楽器類実測図(縮尺1:8)	写真12	北梅本北池遺跡出土獣歯(処理後)
図13	食事具類実測図(縮尺1:4、1:8)	写真13	船ヶ谷遺跡4次調査地井戸木製遺物出土状況
図14	木簡類実測図(縮尺1:4)	写真14	遺物取り上げ作業(船ヶ谷遺跡4次調査地井戸)
図15	祭祀具類実測図(1)(縮尺1:4、1:10)	写真15	土層剥ぎ取り作業(船ヶ谷遺跡4次調査地にて)

図16	祭祀具類実測図(2)(縮尺1:4)	写真16	剥ぎ取り土層	(船ヶ名	予遺跡4次調	[查地]	
図17	祭祀具類実測図(3)(縮尺1:4、1:6)	写真17	鷹ノ子町遺跡	1次調査	地出土の八	、稜鏡	
図18	雜具類実測図(縮尺1:4、1:6、1:10、1:12)	写真18	朝日谷2号墳出	出土の線	刻鉄鏃		
図19	弥生時代前期末~中期の絵画・線刻土器	导(縮尺1	: 4, 1:6)	写真19	絵画・線	刻土器	(1)
図20	弥生時代後期の絵画・線刻土器(福音小学	学校構内道	遺跡)(縮尺1:6)	写真20	絵画・線	刻土器	(2)
図21	弥生時代後期の絵画・線刻土器(縮尺 1	: 6)		写真21	絵画・線	刻土器	(3)
図22	弥生時代後期末~古墳時代初頭の	写真22	船ヶ谷遺跡3き	欠調査地	出土の曲物	J	
	絵画・線刻土器(縮尺1:3、1:6)						
図23	古墳時代の線刻土器(縮尺1:6)						
啓蒙普	及事業						• 135
写真 1	夏の企画点「Let's Challenge君も今日カ	ゝら"古作	弋職人"展!」				
写真 2	2 特別展記念講演会						
写真3	3 特別収蔵品展記念講演会						
写真4	4 ガラス勾玉(体験学習)						
写真 5	5 チャレンジ考古学 V						

表目次

松山市	5埋蔵文化財調査関係資料 77
表 1	平成12年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧
表 2	平成12年度松山市埋蔵文化財本格調査一覧
保存处	L理及び出土遺物整理
表 1	平成12年度金属製品保存処理遺跡名一覧
表 2	平成12年度動物遺骸体保存処理遺跡名一覧
表3	平成12年度調査出土木製遺物、金属製遺物、動・植物遺体一覧
表 4	農具類所蔵一覧
表 5	工具類所蔵一覧
表 6	農撈具類所蔵一覧
表 7	紡織具類所蔵一覧
表8	武器・馬具類所蔵一覧
表 9	服飾具類所蔵一覧
表10	容器類所蔵一覧
表11	楽器類所蔵一覧
表12	食事具類所蔵一覧
表13	木簡類所蔵一覧
表14	祭祀具類所蔵一覧
表15	雜具類所蔵一覧
	絵画・記号土器所蔵一覧
啓蒙普	· 及事業 ······· 135
表 1	展示活動
表 2	教育普及活動(調査研究会)
表3	教育普及活動 (講演会)
表 4	教育普及活動 (体験学習セミナー)
表 5	教育普及活動 (現地説明会)
表 6	教育普及活動 (職場体験学習)
表 7	教育普及活動(考古学講座)
表8	広報・出版活動(展示・行事等)
表 9	広報・出版活動(調査報告書等)
表10	施設の利用(瀬戸内海考古学研究会)
表11	施設の利用(愛媛考古学協会)
表12	資料の貸出・利用
表13	職員研修・会議
表14	平成12年度考古館月別入館者数調(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

I 平成12年度 松山市埋蔵文化財調査概要

船ヶ谷遺跡4次調査地

所在地 松山市西長戸町638-1外3筆

期 間 平成12年4月10日~同年9月29日

面 積 2,881 m²

担 当 髙尾和長・山之内志郎



図1 調査地位置図

経 過 本調査は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地「No173 東山町古墳群」内における松山市北部複合福祉施設建設に伴う事前発掘調査である。調査地は、松山平野北部を北流する久万川の沖積低地に立地する。調査地周辺には縄文時代・古墳時代・中世の集落関連遺構が数多く検出されている。本調査地から北には縄文時代晩期の基準資料が出土した船ケ谷遺跡や大渕遺跡があり、西隣には5世紀前半の自然流路が確認された船ケ谷遺跡2次調査地、北東150mには中世の農村的集落が確認された同遺跡3次調査地がある。また西方の丘陵上には5世紀末の前方後円墳である船ケ谷向山古墳と南西方に同時期の周溝内祭祀が行われた船ケ谷三ツ石古墳がある。これらのことから本調査は、弥生時代と古墳時代の集落関連遺構の広がりと構造解明を主目的として調査を行った。

遺構・遺物 基本層位は8層に分層でき、第 I 層耕作土、第 II 層旧耕作土と旧床土の互層、第 II 層灰色粗砂質土、第 IV 層灰色シルト、第 VI 層褐色シルト、第 VI 層褐色シルト、第 VI 層暗灰色粘質土(遺物包含層)、第 II 層地山である。検出した遺構は弥生時代と古墳時代のものであり、自然流路 1 条、竪穴式住居址 1 棟、掘立柱建物跡 6 棟、土坑26基、溝 4 条、柵列 3 条、柱穴120基、性格不明遺構 2 基である。遺物は土製品(弥生土器、土師器、須恵器、陶質土器、朝鮮系軟質土器、分銅形土製品、ミニチュア土製品)、石製品(石鏃、石庖丁、石斧、石錘、砥石、磨石、敲石、台石)、滑石製品(紡錘車、有孔円板、勾玉、管玉、臼玉)、木製品(農具、井戸枠、柱材、杭材)、鉄製品、種子、歯牙がある。

これらのうち自然流路SR1は弥生時代前期から古墳時代後期までの長期間にわたって存在していたため最初に記述し、その後主要な遺構を時代ごとに列記する。

[弥生時代前期~古墳時代後期] 当該期の遺構は自然流路1条がある。SR1は南東から北西方向へ向かって蛇行しながら流れている。規模は検出長56m、上場幅28~30mを測り、深さ10~92cmの厚みで堆積している。断面形態はレンズ状を呈する。上流と下流の川幅はほぼ同じである。土層の堆積状態から3層に分かれ、1層暗灰色粗砂質土(最終埋没:古墳時代後期)、2層黒色粘質土(最終埋没:古墳時代中期)、3層黒色粗砂質土(最終埋没:弥生時代後期~古墳時代初頭)である。SR1内からは膨大な量の土製品、石製品、滑石製品、木製品、鉄製品、種子、歯牙が出土した。

[弥生時代前期] SK1は円形の土坑内に意図的に底部を打ち割った弥生土器の壺形土器が正位置で据え置かれていた。遺物の出土状態から井戸または集水施設と考えられる。土器内からの出土遺物はなかった。またSK10は楕円形の土坑内に壺形土器(棺身)の底部を下にして斜倒状に据え置き、口縁部を鉢形土器(棺蓋)で覆い被せた組合せ式の土器棺である。土器内からの出土遺物はなかった。

〔弥生時代後期~古墳時代初頭〕 SK7とSK13からは農具未製品と製品が出土した。SK7の平面 形態は楕円形を呈し、土坑の底面付近で泥除未製品が出土した。SK13の平面形態は楕円形を呈し、 土坑中位から土師器に混じってナスビ形木製品が出土した。

[古墳時代前期] S K14はほぼ中央に木柱が立てられていた。出土状況は丸材の表面に手斧と思われる加工痕があり、小口は水平に削っている。木柱の周囲からは完形の土師器の甕形土器や小型丸底壺などが出土した。また S K22もほぼ中央に同様の加工を施した木柱が立てられていた。

[古墳時代中期] S K24の平面形態は不整形を呈し、遺物の出土状態は完形品に近い土師器や須恵器のほかミニチュア土製品、石庖丁、臼玉が土坑の北東部掘り方から土坑中央へ向けて斜倒状に折り重なるように出土した。さらにその下層では、四方に木杭を打ち込み、その外側に立て掛けるように長方形の板材(井戸枠) 1 枚が置かれていた。

〔古墳時代後期〕SB1の平面形態は一辺が5.76mの方形を呈し、東側は調査区外である。出土した土師器の年代と切り合い関係から6世紀中葉と考えられる。

掘立1は南北棟で8間×3間の建物である。出土した土師器の年代と切り合い関係から6世紀前半以降とする。また掘立2は南北棟で8間×2間の建物である。出土した土師器の年代から、5世紀末~6世紀中葉とする。

小 結 本調査では弥生時代と古墳時代の遺構と遺物を検出した。SR1は土層堆積状況から、弥生時代前期から古墳時代後期までの長い年月の間に河川として機能していた時期と、逆に水量がほとんどなく沼地化していた時期が繰り返されていたと考えられる。

弥生時代前期にはSR1が本格的な河川ではなく、雨水や自然に湧きだしてくる水が最低地部に溜まる程度の凹地と推定される。この時期にはSR1の西側岸辺において土器を井戸枠に利用した井戸または水を溜めるための集水施設(SK1)があり、土器棺(SK10)がSR1東岸のやや小高い位置に埋葬されていることから、当時の集落域はSR1より西方にあったと推定される。

弥生時代後期~古墳時代初頭には土層の堆積状態からみて、SR1はある程度の水量をもって流れていたものと推定される。その後古墳時代前~中期には、時々水が流れる程度の沼地化した状態であったと思われる。このSR1内では完形に近い陶質土器のほか滑石製品が出土し、また十数点の須恵器の聴が口縁部を打ち割られて底部を上にして出土するなど、祭祀を行ったと推定される状況も見受けられる。その他、SK24では遺物の出土状況からみて井戸の廃棄に伴う祭祀に使用されたと考えられる土器や土製品が出土している。

また中期には掘立柱建物(掘立3・掘立5)や柵列(SA3)などの構築物が建てられ、SR1の東側に居住域としての土地利用が本格的に始まる時期である。特に中期末から後期にかけては、西方に位置する船ケ谷向山古墳や船ケ谷三ツ石古墳に葬られた人物が居住していた集落が存在していたものと推定される。

後期には、SR1はほとんど埋没し陸地化しており、中央付近に幅が狭く水量の少ない河川が存在していたものと考えられる。SR1の東側に竪穴式住居(SB1)や大型掘立柱建物(掘立1・掘立2)が建てられていることから、居住域が東方へ展開している様子をうかがい知ることができる。

以上、本調査によって弥生時代と古墳時代の集落の展開がより一層明らかになったとともに、多くの課題も残った。今後はこうした課題について周辺地域を含めて個々に比較検討を加えていきたい。

(山之内)

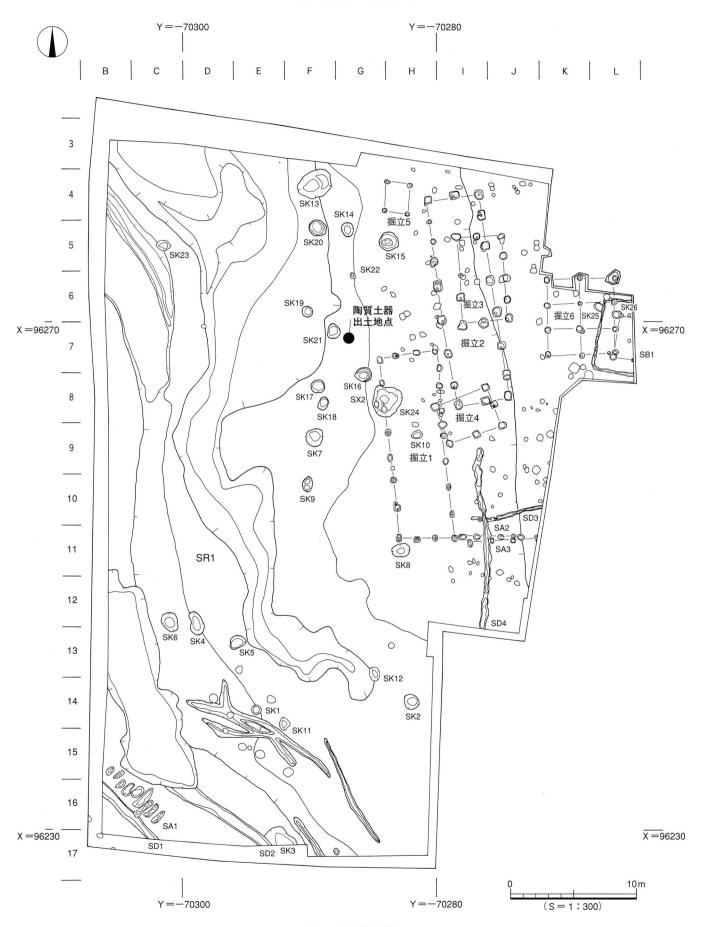


図2 遺構配置図



写真1 SR1検出状況(東より)



写真2 SK1検出状況(北より)

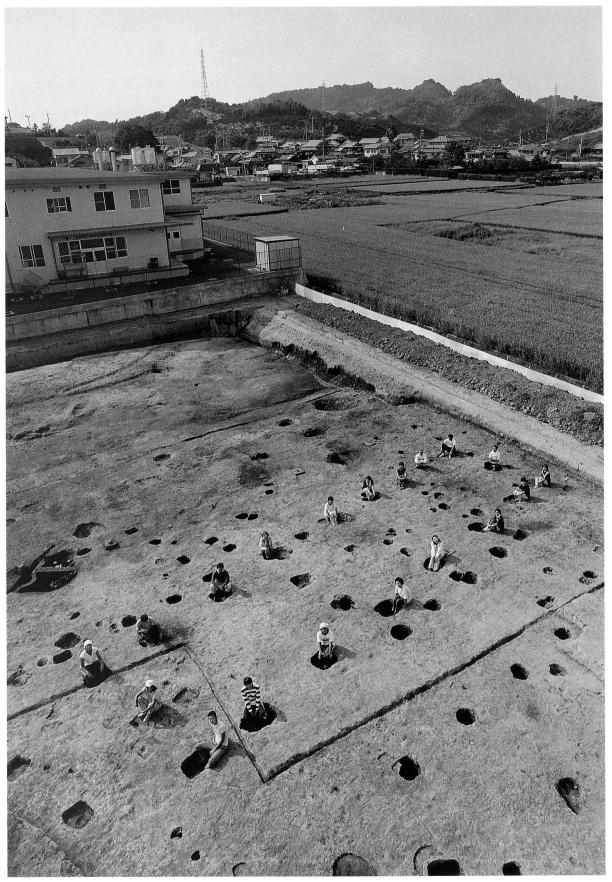


写真3 掘立2完掘状況(南東より)



写真4 SK10壺棺検出状況(南より)

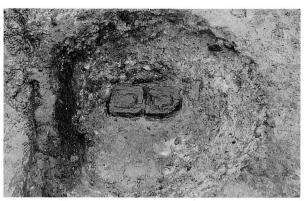


写真 5 SK 7 泥除未製品出土状況(西より)



写真6 SK14遺物出土状況(南より)

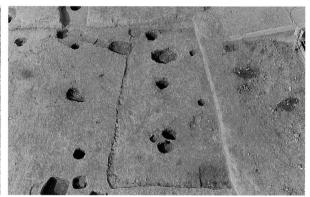


写真7 SB1完掘状況(南より)



写真8 須恵器 聴出土状況 (南より)



写真 9 陶質土器出土状況(南西より)

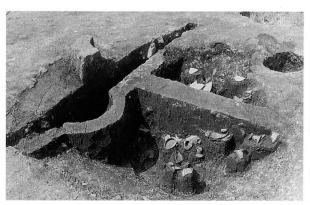


写真10 SK24遺物出土状況(北東より)

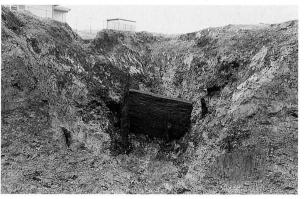


写真11 SK24井戸枠出土状況(南東より)

桑原遺跡 4 次調査地(1区・2区)

松山市道「中村~桑原線」関連遺跡

所在地 松山市桑原 4 丁目715-1外

面 積 1区205m² 2区420m²

期 間 平成12年7月6日~同年12月1日

担 当 栗田茂敏・相原浩二



図 1 調査地位置図

経 過 本調査は、松山市道「中村~桑原線」の道路建設に伴う事前発掘調査である。調査範囲は、松山東部環状線の東本1丁目116番6から東へ市道桑原130号線にあたる桑原4丁目359番2までの全長650m、道路幅員18mの全域が調査対象地となっている。今回の調査地は、その中央部にあたる。これまでに、この道路建設に伴う調査は桑原遺跡2次調査地と東本遺跡6次調査地があり、この両遺跡については調査を終了している。桑原遺跡4次調査地は、調査地の都合により西から1区、2区と区分けを行い調査を進めている。3区以降は、平成13年度から同14年度にかけて調査を行う事となっている。

遺構・遺物 1区の基本層序は第Ⅰ層黄灰色土(造成土)、第Ⅱ層灰色土(耕作土)、第Ⅲ層褐灰色土 (中・近世遺物包含層)、第Ⅳ層黄色粘質土である。第Ⅲ層は、調査区の西側に遺存している。第Ⅳ層 は、地山と呼ばれる層である。遺構の検出は、この第Ⅳ層上面で行った。

1区の調査では、中・近世の遺構や遺物を検出した。検出した遺構は土坑3基、柱穴118基である。 遺物は、土師器や陶磁器が出土している。

2区の基本層序は第 I 層真砂土 (造成土)、第 II 層灰色土 (耕作土)、第 II 層黄灰色土 (床土)、第 IV 層褐灰色土 (中・近世遺物包含層)、第 V 層暗灰褐色土、第 VI 層黄褐色粘質土、第 VI 層黒色土(弥生時代の遺物包含層)、第 VI 層茶色土、第 X 層黄灰色砂礫である。第 VI 層は、調査地の西側に遺存している。第 IX 層は、地山と呼ばれる層で調査地内を西に向かい緩い傾斜となっている。遺構の検出は、中世以降の遺構を第 V 層上面で行い、弥生時代~古墳時代の遺構は第 VI 層と第 VI 層の上面で行った。

2区の調査では、弥生時代後期~古墳時代と中・近世の遺構や遺物を検出した。検出した主な遺構は、弥生時代~古墳時代の遺構に溝1条(SD1)と土坑1基(SK11)がある。中・近世の遺構には掘立柱建物1棟(掘立1)、炭焼窯1基(SK7)を検出した。そのほか、時期不明の倒木痕跡12基を検出した。

小 結 今回の調査では、弥生時代と古墳時代の遺構が溝1条と数基の土坑だけであり、当該期の遺構は希薄な地帯となっている。東本遺跡6次調査地で検出した自然流路SR1より東側は、主に中世以降の遺構が数多く見つかっている。この事により、SR1から東側は中世以降に土地利用が進んだものと考えられる。また、2区で検出した炭焼窯は、松山市域での検出事例がなく貴重な資料となるものである。今後は、この地域における中・近世集落の成立過程と構造解明が課題である。(相原)

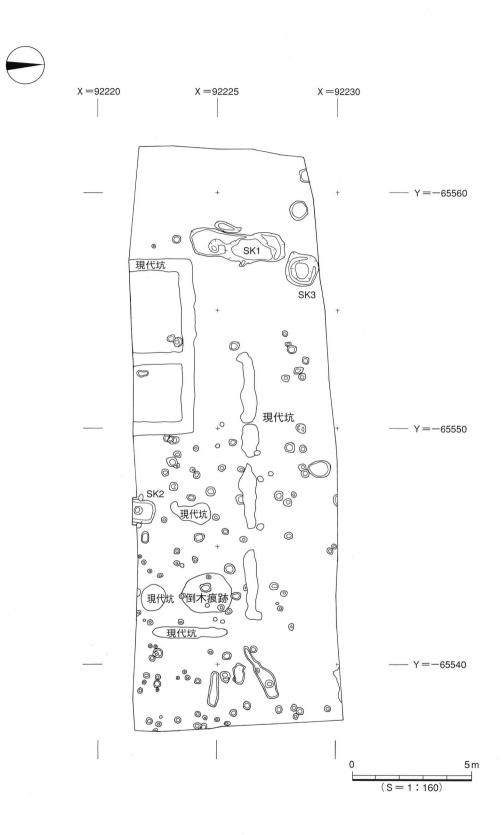


図2 1区遺構配置図

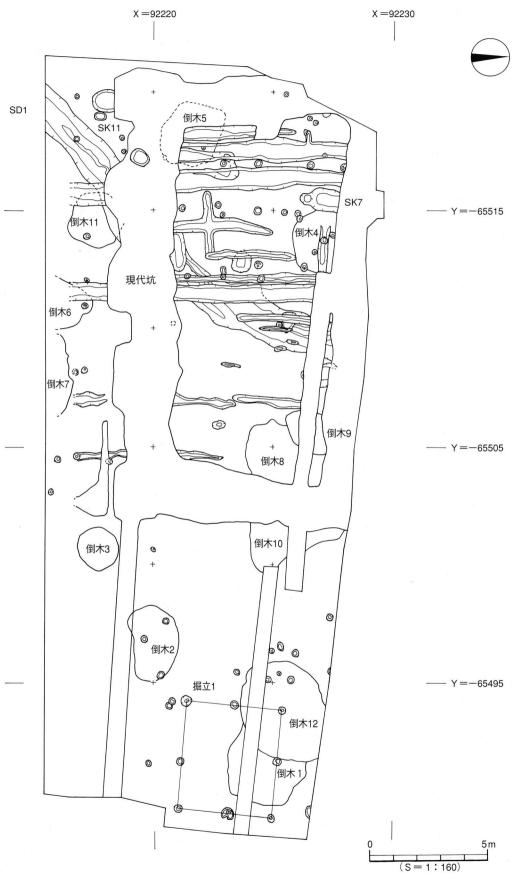


図3 2区遺構配置図



写真1 1区完掘状況(西より)

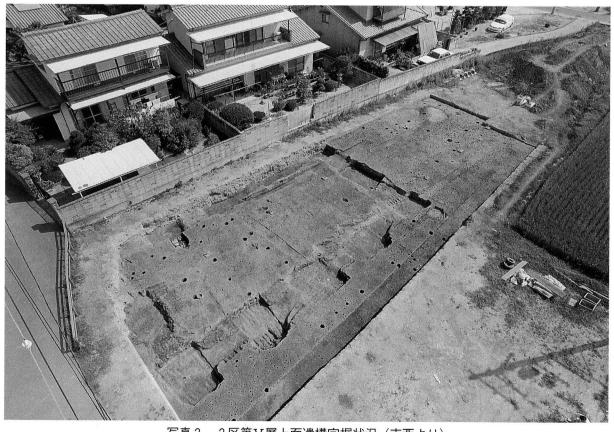


写真 2 2 区第 V 層上面遺構完掘状況(南西より)

束本遺跡 6 次調査地

松山市道「中村~桑原線」関連遺跡

所在地 松山市東本 1 丁目117-6外

面 積 11,700m²のうち800m²

期 間 平成12年3月6日~同年6月30日

担 当 栗田茂敏・相原浩二・吉岡和哉

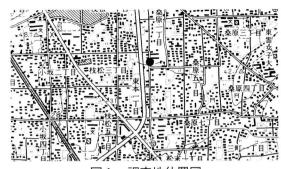


図 1 調査地位置図

経 過 本調査は、松山市道「中村~桑原線」道路建設に伴う事前発掘調査である。申請地は、松山東部環状線の東本1丁目116番6から東に向かい市道桑原130号線にあたる桑原4丁目359番2までの全長650m、道路幅員18m、調査対象面積は11,700㎡である。今回の調査地は、申請地の西端にあたる。調査地は、市道や水路が横断するため調査の都合上、市道を挟んだ西側を1区とし東側を2区とした。さらに2区は、2西区と2東区とに区分けをし調査を行った。

遺構・遺物 1区では竪穴式住居址2棟や柱穴を検出し、2区では土坑墓1基、自然流路1条のほか 多数の土坑や柱穴などを検出した。遺物は、弥生時代から中世の土器や石器が出土している。これら 検出した主な遺構の時期は大きく分けて弥生時代、古代、中世の3時期に分けられる。

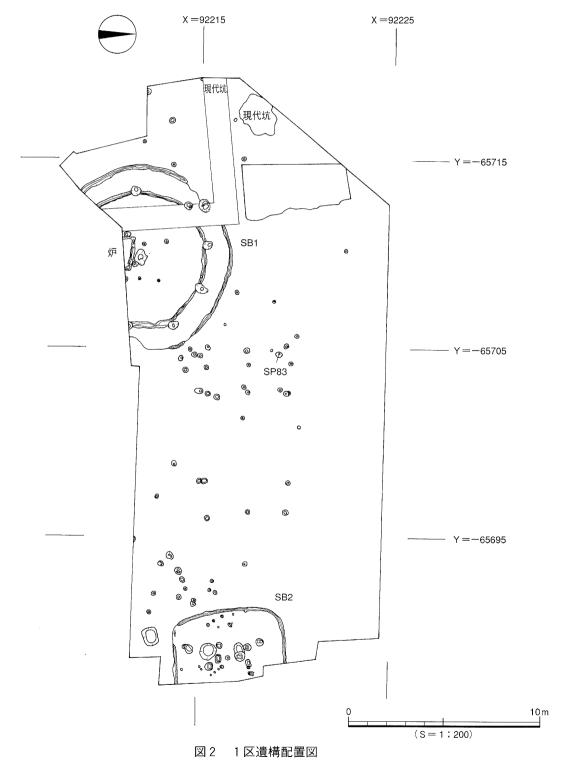
弥生時代では、SB1とSB2の竪穴式住居址2棟があり、ともに1区での検出である。SB1の平面形は、検出状況から円形を呈すると考えられる。検出規模は直径10m、壁高0.2mを測る。主柱穴は6基を検出した。住居中央部には、炉を検出した。炉は、平面形が長方形を呈する浅い土坑と平面形が不整形でやや深い土坑の2基で構成される。そのほか、SB1にはベッド状遺構を検出した。ベッド状遺構は、幅が0.5m~1.2mを測り住居の壁際を巡って構築される。このベッド状遺構を挟んだ両側には、幅10cm前後の小溝が巡らされている。出土遺物は弥生土器、砥石、鉄鏃、種子が出土している。時期は、出土遺物より弥生時代後期終末である。SB2の平面形は、検出状況から隅丸長方形を呈すると考えられる。検出規模は長軸5.50m、壁高0.28mを測る。住居内からは柱穴12基を検出した。このうち3基の柱痕跡は、平面形が長方形を呈する特徴がみられた。そのほか、住居内では焼土を多量に検出した。出土遺物には弥生土器、石包丁、砥石、管玉や平面形が三角形を呈する鉄片などが出土している。時期は、出土遺物より弥生時代後期後半である。

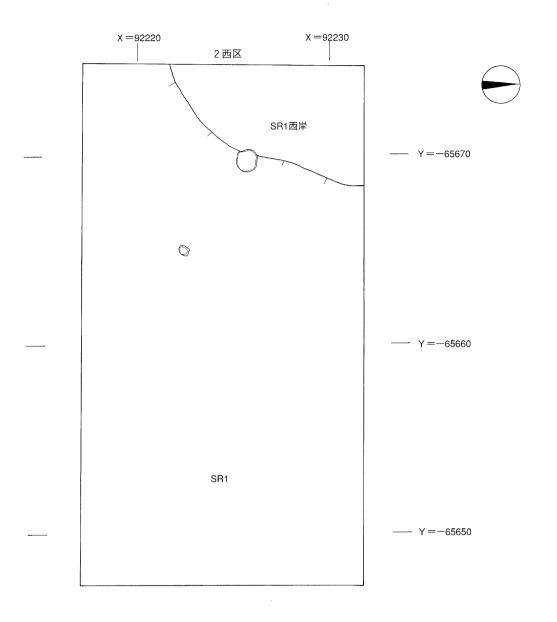
古代の遺構には、自然流路SR1がある。SR1は、2区の北方向から流れ調査地内で南西方向に向きを変える様子が伺われる。検出規模は幅35m、深さ1.0mを測る。出土遺物には弥生土器、土師器、須恵器、近江系の緑釉陶器片などの土器類や土製勾玉などが出土している。時期は、出土遺物より11世紀頃には埋没したものと考えられる。

中世には、土坑墓SK1と柱穴SP83がある。SK1は、2東区のSR1上で検出した。SK1の平面形は、円形を呈する。検出規模は直径35cm、深さ12cmを測る。土坑内の北側底部より、人の歯牙が数本まとまって出土した。副葬品は、土師器坏2点が出土した。時期は、出土遺物より16世紀頃と考えられる。SP83は、1区で検出した小ピットである。平面形は、円形を呈する。検出規模は直径26cm、深さ21cmを測る。出土遺物は、柱穴底部より土師皿の完形品1点が出土した。時期は、出土遺

物より15世紀~16世紀と考えられる。

小 結 弥生時代では、周辺の調査で確認された弥生時代後期の集落域が本調査地にも及ぶことが確認できた。2区で検出したSR1は、これら集落の東限や立地・自然環境を考える上で重要な遺構といえる。中世では、調査地周辺において集落が営まれていたものと考えられる。また、今回の調査で見つかったSK1は、規模と歯牙の出土状況から首塚と考えられる。この様な土坑墓は、本調査地の北50mにある桑原稲葉遺跡においても首塚とされた土坑墓数基が報告されている。今後は、この土坑墓の成立過程や被葬者層の解明が課題である。(相原)





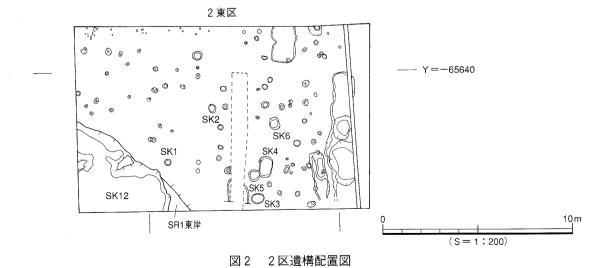




写真1 SB1検出状況(北より)



写真2 2区遺構検出状況(東より)

※ノロ遺跡10次調査地

所在地 松山市小坂 4 丁目39番1·40番·41番 1

期 間 平成12年4月10日~同年8月4日

面 積 2,514 m²

担 当 梅木 謙一・水本 完児



図 1 調査地位置図

経 過 本調査は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地『113 枝松五丁目遺物包含地』内における宅地開発に伴う事前調査である。調査地は、松山平野の北東部、標高27.6mに立地する。釜ノ口遺跡では、これまで9度にわたる発掘調査が実施され、弥生時代後期の竪穴住居址、土坑、溝を含む集落関連遺構と遺物を確認している。

遺構・遺物 調査地の基本層位は、第Ⅰ層造成土、第Ⅱ層耕作土、第Ⅲ層床土、第Ⅳ層黒色粘土、第 V層茶色粘土、第Ⅵ層暗茶色粘土、第Ⅷ層黄色土である。遺構は、第V層上面で検出し、竪穴式住居址 1 棟、柵列 6 列、溝 6 条、土坑 5 基、性格不明遺構12基、柱穴216基を検出した。

第V層上面では、竪穴式住居址SB1を検出した。SB1は、調査区の北西部で、住居の約1/3を検出し、住居址東半分は試掘トレンチに、南側は溝SD6(古墳時代)によって切られ、北側は調査区外に続く。平面形態は円形を呈するものと考えられ、規模は南北検出長4.6m、東西検出長2.0m、壁高は28cmを測る。床面は貼り床がなされ、貼り床の厚さは10cmを測る。埋土は黒色粘土に砂が混じるものである。貼り床上面からは、炭化材と焼土とが出土し、焼失住居址の可能性がある。住居址床面では、2基の主柱穴を検出し、このうち、1基からは炭火材の小片が出土している。屋内施設は、壁体溝を検出したが、炉は未検出であった。

小 結 本調査では、弥生時代後期~古墳時代の遺構と、弥生時代後期~古代の遺物を確認することができた。弥生時代後期の竪穴式住居址SB1は、住居形状や内部施設からは、松山平野の弥生時代後期に普遍的に認められるものであった。釜ノ口遺跡では、6・7・8次調査地からも同様な焼失住居址がみられており、共通の住居廃絶状況が認められる。焼失の原因を考える必要があろう。

古墳時代遺構には、溝3条、土坑3基、性格不明遺構4基が検出され、釜ノ口遺跡では古墳時代の 遺構は少なく、希少な資料を得られたことになる。

今回の調査では、釜ノ口遺跡における弥生時代後期の住居域の範囲や、古墳時代集落の存在を推測させる資料が得られた。今後は、釜ノ口遺跡検出の遺構を整理・分析し、弥生時代後期集落の構造を 究明しなければならない。(水本)



写真1 遺構完掘状況(北より)



写真2 SB1遺物出土状況(北東より)

西石井荒神堂遺跡2次調査地

所在地 松山市西石井町240番1外

期 間 平成12年11月15日~平成13年1月12日

面 積 964m²のうち296.20m²

担 当 栗田茂敏·相原浩二·吉岡和哉



図1 調査地位置図

経 過 遺跡は松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地『No119 西石井遺物包含地』内に所在し、調査地の北側約250m離れた位置には、弥生時代終末の円形住居址、土坑および土坑墓などがみつかった西石井荒神堂遺跡(1次調査地)がある。平成12年7月24日、宅地造成工事に伴い埋蔵文化財の確認願いが松山市教育委員会文化教育課に提出され、試掘調査によって弥生時代~古代に属する遺物及び遺構の存在を確認し、本格調査を実施する運びとなった。

遺構・遺物 検出した主な遺構は竪穴式住居址5基、掘立柱建物址5棟、土坑1基、溝1条である。 竪穴式住居址のなかには須恵器および土師器を出土するものと土師器のみを出土するものがあり、概 して須恵器を出土する住居址の北側にはカマドが付設される。時期は古墳時代中期から後期に属する ものと考えられる。また、掘立柱建物址および溝はその埋土中より弥生土器、土師器および須恵器を 出土しており、切り合い関係から竪穴式住居址よりも新しいと考えられる。

調査地の北東部に於いて検出した土坑(SK1)は、平面形態が円形もしくは楕円形を呈するもので、検出規模は直径(短径)2.5m、深さ1.3mを測る。土坑の下層、人頭大の円礫を多く含む黒色粘土層からは、多量の土師器、須恵器と共に鉄器および獣骨(牛あるいは馬の顎骨)の出土をみており、当遺構の性格を決める手掛かりとして注目される。また、土坑は粘土層および礫層を掘りぬいて設けられており、周囲の伏流水を溜める'井戸'としての機能をもつ遺構である可能が高い。出土した遺物には蓋坏、長頸壺、提瓶、甕などがあり、そのほとんどが6世紀末から7世紀初めにかけての遺物によって構成される。

小 結 今回実施した調査の結果、古墳時代から古代に属する遺構や遺物を確認した。過去に実施した 1 次調査では弥生時代終末に属する集落の存在を認めることができたが、そこからあまり離れていない本調査地においては同時期の集落跡を確認することはできなかった。しかしながら、あらたに古墳時代から古代にかけての集落が営まれていたことが判明し、当地域周辺に立地する集落の変遷を考える際に欠かすことのできない貴重な成果を得ることができた。また、井戸としての機能が想定できる S K 1 は松山平野内でも類例の少ない貴重なもので、当時の人々の生活環境および精神世界の復元に繋がる第一級の資料である。(吉岡)

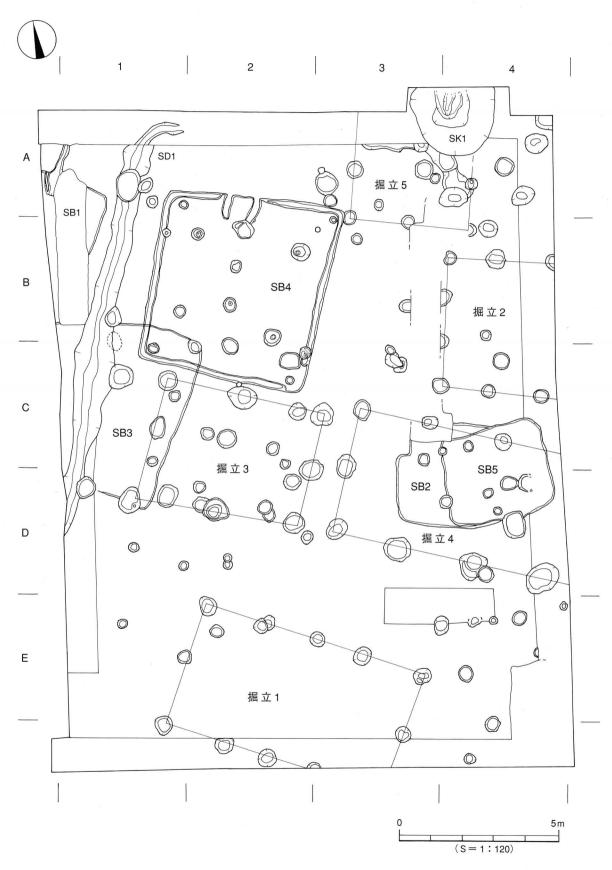


図2 遺構配置図

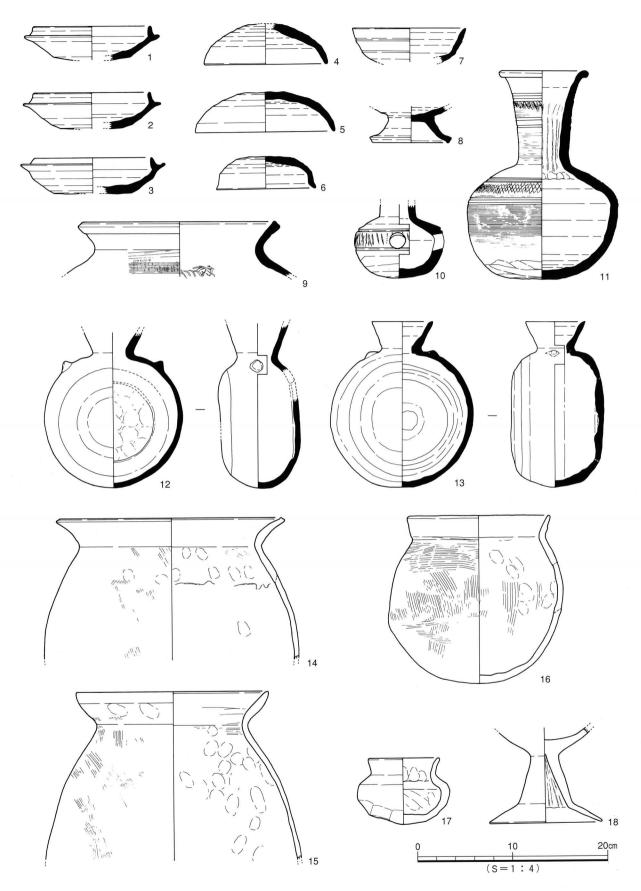


図3 SK1出土遺物実測図

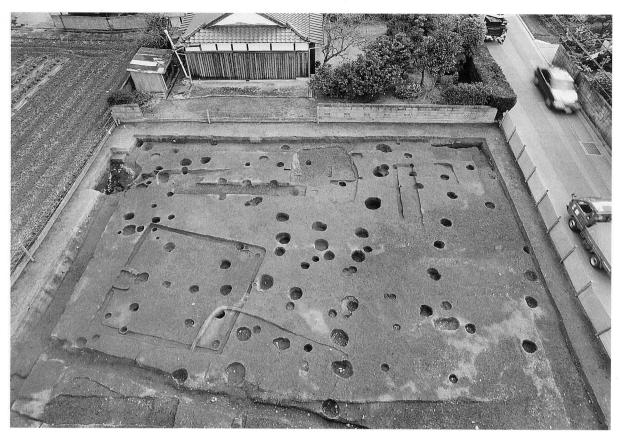


写真1 調査地全景(西より)



写真2 SK1遺物出土状況(南東より)

が違P遺跡

所在地 松山市福音寺町441·442-3

期 間 平成12年11月13日~平成13年3月31日

面 積 776 m²

担 当 小笠原 彰

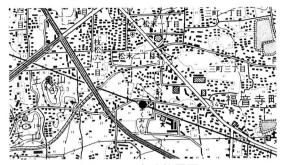


図1 調査地位置図

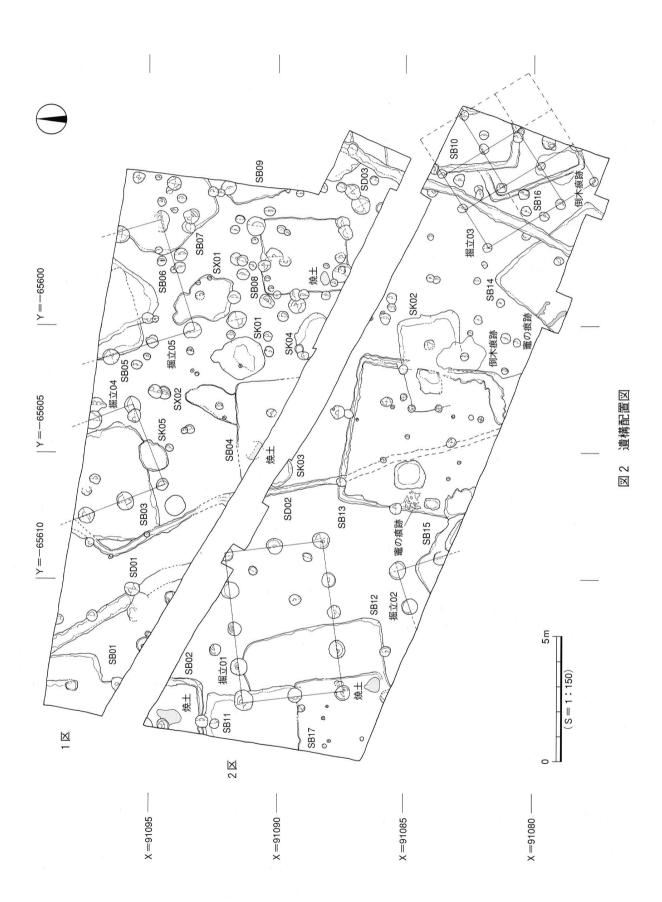
経 過 松山市埋蔵文化財包蔵地「No114 松末遺物包含地」内における個人住宅建設に先立ち実施した国庫補助による調査である。これまで福音寺地域では、筋違A~O遺跡、福音小学校構内遺跡、竹ノ下遺跡などの調査から特に弥生時代後期、古墳時代中・後期における竪穴式住居、掘立柱建物などが高い密度で確認されており、当該期の大規模集落が継続的に営まれていたことが明らかとなっている。隣接地における調査成果を得て、集落の広がりおよび構造の解明を主目的に調査を実施した。

遺構・遺物 検出した遺構は、竪穴式住居址17棟、掘立柱建物址 5 棟、溝 3 条、土坑 5 基、倒木痕跡 2 基、不明遺構2基である。遺構は水田直下約20~40㎝の明褐色粘土上面で検出したが、著しい後世の削平を受けており遺存状況は悪い。そのため遺構出土の遺物は少ないが、概ね古墳時代中期前半~後期にかけてのものが主体を占めると考えられる。特に竪穴式住居址は17棟という高い密度で検出され、また建物の方向を同じくする掘立柱建物址も見られることから、居住域として継続的な土地利用がなされたことが看取される。ただ、全体像をつかむことができた竪穴式住居は S B 08と S B 13のみであり、その他はプランの一部の確認に留まることから不明な点が多い。以下、主要な遺構の概略を述べる。

SB13は東西5.85m、南北5.6mを測る、方形プランの住居である。主柱は4本で構成され、周壁溝を伴う。西壁の中央部分には明褐色粘土で壁体を構築する竈の基底部が残存していた。竈の東側には厚さ1cm程度の炭化物が一面に堆積しており、竈内の灰を掻き出した結果と考えられる。この竈周辺には高坏・小型の壺・甕など、比較的多くの土師器が出土している。その他注目される遺物として滑石製の臼玉が出土しており、住居廃絶の際における祭祀に関する痕跡と考えられる。

掘立01は、 $SB11 \cdot 12 \cdot 17$ の竪穴式住居廃絶後に建てられた建物主軸を8° 西に振る桁行き4間 (6 m) ×梁行き2 間 (3.8m) の東西棟の建物で、建物方向は概ね竪穴式住居群と同じである。この重複した建物群の先後関係は $SB17 \rightarrow SB11 \rightarrow SB12 \rightarrow$ 掘立01となる。竪穴式住居の継続的な建て替えと、掘立柱建物への居住形態の変化を窺うことができる。

小 結 福音寺地域では既往の調査から、微高地上に古墳時代前期末~中期後半と中期末~後期の2時期にピークを持つ竪穴式住居群が検出されている。本調査でも古墳時代中期前半以降の密度の高い住居群を確認し、当該期の集落経営の本格化を想定することが可能である。これからの調査によってこの微高地上に展開する集落の単位や変遷、また二つの微高地に挟まれた谷筋における土地の利用方法など集落構造の解明を進めていくことが必要である。また、当地域から古代の主要河川である小野川を遡ると至近距離には、時代的に後出する久米官衙遺跡群が存在する。(小笠原)



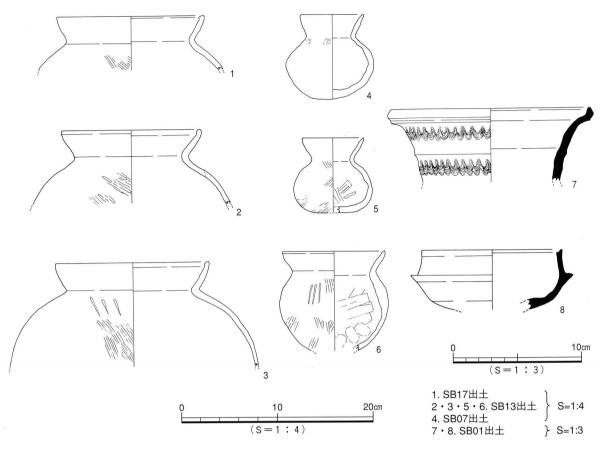


図3 出土遺物実測図

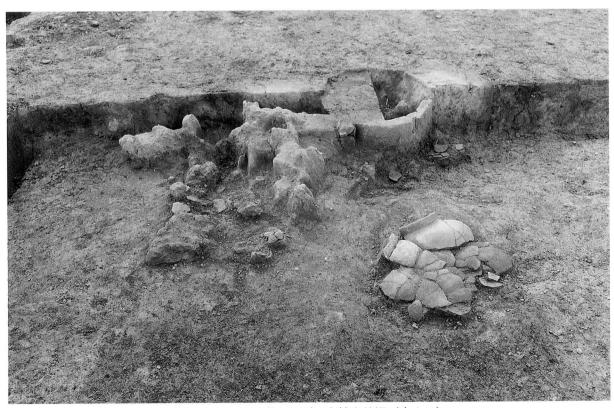


写真1 SB13竈ならびに甕検出状況(東より)



写真2 遺構検出状況(東より)

北久米遺跡 2 次調査地

所在地 松山市北久米町766番1

期 間 平成12年7月10日~同年9月29日

面 積 639.62 m²

担 当 河野史知·加島次郎

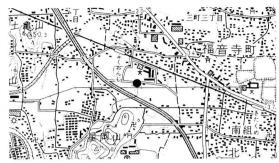


図 1 調査地位置図

経 過 本調査は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地「No.116 川付遺物包含地」内における宅地開発に伴う事前調査である。調査地は、松山平野南部の低丘陵上の標高29.8mに立地する。周辺では数多くの発掘調査が実施されており、北隣の福音小学校構内遺跡や南東の北久米浄蓮寺遺跡、北西の筋違遺跡など、弥生時代から古墳時代を主体とする集落関連遺構を検出している。今回の調査は、弥生時代から古墳時代にかけての集落の広がりや構造解明を主目的として実施した。

遺構・遺物 調査地の基本層位は、第 I 層青灰色土 (耕作土)、第 II 層明灰色土 (床土)、第 II 層褐色土 (整地土)、第 IV 層オリーブ色土 (中世の遺物包含層)、第 V 層褐色~黒色土 (古墳時代の遺物包含層)、第 VI 層明黄色土 (地山) である。遺構は第 VI 層上面で検出し、旧地形は北東より南西に緩傾斜している。

検出した遺構は、弥生時代・古墳時代・中世のもので、竪穴式住居址3棟、掘立柱建物址5棟、柱 穴46基、中世の溝1条、倒木痕3基を検出し、遺物は弥生土器・須恵器・土師器・陶器が出土した。

弥生時代の遺構は、SB3である。平面形態が方形で規模は東西3.2m、南北2.4mと東西に長い小型の竪穴遺構で、周壁溝は周囲を巡り、西壁中央部で主柱穴を1基検出する。竪穴内からは甕・壺・鉢形土器など弥生時代後期中葉の遺物が比較的多数出土した。古墳時代の遺構は竪穴式住居址2棟、掘立柱建物址・5棟、柱穴などがある。竪穴式住居址は床面での検出であり主柱穴・周壁溝以外の屋内施設は未検出であるが、SB1は内部の壁面に接する様に楕円形の浅い掘り込みを検出しており、竈施設の可能性をもつ。また、SB1・SB2は切り合いから掘立1~3に先行する時期のもので、SB2は5C末~6C初頭である。掘立1~3の3棟は南北に並んで建てられ、掘立5・6が掘立1~3の東・西側に並ぶ。掘立1・2・6は総柱の掘立柱建物であり、掘立4は柱穴をずらして建て替えをしている。中世の溝SD1は南北方向から東西方向にほぼ直角に屈曲した溝であり、北に延びる軸方向から推測すると、福音小学校構内遺跡の2区西側で検出した溝につながる13世紀頃の区画溝と考えられ、それらを合わせると南北長は約80mを測る。また、SP8から出土した備前焼の大甕は、埋甕として地中に埋められている。これらから、13世紀~15世紀頃にかけての中世集落の存在が窺える。

小 結 本調査では、弥生時代から古墳時代、中世の遺構や遺物を確認することができた。SB1は 遺構の特徴などから、住居址ではなく倉庫的な施設と考えられる。また、古墳時代の掘立柱建物址が 並んで検出されており、この時期の集落に伴う倉庫群と推測する。この様に福音小学校構内遺跡の立 地する微高地上に展開した集落が、南側の緩傾斜面への広がりを示す資料を得られた。今後の周辺調 査では、これらの集落構造や範囲を検討する必要がある。(河野)



図2 遺構配置図

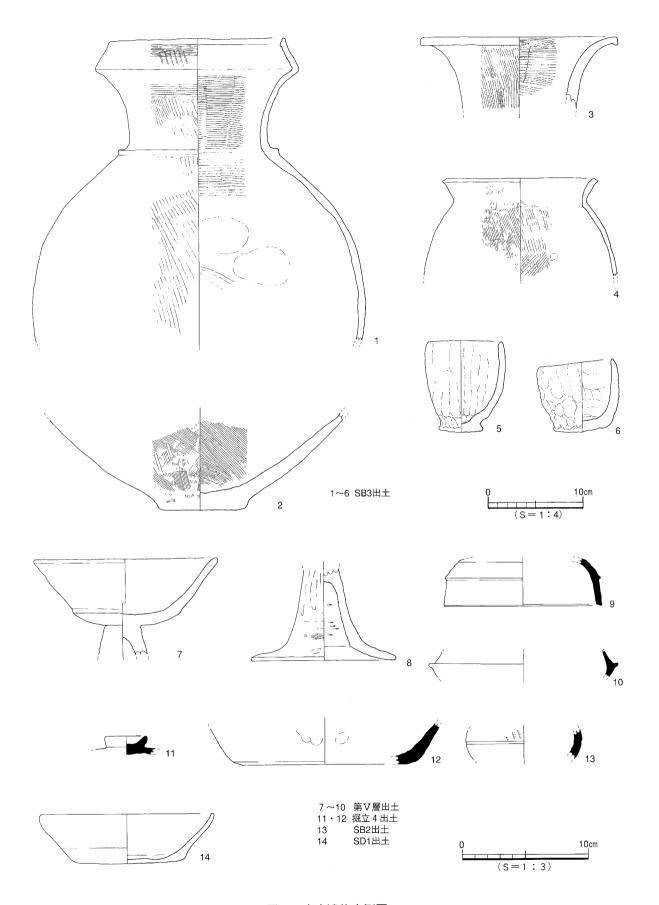


図3 出土遺物実測図



写真1 遺構完掘状況(西より)

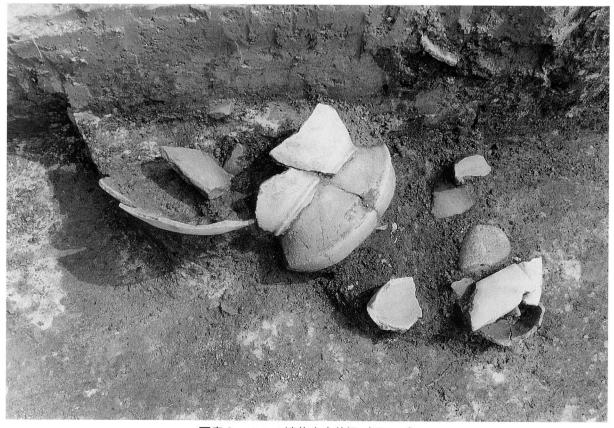


写真2 SB3遺物出土状況(西より)

マッガダニ松ケ谷遺跡

所在地 松山市恵原町乙190·191·192·197番地

期 間 平成12年10月10日~同年12月8日

面 積 4,623 m² のうち1,036 m²

担 当 河野史知·加島次郎



図1 調查地位置図

経 過 本調査は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地の『No140 松ヶ谷古墳群、松ヶ谷遺物包含地』 内における農免農道新設に伴う事前調査である。調査地周辺の砥部川や御坂川下流は県内でも屈指の 遺跡の密集する地域である。調査地の北約100mの丘陵尾根部に位置する松ヶ谷古墳は、古墳時代後 期の横穴式石室で、石室内から多数の遺物が出土している。今回の調査は、弥生時代における高地性 集落の構造や、溝の性格や築造された時期の解明を調査の主目的として実施した。

遺構・遺物 調査地は南から北へ延びる丘陵尾根上の標高約130mに位置し、南から北へ向けて8mの比高差を測る。調査前は柑橘類の果樹園であったため、有機質肥料を入れる楕円形や不整形の穴が多数ある。基本土層は、第I層茶褐色土(表土)、第II層褐色~黒褐色土、第II層黄褐色土、第IV層 黄橙色土(弥生時代の遺物包含層)、第V層明黄色土(地山で南・北側は岩盤)である。

今回の調査では、第V層上面より弥生時代後期初頭の竪穴式住居址1棟、土坑6基、時代不詳の溝 1条を検出し、遺物は弥生土器、須恵器、石器、炭化材等が出土した。

A区で検出したSD1は、残存の良好な南側がV字形に掘り込まれた人工的な溝であり、尾根部をやや湾曲しながら縦断し北側は消滅する。溝の南端は調査区外に延びており全容は不明である。土層の堆積状況より、比較的短期間に溝が埋没したことが考えられるが、基底面から出土した弥生土器の小片は流れ込んだものと考えられ、溝に関連した遺物はなく、周辺の調査に期待したい。

B区で検出したSB1は、北側が耕作のため削平を受けている。平面形態は楕円形を呈し、南側に残存する壁体はほぼ垂直で周壁溝が巡る。床面は水平にカットされる。規模は東西6m、南北6.5mを測り、南半は地山を削って床面をつくる竪穴状で北半は土壁をもたなく、半竪穴式と半平地式の住居址と考える。主柱穴は4本分を検出したが、その配置から5本柱と想定される。床面全体に焼土と炭が混じり合った状態で検出した。住居址内からは弥生土器の甕、壺、扁平片刃石斧、砥石、緑色片岩の原石が出土した。SB1周辺から打製石鏃が出土し、楕円形状の土坑を6基検出した。SK6以外から遺物の出土は無いが、埋土がSB1と同埋土なことから、SB1に付随する施設と考えられる。小 結 今回の調査では、弥生時代後期初頭と時代不詳の遺構を検出した。竪穴式住居址や土坑を検出したことから、丘陵尾根部の比較的平坦な面に人が住んで居たことがわかった。SB1は炭化材や焼土の堆積状態から火災を受けた住居と考えられる。検出された竪穴式住居址は1棟だけの検出であるが、調査地外の北隣へ平坦面が延びており、複数の竪穴式住居址の存在も窺えられ、SB1は高地性集落の一部としての機能が考えられる。今後の調査では、眺望の豊かな丘陵上に立地する集落の構造や、SD1の性格を追究することが課題である。(河野)

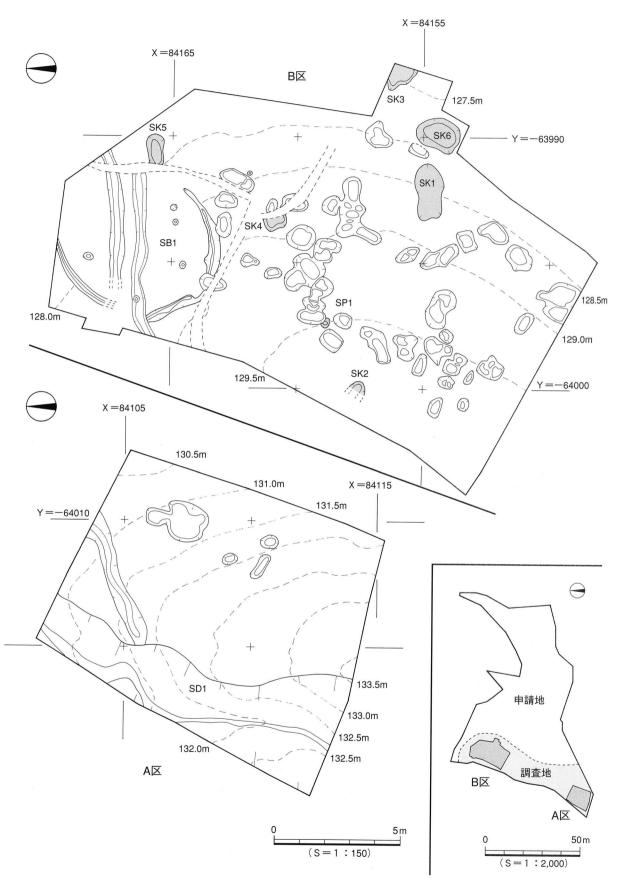


図2 遺構配置図

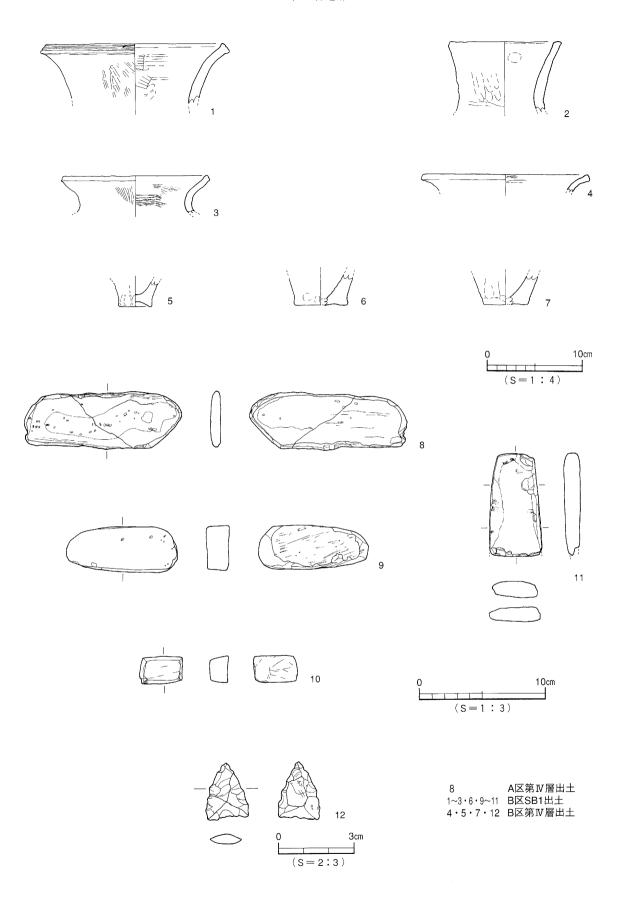


図3 出土遺物実測図

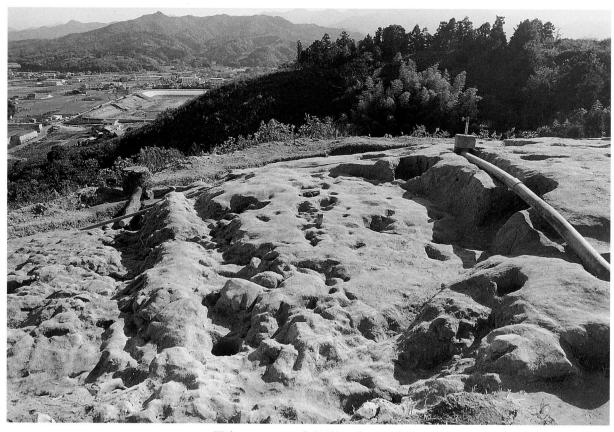


写真1 SB1完掘状況(西より)



写真2 SD1完掘状況(北より)

五楽遺跡3次調査地

所在地 松山市平井町乙194-1.乙230外

期 間 2000 (平成12) 年4月1日

~2001 (平成13) 年3月31日

面 積 27,000m²のうち20,865m²

担 当 宮内慎一・相原秀仁

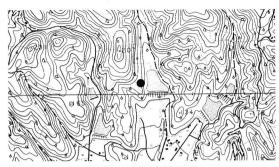


図1 調査地位置図

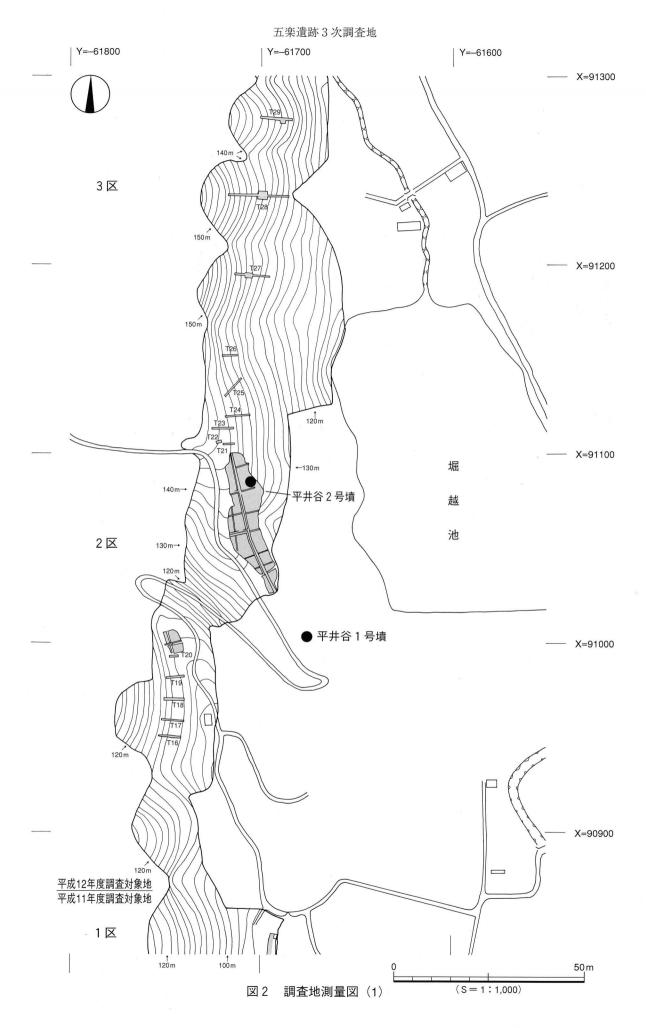
経 過 本調査は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地『No98 かいなご古墳群』内における松山市道「平井・食場線」道路建設工事に伴う事前の発掘調査である。調査地は松山平野東部の丘陵部に位置しており標高120~145mを測る。調査地南側の微高地上には五楽遺跡 1・2 次調査地、古市遺跡 2 次調査地があり、弥生時代から中世にかけての集落関連遺構が確認されている。西側の丘陵部には桧山峠古墳群、芝ケ峠古墳群、今吉古墳群などがあり、東側には駄馬姥ケ懐窯址、悪社谷窯址などが確認されている。同丘陵部には7世紀前半の築造とされる平井谷1号墳が確認されている。調査は古墳および窯址の確認を主目的として実施した。平成11年度は1区、平成12年度は2区~4区の調査を行なった。

遺構・遺物 調査は北西から南東にのびる丘陵尾根部(2区・4区)と東側斜面部(3区)とに分けて行なった。両地区の調査ともにトレンチ調査を主体とした。その結果、2区では古墳1基、3区では石室の石材、4区では土坑1基を確認した。

[1] 2区の調査 調査地の地形を考慮したうえでトレンチ7本を設定して、土層観察および古墳の有無の確認を行なった。その結果、中央部の東側斜面部にて石室と周溝を検出したため平井谷2号墳と呼称して調査を進めた。

平井谷 2 号墳の調査 本古墳は 2 区中央部東側斜面部の標高141mに立地する。主体部は両袖式の横穴式石室であるが、墳丘は大半が削平されている。主軸は南北方向で南に開口する。天井石は失われ、西側壁 7 段、東側壁 3 段、奥壁 4 段が残存している。規模は長さ2.5m、幅1.1m、残存高 1 mを測る。床面から框石と玉石を検出した。石室掘り方は隅丸長方形を呈し、長さ3.4m、幅2.3m、深さ0.85mを測る。遺物は石室内から須恵器の坏蓋と耳環が出土した。周溝は石室の北側と西側で検出した。平面形態は方形を呈し、規模は幅1.2m、深さ25cmを測る。周溝内からの遺物の出土はない。出土した須恵器の特徴から古墳の築造時期は 7 世紀前半頃と考えられる。

- [2] 3区の調査 東側斜面部にトレンチ10本($T21\sim30$)を設定して、土層観察および古墳、窯址の有無の確認を行なった。その結果、3本のトレンチ($T27\sim29$)の中腹部から人頭大の石を検出したが古墳や窯址の検出には至らなかった。
- [3] 4区の調査 調査地の地形を考慮したうえでトレンチ7本を設定して土層観察および古墳の有無の確認を行なった。その結果、調査区の北部で土坑1基を検出した。平面形態は楕円形を呈し、規模は長径1.0m、短径0.70m、深さ25cmを測る。断面形態は逆台形を呈するが西側壁面は一部袋状になる。埋土中から焼土と炭が出土したが時期は不明である。



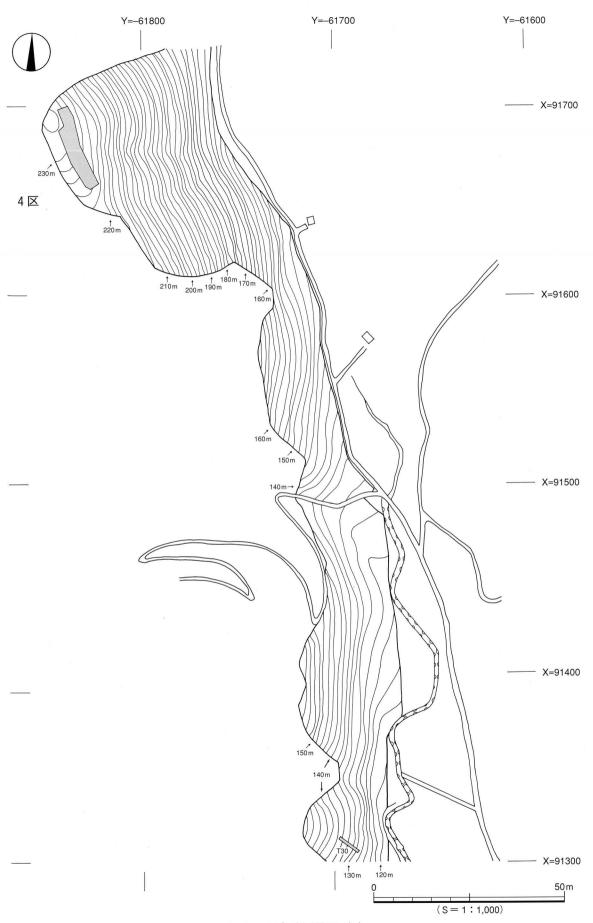


図3 調査地測量図(2)

小 結 本調査では古墳1基を確認した。墳丘は削平され消失していたが石室と周溝の一部を検出した。

古墳は両袖式の横穴式石室を主体部にもつ方墳で、造営時期は平井谷1号墳と同様7世紀前半頃と考えられる。また、3区のトレンチ内からは石室の石材とみられる角礫を確認したことから丘陵北側の尾根上にも古墳が存在していたものと考えられる。このほか、明確な遺構は検出されなかったが、トレンチ内から弥生土器、石器が出土したことから弥生時代中期の集落が丘陵上に存在したものと推測される。(相原)

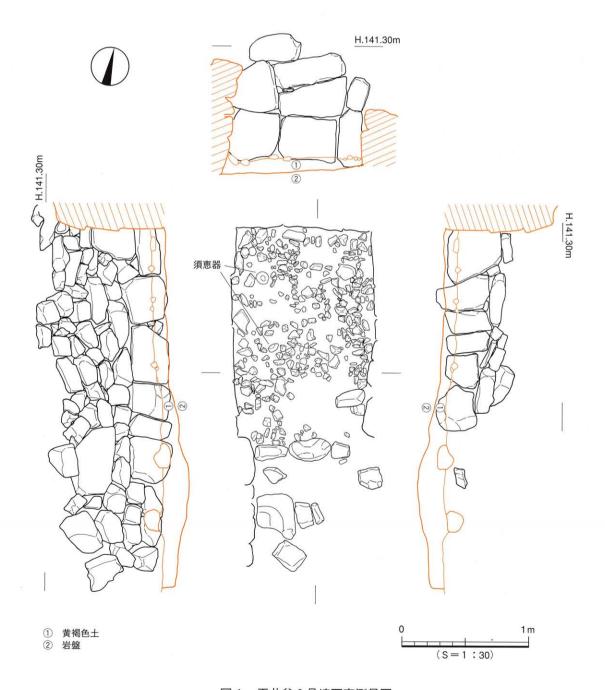


図 4 平井谷 2 号墳石室測量図

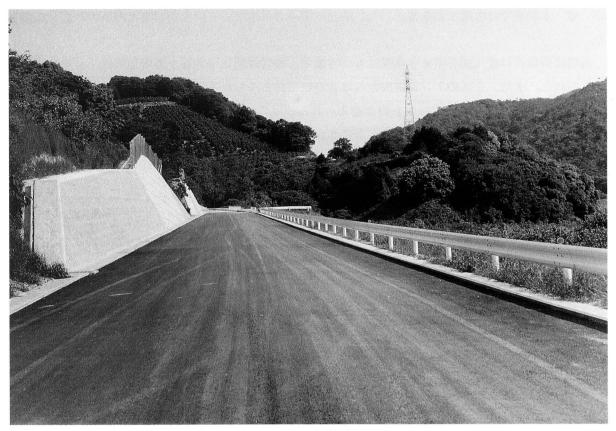


写真1 調査地全景(南より)

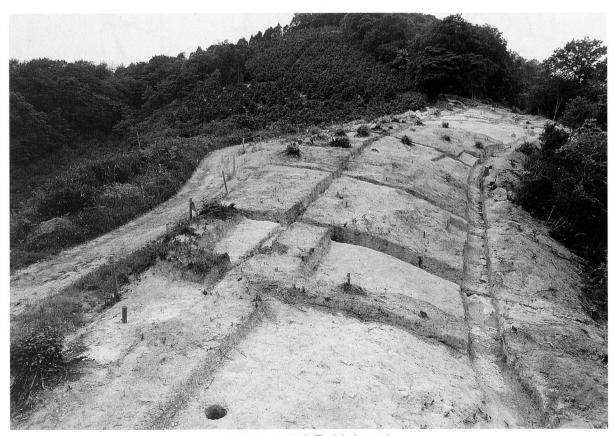


写真2 2区全景(南東より)

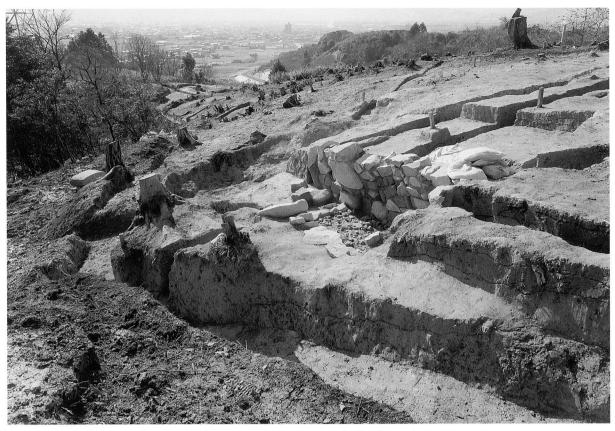


写真3 石室検出状況(1)(北東より)



写真 4 石室検出状況(2)(南東より)

来住町遺跡10次調査地

所**在地** 松山市来住町242-1·244-1

期 間 平成12年4月17日~同年11月14日

面 積 765.00 m²

担 当 楠 寛輝・政本 和人



図1 調査地位置図

経 過 本調査地は来住台地の南縁辺部標高40.6mに位置し、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地 『No127 来住廃寺跡』内にある(図1参照)。その中心は国指定史跡である古代の寺院であるが、来住 町遺跡はその南東にあたり、過去9度の調査が行われ、古墳時代から中世にかけての複合遺跡として 知られている。本調査地の東に隣接した8次調査地や、そのさらに東に隣接する7次調査地では、古 墳時代後期から古代にかけての集落とそこを流れる自然流路が確認されている。そこで本調査は、まず北東に存在する来住廃寺や久米官衙に関わる遺構の発見を目指すとともに、7・8次調査の成果を受けて、旧河川や集落の広がりを確認することを目的に、国庫補助を受けて行われた。

遺構は全体で、掘立柱建物址 2 棟、竪穴式住居址 6 棟、炉跡 5 基、土坑24基、ピット152基、集石 1 基、溝 7 条、自然流路 1 条、倒木痕 1、性格不明遺構1基である(図 2 参照)。後世の削平が北部で特に著しく、全体的に遺構の残りは良くないため、S R 1 を除いて遺構に伴う遺物は少ない。しかしながら、出土した遺物から考えて年代的には古墳時代後期から古代にかけてのものと、中世のものとに大きく分けられる。

[古墳時代後期から古代] 今回の調査の中心となる年代であり、後述する中世のいくつかの遺構を除き、今回出土した遺構の大方がこの時期に属する。

SR1は、先述したように、来住町遺跡の $7\cdot 8$ 次調査で検出されており、今回も調査地南側に、幅約3m、深さ約1m、東西約25mに渡って検出された。層位は、最下層に礫層があり、それから上は基本的に砂質土層の水平堆積であり、自然堆積である。最上層から年代が分かる遺物の最も新しいものとして、宝珠状つまみを持つ須恵器の坏蓋が検出されていることから、7世紀の中頃には埋まった可能性が高い。SR1は本調査地では例外的に遺物に恵まれ、須恵器の食膳具や甕等の日用品が多数出土した。しかしSX1と接している辺りは、金銅製の耳環や須恵器の聴がほぼ完形で出土するなど、SR1内の他の部分と比べて少し様相が異なっており、SX1を含め、なんらかの祭祀を想定してよいのかもしれない。

SD1は調査地西端に、幅約60cm、深さ約45cm、南北方向約20mに渡って検出された。遺物は弥生

土器が中心であるが、6世紀代のものと考えられる土師器の高坏が検出されており、少なくとも埋まったのはそれ以後であろう。方位がほぼ真北であることから、7世紀中頃、方位や区割りを意識しながら来住台地の中心で営まれた久米官衙と関わっている可能性もある。

次にSB群に関して述べる。SB群の中で最も残りのよいSB2は、SK2によって南東部分を切られているが、東西・南北とも約4.5mで、方位は真北から西に約10°振っている。主柱穴は4基、北に約1.3m煙道が延びる竈を住居北壁の中心に持つ。年代が押さえられる遺物としては、須恵器の坏身が出土している。短いかえりが口縁部内側に付くもので、6世紀後半から7世紀初頭のものと考えられる。これ以外のSBは周溝のみがかろうじて検出できたといった程度で、年代が押さえられる遺物も出土していない。しかしながら、SB5を除き規模も似通っている上、SR1に沿うような方位で揃っていることから考えて、同時期の可能性が高いと思われる。SB5に関しては、SB3や4と切り合いがある上、東西は6.5mと規模がかなり大きく、方位もほぼ真北と、他のSBと様相がかなり異なる。時期差があることは間違いないのだが、遺構の残りがあまりに悪く、切り合いから前後の認定はできなかった。

最後に掘立だが、掘立1は桁行き3間(4.80m)梁行き2間(3.85m)の南北棟で、方位は真北から西に約10°振っている。この掘立の特徴としては、柱穴が大きく(径約1m)、また方形を意識していることである。掘立の柱穴が大型化し方形を呈するのは、7世紀中頃から来住台地の中心で営まれた久米官衙に伴う掘立の柱穴の特徴である。また掘立1が先述のSD1(6世紀以降に埋まった)を切って造られていることから考えても、柱穴から遺物はほとんど出土していないが、掘立1が来住台地の中心で営まれた久米官衙と平行する可能性は高い。他の掘立は全て一部分のみの検出であるが、掘立1に比べて柱穴が小さく丸いこと、また方位がSB群とほぼ同じことなどから、SB群と同時期の可能性が高い。

その他5基検出されている炉跡は、全て円形で、径は約60cmであり、側壁が赤く焼けている。この遺構も遺物がほとんど出土せず年代決定は困難であるが、SR1が埋まった後、その上に造られており、7世紀以前には遡らないものである。また多くのSKもこの時期に属すると思われるが、やはり遺物がほとんど出土せず年代や性格の決定は困難である(遺物から年代が押さえられるSKはSK8のみ。須恵器の坏身が出土している。短いかえりが口縁部内側に付くもので、6世紀後半から7世紀初頭)。

以上をまとめると、6世紀後半になってSB群や掘立群(掘立1を除く)が建てられ、立て替えられながら7世紀初頭まで継続した。7世紀中頃になると、来住台地の中心部では久米官衙が営まれ、当地でも掘立1が建てられた。それと前後して、以前から流れていたSR1が埋まった。このような変遷が想定できる。

[中世] $SK1 \cdot 22$ 、集石1、及び一部のピットがこの時期に属する。比較的遺物の多かったSK22からは、瓦器碗、亀山産の甕、在地産のかわらけや土釜などが出土している。またSK1には赤く焼けた粘土がまとまって埋められており、遺物としては瓦器碗の破片が出土している。両者とも、遺物の年代観から13世紀後半から14世紀初頭頃と思われる。なお集石1に関しては、石の隙間から中国製の白磁 $\mathbb N$ 類や瓦器碗が出土した。年代はSKと同時期と考えているが、白磁の年代観から見てもう少し遡る可能性はある。

小 結 今回の調査の成果として、古墳時代後期には河川に沿うように展開していた集落、つまり自然地形に規制されていた集落が、古代には方位という概念に規制されるようになるという、集落の変

遷を捉えられたことが挙げられる。また来住廃寺や久米官衙と平行する可能性の高い建物が、7・8次調査同様、本遺跡のような来住台地の縁辺部で検出されたことも大きな成果である。つまり、本調査は、当時の来住台地を考える上で、久米官衙や来住廃寺の存在した来住台地の中心地だけでなく、その周辺も含めたより広い視野を持つ必要性を示すとともに、その際必要となる重要な情報を提供した。(楠)



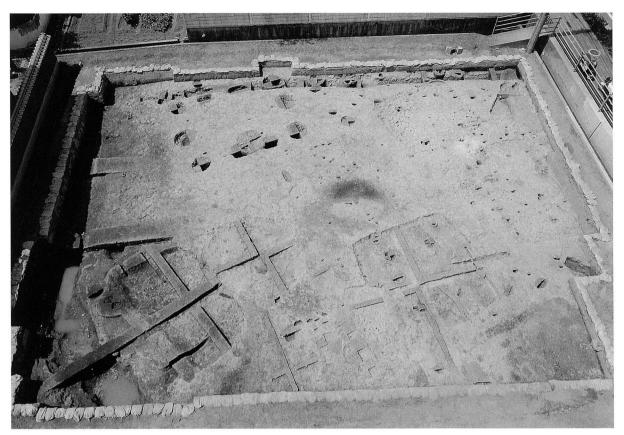


写真1 1区完掘状況(東より)



写真2 2区完掘状況(西より)

来住町遺跡11次調査地

所在地 松山市来住町546番地

南久米町688番地3

期 間 平成12年11月13日~平成13年3月30日

面 積 511 m²

担 当 政本 和人



図1 調査地位置図

経 過 当該地は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地「No127来住廃寺跡」に含まれ、当該地の西側に国指定史跡「来住廃寺」があり、これまでにも、来住廃寺遺構の広がりを確認する事を目的として学術調査及び、開発に伴う事前調査で、来住廃寺遺跡1~27次調査及び、来住町遺跡1~10次調査が行われている。

この度、来住台地上の来住廃寺跡の寺域及び、官衙遺構群の東への広がりと遺構の性格を把握する ことを主目的として、学術調査を実施した。

遺構・遺物 本調査地は来住台地上の中央部標高39.50mに位置する。

今回の調査では、弥生時代より古代の竪穴式住居址 2 棟、掘立柱建物址 9 棟、土坑12基、柱穴多数、 性格不明遺構 6 基が検出された。

[弥生時代] 今回検出されたのは、竪穴式住居址の主柱穴10基である。周壁・周壁溝・炉などの痕跡 は削平により消失しているが、主柱穴の配置から円形の竪穴式住居址と想定する事ができる。出土遺 物は、柱穴内より小片の弥生土器が数点検出された。

他に土坑が7基、出土遺物では、弥生時代前期の壺、甕などの土器片が数点検出されている。

[古墳時代]竪穴住居址が1棟検出された。平面形は隅丸方形を呈し、東西5.5m、南北5.0m、内部施設として、北壁中央付近に床面を掘り込んだカマドが配置される。カマドには地下式の煙道が付設され、住居外に煙道が延びる構成である。時期を特定できる遺物は出土しなかったが、カマドの構造から古墳時代中期以降に比定する事が出来る。

堀立柱建物址は、9棟検出された。そのうち堀立2は、梁行2間(4.80m)、桁行3間(5.60m)、桁行方向N10°Eの建物で、柱穴の平面形態は円形、規模は、径29~73cm、深さ6~36cmを測る。なお、この建物の中央部から浅く小規模な柱穴が1基検出された。配置から見て束柱と考えられる。他の堀立柱建物址についても、時代を特定できる遺物の出土はなかったが、建物軸方向、埋土、切合関係等から、ほぼ同時期(古墳時代中期以降から古代まで)の遺構と想定する事が出来る。

小 結 今回の調査により古墳時代中期より古代にかけての建造物群が検出された。しかしながら、 寺域の広がりを想定する事の出来る建物は無く、官衙に先立つ時期の集落構造の有り方の一端をうか がい知る資料の蓄積となった。なお、調査区外に延びる堀立柱建物址1棟については、建物軸線から、 官衙時期を想定する事が出来る。今後、仔細な調査を待って、当時の土地利用のあり方を検討したい。

(政本)

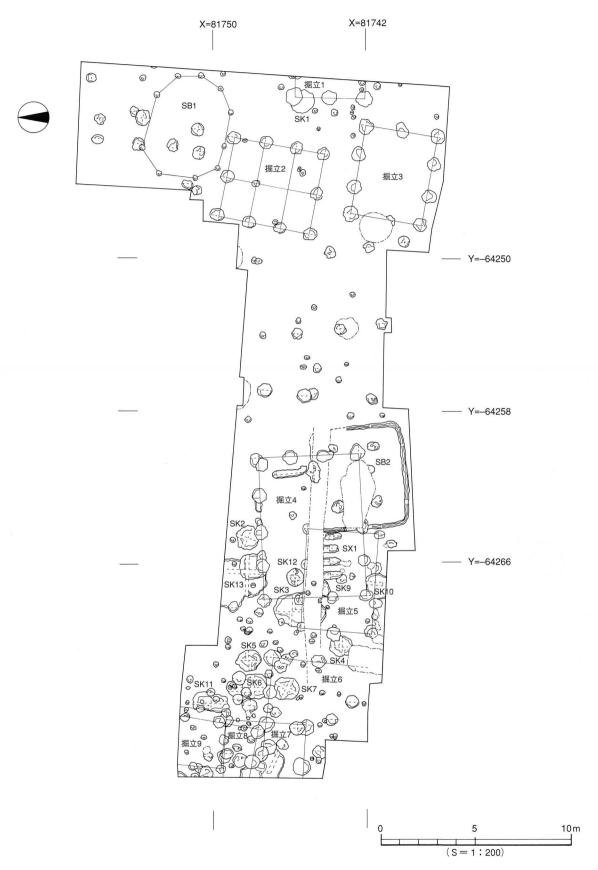


図2 遺構配置図

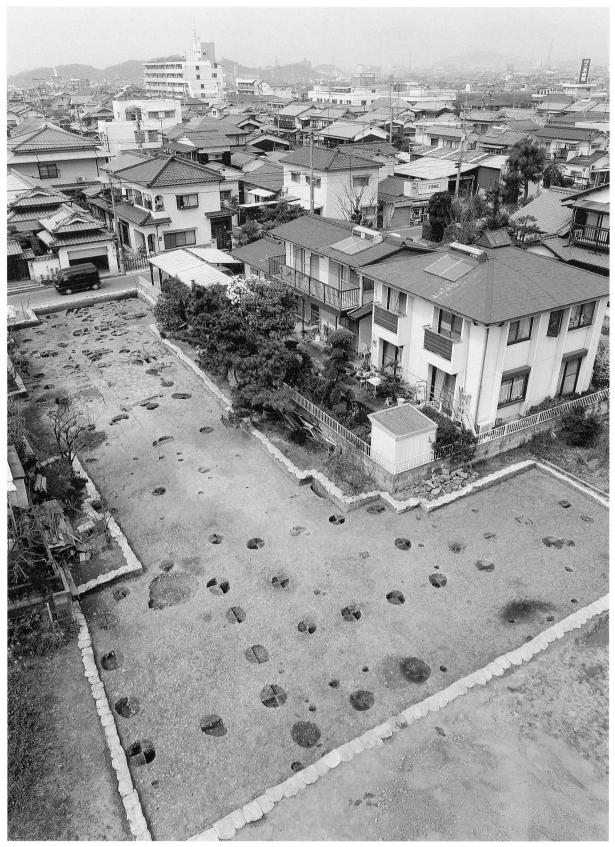


写真1 調査地全景(南東より)



写真 2 掘立 4 完掘状況 (東より)



写真3 掘立2完掘状況(東より)

久米高畑遺跡46次調査地

所在地 松山市来住町1155番地 4

期 間 平成12年4月17日~同年7月19日

面 積 135 m²

担 当 橋本雄一・小玉亜紀子



図1 調査地位置図

経 過 久米官衙遺跡群内の主要施設の一つ正倉院は、外郭が東西約125m、南北約140m規模の濠によって囲われた遺構である。平成8年度の久米高畑32次調査と31次調査によって、南濠と関連の建物群の存在が確認された。さらに、この32次の東に位置する12・43次でも、関連の建物群が確認されている。調査地は43次の北にあり、正倉院内の北東部に位置する(図2参照)。

今回の調査は正倉院の内部構造の確定を主目的として実施した。場所は、松山市が指定する包蔵地 「No126 高畑遺物包含地」内で、個人住宅の建て替えに伴って、国から補助を受けて調査を実施した。

調査地周辺では、弥生時代から中世にかけて多くの遺構や遺物が確認されている。調査地南側の同遺跡12・31・32・35次や、南東側の26次からは、弥生時代前期末~中期初頭の住居址、土坑などの集落遺構が多く検出されている。今回の調査では官衙関連遺構の他に、弥生時代の集落の確認も目的として調査を実施した。

遺構・遺物 調査地は標高37mに立地し、基本層位は、基盤層を含めて6層に大別される。

遺構は、第 $V \cdot VI$ 層上面(地山直上)で確認した。調査地は、水田造成の際に、大幅な削平がなされていた。このため、検出した遺構の多くが削られ、遺構の底面近くでの検出であった。

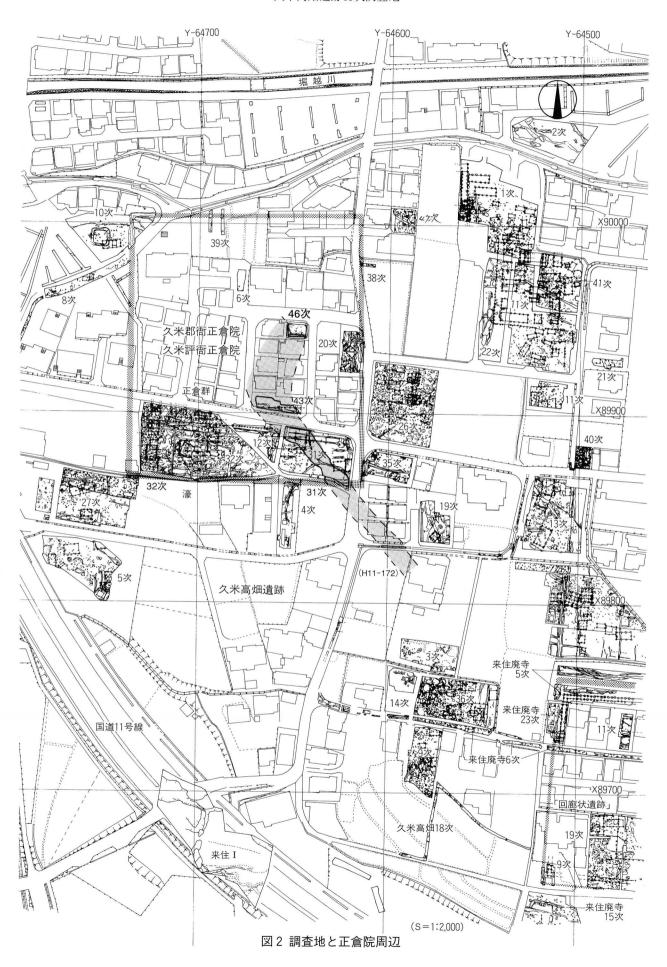
検出した遺構は溝1条、柱穴39基(集石1基)、土器溜り1基、溝状の低地部である。以下、主な遺構と遺物について記述する。

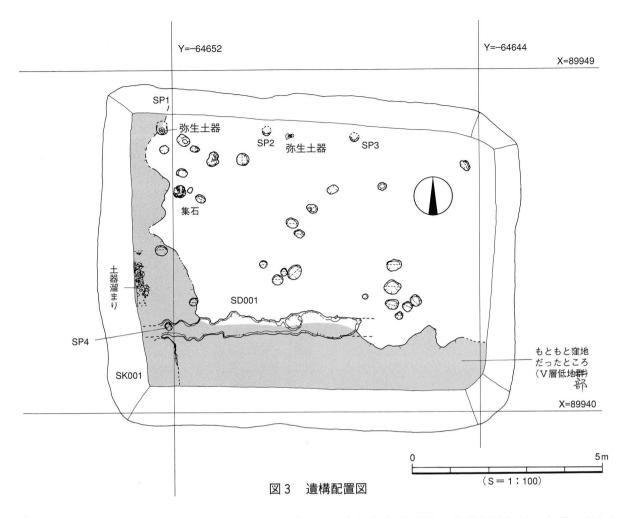
①古墳時代~古代 これまで、正倉院内の北東部は調査の機会がなかった為に、その構造や遺構配置がよく分かっていなかった。調査の結果、古代の正倉院に伴う建物跡や関連の遺構は確認されなかった。この場所は、「建物を置かない空間・広場」として使われていたと推測できる。

②弥生時代 弥生時代は2時期が確認された。

I 段階: <u>弥生時代中期中葉~後期にかけて埋没した溝状低地の東岸</u>が確認された。この低地は過去の調査31・43次・公共工事に伴う確認調査(H11-172)の調査でも検出されている。調査地からは中期中葉の土器が出土しているのみであるが、他の調査地では後期の遺物も出土している。現在までに、約150mが確認できており、北西から南東方向へ、東に湾曲しながら走っている(図 2 参照)。

II 段階:低地を掘り込んでいる溝 1条、柱穴 3基($SP1\sim3$)、土器溜まり 1基が検出された。溝は出土土器から、弥生時代中期中葉頃に埋没したと考えられる。また、土器溜まりが 1基西壁にかかる位置で確認された。柱穴($SP1\sim3$)は直径約15cm、深さ約60cmであり、竪穴式住居址の主柱穴の可能性も考えられる。この内 SP1 からは、壺形土器の胴部~底部 1 点が据えられた状況で検出された。





③中世 SP4から、12世紀後半の土師器 碗形土器片と和泉型瓦器の碗形土器片が1点ずつ出土した。

④時期不明 調査地の北西部で、集石を伴う柱穴を1基確認した。石は合計8個検出され、2段に積まれていた。下層は人頭大よりやや小さい石が、上面を平らにして3個置かれていた。上層は握り拳大の長細い石を立て、その石を4個の石が四方より取り囲んでいた。

柱穴の掘りかた検出面は集石の下層部分になり、柱穴内の埋土は黒褐色の粘質土 (10 Y R 2/3)で、遺物は弥生土器の小片が 1 点出土したのみである。性格は不明である。

小 結 今回の調査では、弥生時代から中世の遺構と遺物を確認した。

調査目的の正倉院内部構造は、建物を置かない空間・広場としての利用が考えられる。また、弥生 時代中期中葉~後期に埋没した溝状の低地のつながりが確認でき、弥生時代の旧地形の一部がわかっ た。(小玉)



写真1 遺構検出状況(北より)

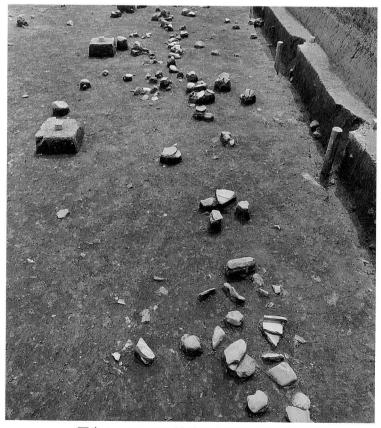


写真 2 S D 001 遺物出土状況(西より)

人米高畑遺跡47次調査地

所在地 松山市南久米町775-4·7

期 間 平成12年5月9日~同年8月11日

面 積 253.66 m² 担 当 小笠原 彰

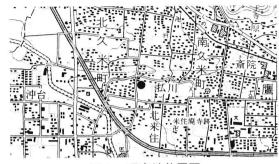


図1 調査地位置図

経 過 個人住宅建設に先立ち、久米官衙遺跡群において政庁と想定されている区画施設に関わる箇所の調査を国庫補助により実施した。昭和60~61年に実施された1次調査の際に、桁行き10間以上の長大な建物を伴う大型柱穴による柱列が検出され、長舎囲いによる区画施設の存在が予想されることとなった。この区画施設は来住台地における立地や構造から政庁と想定されているが、時期や性格を特徴づける出土遺物は少なく、また1次調査以来該当部分の調査が実施されていないことから詳細は不明である。調査地は1次調査地から西に約30mに位置し、区画施設西辺の検出が予想される場所にあたる。そのため、今回の調査においてこの区画施設の規模・構造・時期などの解明が期待された。遺構・遺物 調査地は来住台地北部中央の台地端部、標高37mに立地する。遺構検出の結果、第二次大戦中に掘削されたと見られる溝(塹壕)に攪乱され調査区南半は著しく削平を受けていた。このため、検出し得た建物プランには判然としないものが多い。掘立柱建物址4棟、竪穴式住居址2棟、土坑8基を検出したが、予想された区画施設に関わる遺構の検出はできなかった。掘立01は主軸を15。西に振る桁行き3間(6.8m)×梁行き2間(4.5m)の東西棟、掘立02は主軸を12。西に振る1間(3.2m)×1間(3.m)の建物、掘立03は主軸を9。西に振る桁行き3間(6.1m)×梁行き2間(検出長

竪穴式住居址、土坑は弥生時代に帰属する。来住台地上では、環濠の可能性の高い3条の大溝や竪穴式住居、土坑などが多数検出され遺構密度の高い場所となっている。円形の竪穴式住居と考えられるSB02は主柱穴のみの検出であり南西部は攪乱のため未検出であるが、10本の柱穴により構成されていたと考えられる。住居周辺からはサヌカイト製打製石鏃と剥片が少量出土している。円形の土坑であるSK02とSK07からは、台地上で特に密度の高い前期末~中期初頭の土器が出土している。

1.55m) の東西棟と考えている。いずれの建物も時期特定の可能な出土遺物はないが、建物主軸の方

向や柱穴の形態・埋土から考えると官衙造営以前の建物である可能性が高い。

小 結 調査の目的であった長舎囲いによる区画施設西辺の検出には到らなかった。平成13年度には本調査地西隣に位置する箇所の学術調査が予定されており、この区画施設の解明に期待がかかる。長舎囲いによる区画やその南東に位置する一辺43mの区画施設の周辺では方向に統一性のない1間×1間の仮説的な施設と考えられる建物群が存在する。この建物群は7世紀前半代から頻繁に建て替えられたものと見られる。本調査の掘立02はこのような建物群と考えることが可能かもしれない。「評」・「郡」にいたる方形の区画施設に囲われた官衙施設造営の様相を把握するためには、前段階である「国造」の時期における土地利用の状況を明らかにし、来住台地上における関連施設の変遷を位置づけていくことが必要である。(小笠原)

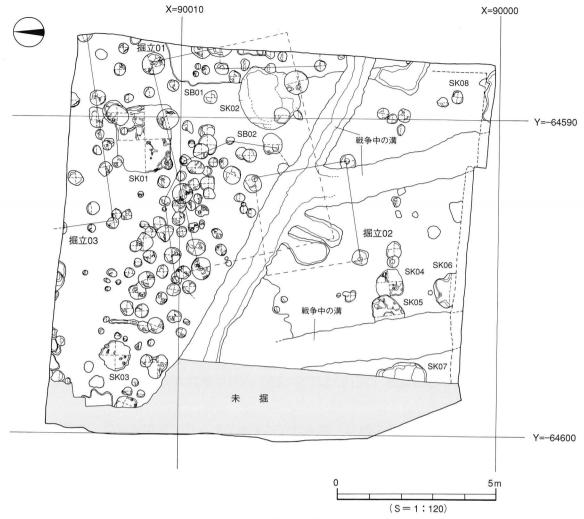


図2 遺構配置図

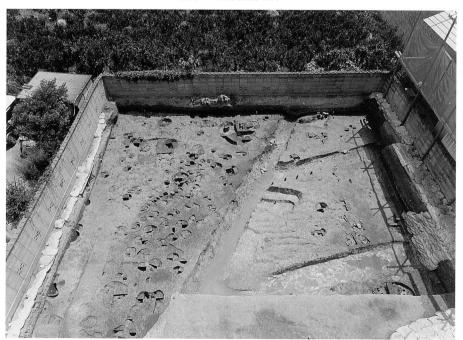


写真1 調査地全景(西より)

人米高畑遺跡48次調査地

所在地 松山市来住町860番地

期 間 平成12年9月12日~同年11月4日

面 積 251 m²

担 当 橋本雄一・小玉亜紀子・楠 寛輝



図1 調査地位置図

経 過 久米官衙遺跡群は松山平野の東部、北の堀越川と南の小野川の間にある台地上に展開している。調査地は主要施設の一つ、「回廊状遺構」の北側に位置している。「回廊状遺構」は外郭約110m 四方(一町四方)の溝によって囲われた遺構である。この北側には、以前より同規模の官衙関連の区画地の存在が想定されていた。新たに、平成11年の久米高畑42次調査によって、区画地の西辺を区画する溝と、関連の建物群の存在が確認された。今回の調査は、この区画地の内部構造の確定を主目的として実施した(図2参照)。

調査は松山市が指定する包蔵地「No.127来住廃寺跡」内の学術調査で、国から補助を受けて実施した。

遺構・遺物 調査地は標高39mに立地し、調査以前は宅地であった。基本層位は、基盤層を含めて3層に大別される。遺構は、第Ⅲ層上面(地山直上)で確認した。調査地は、調査以前の重機の掘削によって第Ⅲ層の地山を激しく削られていた。この為、検出した遺構はその多くが、遺構底面近くでの検出であった。

遺構は柱穴が5基と現代の土坑が1基検出された。柱穴は北西部に4基($SP1\sim4$)、南部に1基(SP5)確認できた。 $SP1\sim4$ は北西部に集中し、柱穴の抜き取り跡も確認されているが、この4基の柱穴では掘立柱建物は建たない。また、時期は不明である。

小 結 今回、調査目的であった「回廊状遺構」北隣の区画地の内部構造の一部が確認された。調査 地には官衙関連の遺構は確認されなかった。

今回調査した区画地内の42次東側や49次南東部も同様の傾向がみられる。区画地南溝から約30mの空間は合わせて「建物を置かない空間・広場」として利用されたと考える。(小玉)

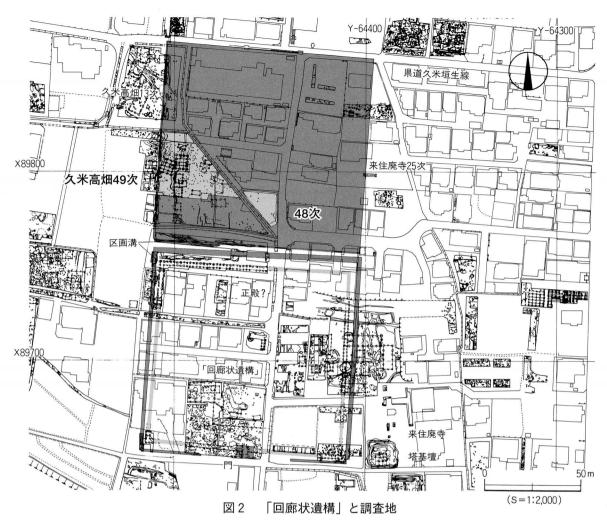




写真1 遺構検出状況(南東より)

久米高畑遺跡49次調査地

所在地 松山市来住町861・862・863番地の一部

期 間 平成12年10月10日~13年3月31日

面 積 999 m²

担 当 橋本雄一・小玉亜紀子・楠 寛輝



図 1 調査地位置図

経 過 調査地は、台地上に展開する久米官衙遺跡群の主要施設の一つ「回廊状遺構」の北側に位置している。「回廊状遺構」は外郭約110m四方(一町四方)の溝によって囲われた遺構である。この北側には、以前より同規模の官衙関連の区画地の存在が想定されていた。新たに平成11年の久米高畑42次調査によって、区画地の西辺を区画する溝と、関連の建物群の存在が確認された(p55図2参照)。

今回の調査は、42次の北隣に位置し、この区画地の南西部分の内部構造の確定を主目的として実施 した。調査は松山市が指定する包蔵地「No.127来住廃寺跡」内の学術調査で、国から補助を受けて実 施した。

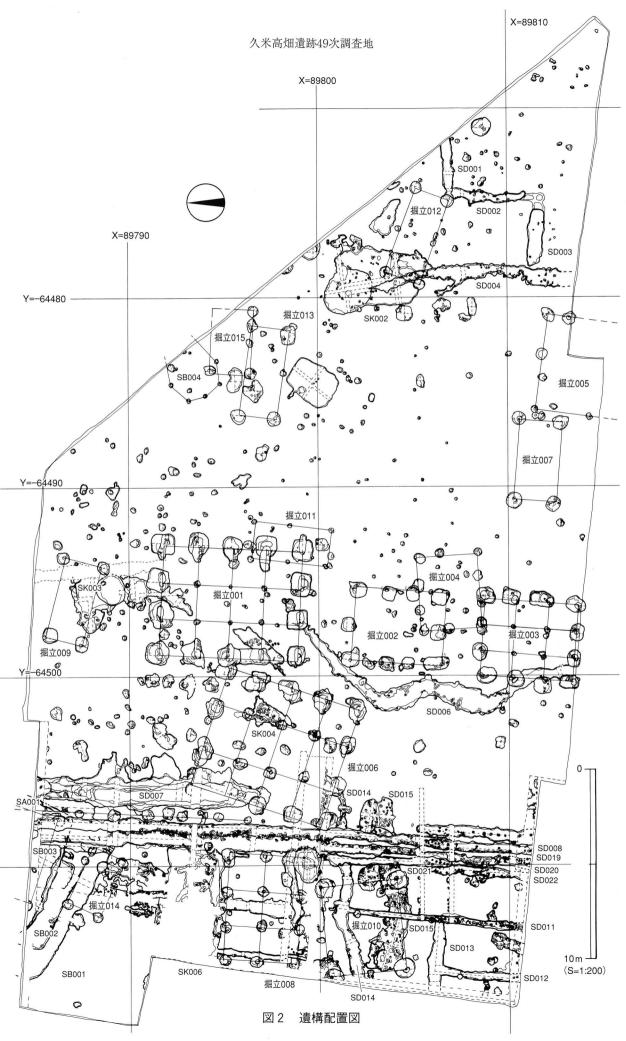
遺構・遺物 遺構は、掘立柱建物址16棟・竪穴式住居址 4 棟・溝19条・柵列 1条・土坑15基・柱穴 318基を検出した。このうち、調査目的であった古代の官衙施設の関連遺構は、42次から続く区画地 西辺の溝 6条(S D $019 \cdot 020 \cdot 010 \cdot 008 \cdot 021 \cdot 027$)と柵列 1条(S A 001)、掘立柱建物址 3 棟(掘立 $1\sim3$)、区画地内の溝 5条(S D $001\sim004\cdot007$)、西側の区画地の溝 2条(S D $011\cdot012$)、土坑 2 基(S K $006\cdot008$)を確認した。

(区画溝)区画地の西辺を区画する溝は、42次から続く溝を含めて6条確認した。全て直線溝で幅は約 $0.6\sim0.8$ m、深さ約 $0.1\sim0.15$ mを測る。SD019と020は接しているが、新古関係は確認できなかった。この2条の溝が調査区の南北を途切れずに走る。SD008の北には同主軸のSA001が検出されており、SD008と合わせて区画の機能を果たしていた可能性がある。溝には柴垣のようなものを植え、境としていたと考えられる(註1)。

溝には、6つの共通の特徴が確認できた。①区画溝は直線に布掘で掘られている事、②埋土は粘性が強く、流水を示す砂質でない事、③底面の高低差は約0.1mと若干あるが、これは自然地形の高低差と同じである事、④底面から直径約0.15m、底面からの深さ0.05~0.10mの穴が確認された事、⑤溝を掘削した土を、その場所に埋め戻した可能性がある事、⑥溝の底面が凸凹であった事である。特にSD008では、中央部に穴が0.1~0.2mの等間隔に並んだ状態が確認できた。

⑤の溝を掘削した土をその場所に埋め戻した可能性とは、次のことから推測した。区画溝SD019・020・021は、弥生時代前期末~中期初頭の溝のSD014と切り合い関係にある。この箇所では、区画溝の埋土中からも弥生土器と石器の破片が多く出土した。同様の現象は、同じく切り合い関係にある古墳時代後期のSD015でも確認できた。

区画溝出土の主な遺物には図 $3 \cdot 1 \sim 7$ がある。 $1 \sim 3$ はSD019出土。1は須恵器の坏蓋。溝の検出面で出土した。時期は飛鳥皿併行期。2は須恵器の碗の口縁部。3は須恵器の碗の底部。溝の検



出面で出土した。 4~5 は S D 020出土。 4 は須恵器の坏蓋。時期は飛鳥Ⅱ~Ⅲ併行期。 5 は土師器の皿である。内面に 1 段放射暗文が施されている。 6 は S D 008出土の須恵器の坏身であり、歪んでいる。いずれも 7 世紀後半の遺物である。他にも、須恵器や土師器や瓦の破片が出土しており、 S D 021からは、久米官衙遺跡群の最古型式の瓦である単弁十葉蓮華文軒丸瓦(7)が出土している。この瓦は久米高畑42次の区画溝(S D 002)からも同范のものが出土している。

その他に、区画溝SD020とSD011・012に接するSK006の底面からは、須恵器の高台付の坏身が出土した(9)。時期は平城 $I \sim II$ 併行期、8世紀初頭である。土坑は、切り合い関係から溝よりも新しい。出土物からは、SD020が遅くとも8世紀初頭に廃絶したことが確認できた。これにより、区画溝SD020の下限がおさえられた。

(掘立柱建物) 掘立柱建物址は区画溝と平行に、東約9 m先で南北に並んで3棟確認した。南隣の42 次掘立柱建物と合わせて南北に5棟並んでいる。一番北に位置する掘立1は他と比較して規模が大きい。建物は桁行4間 $(7.3\,\mathrm{m})$ ×梁行3間 $(5.7\,\mathrm{m})$ の南北棟で、総床束柱の建物。底面積約41.6㎡。方位N-3.5°-E。SP5の抜き取り埋土出土の平瓦は、凸面側に格子叩きが施されていた。掘立2は桁行3間 $(4.65\,\mathrm{m})$ ×梁行2間 $(3.7\,\mathrm{m})$ の南北棟の側柱建物。掘立1から南に約2.8m離れて建っていた。、床面積約17.21㎡。方位N-3°-E。掘立3は桁行3間 $(4.95\,\mathrm{m})$ ×梁行3間 $(4.0\,\mathrm{m})$ の南北棟で、総床束柱の建物。床面積約19.8㎡。方位N-3°-E。

建物はその構造から、稲倉ではなく、それよりも軽めのものをいれた倉庫(板倉・校倉)と考えられる(註2)。この場所は収納施設として利用されていた事が確認された(註3)。

(区画地内部の溝)区画地内部の溝は5条確認した。42次から続く溝であるSD004とその東にSD001・002・003がある。出土物からの時期は不明であるが、いずれも直線溝で、区画溝の方位と同じことから、区画地内の遺構と考える。区画地内をさらに区画するの為の溝であろう。

S D 007は区画溝と平行に並び、北の13次調査の溝(年報 \square ・S D 10)とつながる。出土遺物からも官衙関連遺構と考える。久米の官衙遺構の中では出土物が多い遺構である。層位は大きく6層に分けられ、各層とも埋土は粘性が強く、砂質の埋土はなかった。各層は \square 以下推積し、遺物の出土状況が異なる。 \square 層では土師器と須恵器の小片と小石が大量に入る状況であった。 \square 層では瓦がほぼ完形に近い状況で出土した。この中には、区画溝(S D 021)出土の単弁十葉蓮華文軒丸瓦と同范のものが含まれている。この瓦は台地上の他の官衙遺構からも出土している(註 4)。 \square ~ \square 回 \square 以下層は、須恵器片と土師器片が出土した。この内、時期確認のできるものは、 \square ~ \square 層出土の須恵器の坏蓋片がある(図 3 ・ 8)。出土地点は底面から約0.1 m上の下層であった。時期は飛鳥 \square ~ \square 化併行期、7 世紀末~8 世紀初頭である。これは、区画溝から出土している遺物より、1 段階新しい遺物である。この溝の性格は不明である。埋土の堆積状況からは、土坑が重複し溝状になった遺構でないことを確認した。遺物の出土状況から、最後は遺物の廃棄場所として使用されたと考えられる。

(別の区画地)区画溝(SD020)から約3.5mと5.9m西で直線溝2条が確認できた。両溝は区画地の西辺溝とほぼ平行である。両溝とも、区画溝と同様①~⑤の特徴が確認できた。SD011は「回廊状遺構」の北西の区画地を区画する東溝と考えられる。

(古代以外の遺構と遺物)今回、古代以外の時期の遺構も多く確認した。遺物は、後期旧石器時代の ナイフ形石器 1 点(S D 015)や縄文時代草創期の有舌尖頭器 1 点(掘立 7)も出土した。これらの 石器は後世の遺構に流入した遺物である。遺構は、古墳時代~古代では掘立柱建物址 4 棟(掘立 4・ $5\cdot 6\cdot 8$)を確認した。切り合い関係と建物配置から、区画溝と同方位に規制される前段階の掘立柱建物である。掘立 6 は桁行 4 間(7.13m)×梁行 3 間(6.1m)で、南北棟の総柱建物であった。区画溝 S D019・掘立 $1\cdot S$ D007と切り合い関係にあり、それらより古く、柱穴の深さが0.9mと周囲の掘立 $1\sim 3$ と比較して深い。他に、古墳時代後期、弥生時代前期末~中期初頭と中期中葉の遺構を確認した。

小 結 今回の調査では「回廊状遺構」の北に隣接する、別の区画地の南西部が収納施設として利用 されていた事がわかった。

区画地の西辺を区画する6条の溝は、仮に同段階に複数が平行に存在しても、幾度か造り替えされている。区画溝出土の遺物は7世紀後半であり、時期幅がない。区画地西辺は短い期間に造り替えられていると考える。一方、同区画地の南辺は、布掘の直線溝1条内の一部分に直径約0.5mの柱穴が約3mごとに検出されている。同じ区画地でも場所によっては境の方法に違いがあった。

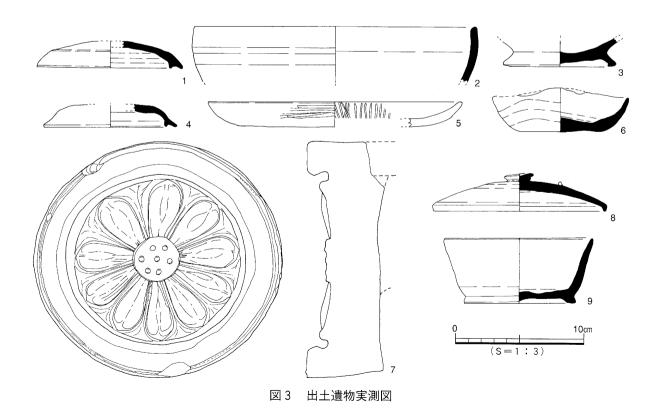
また、区画溝出土遺物の時期が区画溝の廃絶時期を直接示すのか、成立時期を示すのかは今後の検討を要する。

SK006出土遺物(図 $3\cdot 9$)からは、区画溝SD020とSD011が遅くとも8世紀初頭には廃絶したことが確認できた。これは、「回廊状遺構」の北区画地と北西区画地がこの時期までに廃絶したことを示している。

これらの遺構や遺物により、古代官衙の様相がさらに確認でき、来住台地全体の各時期の土地利用の状況の一部も確認された。(小玉)

註1~3:史跡来住廃寺調査検討委員会の現地指導の見解(2001年2月2日)

註 4:丸山美和「来住廃寺出土瓦についての一考察」『来住廃寺遺跡 15次調査報告書』 1993



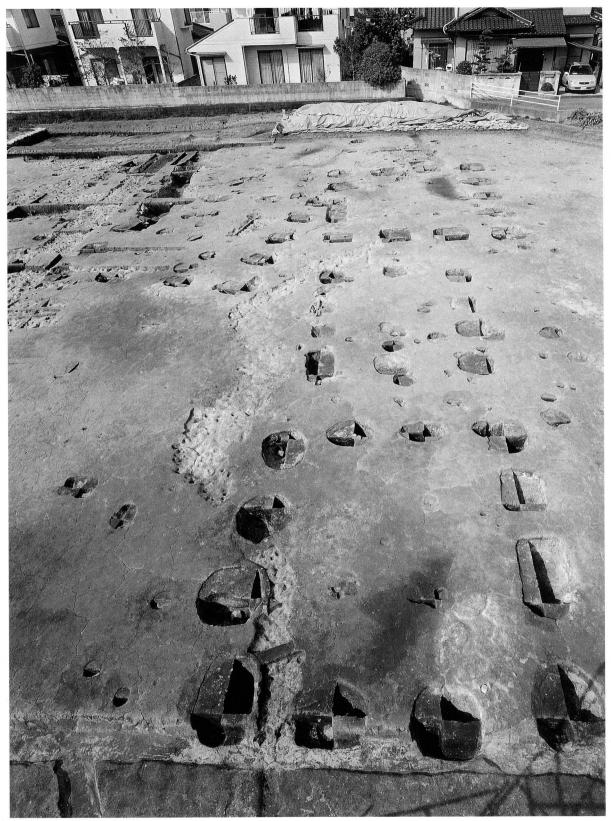


写真1 区画溝と掘立柱建物群検出状況(南より)



写真2 掘立001・SP5 (南西より)



写真3 SD007遺物検出状況(北より)

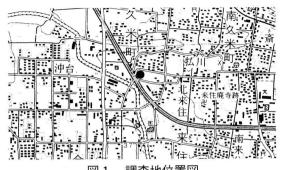
人米高畑遺跡50次調査地

所在地 松山市来住町1144-1

期間 平成13年2月13日~同年3月30日

面積 754m²のうち180m²

担当 栗田茂敏・相原浩二



経 過 本調査は、宅地工事に伴う事前の発掘調査である。調査地周辺は、これまでに数多くの調査 が行われ、弥生時代~古代の集落関連遺構や古代の官衙に関連する遺構や遺物が確認され、松山平野 の主要な遺跡地帯として知られる。調査は、弥生時代から古代の集落構造の解明と範囲確認を主目的 とし調査を実施した。なお、調査範囲は建物の建築予定地の3カ所に限られ、それぞれ1区~3区と し調査を行った。

遺構・遺物 検出した遺構は竪穴式住居址4棟、掘立柱建物1棟、土坑8基、溝1条、柱穴28基であ る。出土遺物は弥生土器、土師器、須恵器、石器などが出土している。

竪穴式住居址は、SB1~SB4である。SB1は、1区の中央部で検出した。壁体は、削平され 失われるが主柱穴を7基検出した。柱穴埋土は、茶褐色土である。平面形は、柱穴の検出状況より円 形を呈すると考えられる。SB2は、1区の南側で検出した。壁体は、削平され失われる。主柱穴は、 4本を検出した。柱穴埋土は、黒褐色土である。SB2とSB1は、柱穴の切り合い関係が認められ SB1がSB2に先行する。SB3は、1区北側で検出した。壁体は、削平され失われる。主柱穴は、 4本を検出した。柱穴埋土は、黒褐色土である。 SB4は、2区の南東部で検出した。検出状況は、 4分の1程度の検出で残りは調査地外となる。平面形は、隅丸方形か隅丸長方形を呈すると考えられ る。検出規模は東西1.50m、南北1.10m、壁高6cm~10cmを測る。壁体直下には幅15cm~20cm、深さ4 cm~7cmの周壁溝が巡る。出土遺物は、弥生時代後期の土器が出土した。

掘立柱建物(掘立1)は、1区の南西部で検出した。掘立1は、南北1間の検出である。建物の規 模は、ほとんどが調査区外となるため不明である。柱穴の平面形態は、方形を呈する。柱穴埋土は、 黒褐色土である。柱痕跡は、直径15cmを測る。出土遺物は弥生土器、土師器、須恵器、石鏃が出土し ている。土坑は、主なものにSK1~SK5がある。SK1は、1区の南側で検出した土坑である。 平面形態は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.77m、短軸1.14m、深さ16cmを測る。遺構埋土は、茶褐 色土である。出土遺物は、弥生時代前期末の土器が出土している。SK2は、1区で検出した土坑で ある。SB3の柱穴に切られる。平面形態は、隅丸長方形を呈する。規模は長軸0.80m、短軸0.68m、 深さ1.20mを測る。埋土は、赤褐色粘土に黄色土粒が混じる単一層である。遺物は、出土していない。 SK3は、1区で検出した土坑である。平面形態は、隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.18m、短軸 0.80m、深さ1.10mを測る。遺構埋土は、SK2と同様である。遺物は、出土していない。SK4は、 1区で検出した土坑である。平面形態は、不整形である。規模は長軸1.08m、短軸0.86m、深さ1.00m を測る。埋土は、SK2・SK3と同様である。遺物は、出土していない。SK5は、1区で検出し



図2 遺構配置図

久米高畑遺跡50次調查地

た土坑である。遺構の東側は、現代の撹乱により削平されているため全容は不明である。検出規模は長軸80cm、短軸68cm、深さ5cmを測る。遺構埋土は、茶褐色土である。遺物は、弥生土器が出土している。

溝は、SD1の1条を検出した。SD1は、3区での検出である。北岸の一部を検出したのみで、全体規模は不明である。検出規模は長さ2.50m、深さ0.26m~0.30mを測る。遺構埋土には、粗砂層と細砂層が伴う。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器が出土した。

小 結 今回の調査で検出した遺構の時期は、時期比定できる出土遺物があったものについては竪穴式住址 SB4 が弥生時代後期、掘立 1 は 7 世紀、土坑 SK1 と SK5 は弥生時代前期末~中期初頭、溝 SD1 が 6 世紀以降に時期比定できる。時期比定できる出土遺物がなかった遺構については、遺構の埋土色などの整理・検討を行い時期や性格を明らかにしていきたい。(相原)



写真1 遺構完掘状況(北より)



写真2 SK1検出状況(南より)



写真3 SB4完掘状況(西より)

来住廃寺26次調査地

所在地 松山市来住町850-2の一部

期 間 平成12年4月12日~同年7月14日

面 積 約33 m²

担 当 橋本雄一・小玉亜紀子



図1 調査地位置図

経 過 来住廃寺を含む久米官衙遺跡群における最初の調査は、昭和42年に塔基壇推定箇所で実施された来住廃寺1次調査であった。この調査の結果、基壇上において8基の礎石が検出されている。今回、このうちの一部を再度検出し、国土座標に基づいた測量を行った。この調査成果は、近い将来に予想される寺域中心部における本格的な調査の際の基本資料として活用する予定である。

遺構・遺物 1次調査の際に検出済みの8基の礎石のうち、南部の5基を改めて検出して測量を実施した。礎石を検出するために若干の表土を除去したが、掘削は1次調査の範囲内に止め、新たな掘り下げは行っていない。したがって、礎石の設置状況、基壇の構造等に関する新たな所見は得ていない。基壇上の礎石建物は3間四方で、東西5.86m、南北6.42mの規模であるとされている。南の14番礎石と15番礎石の位置が南に離れていることから、この数値の差が生じていることに対して、両礎石の2次的な移動も検討されているが、結論は出ていない。今回の調査においても、この点に関して言及できる状況にはなく、将来の課題として残された。ただし、これら2基を含む礎石の上面のレベルがそろっていることから、創建当時の状況を保っている可能性も高いと判断している。

基壇の規模についても、1次調査時の約9.75m四方との所見を検証するには至っていない。将来的には、基壇の北西部に存在する後世の盛土を全面的に除去したうえで確認を行う必要がある。なお、現況地表面から礎石上面までの比高差は、約1mを測る。

なお、礎石の配置状況から推定される建物の方位は、ほぼ真北であることが確認された。

小 結 これまでこの寺は、法隆寺式の伽藍配置の寺で、今回測量を行った基壇は塔跡であると推定されてきた。この考え方は、付近で法隆寺式の瓦が出土すること、さらに基壇の高さが1mに達する規模であること、基壇の北東に隣接して、講堂である可能性が高い礎石建物が確認されていることなどを根拠としている。ただし、金堂は未確認で、講堂であると推定されている建物についても来住廃寺に伴うものであるのか確定されていない。したがって現状では、伽藍配置について言及できる状況にはなく、基壇についても塔基壇であると断定するには至らない。なお、先に述べた礎石の配置状況は、基壇上の建物が南北棟であったことを示しているのかもしれない。その場合、塔としての復元には無理があると言わざるを得ない。14番礎石と15番礎石が元位置を保っているとすると、東面する南北棟の建物(金堂)を想定する方が、より合理的な解釈であるかもしれない。(橋本)

[文献] 大山正風『長隆寺跡調査報告書』松山市文化財調査報告書Ⅲ 松山市教育委員会 1974 小笠原好彦ほか『来住廃寺』松山市文化財調査報告書12 松山市教育委員会ほか 1979

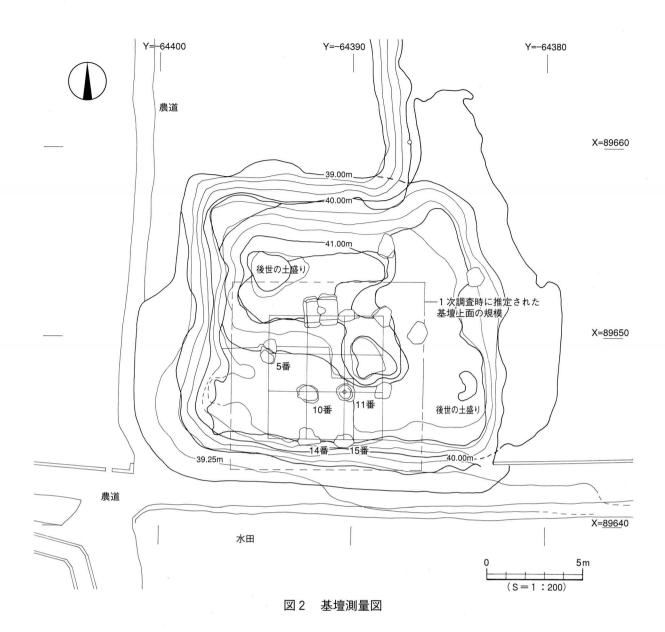




写真 1 礎石検出状況(西より)

来住廃寺27次調査地

所在地 松山市来住町597番地先から590番地先まで

期 間 平成12年8月29日~10月5日

面 積 約38.4 m²

担 当 橋本雄一・小玉亜紀子



図1 調査地位置図

経 過 国指定史跡来住廃寺跡の塔基壇から東へ75mの地点において、農道の改修工事にさきだって 発掘調査をおこなった。調査地は、史跡指定区域の南東角から東へ30mに位置している。隣接地においては、過去に寺域東限を確定する目的で、来住廃寺14次、9次、17次、21次などの調査が実施されてきたが、寺院・官衙関連の遺構は確認されていない。今回の調査は、全長28m×幅約1.2mの小規模なものであったが、調査例が少ない当該区域における良好な情報が得られるものと期待された。

遺構・遺物 古墳時代の柱穴を中心とする遺構を多数検出した。北部のSB001は、当初、竪穴住居 であると考えられたが定かではない。SK005と006の2基については、土坑として扱っているが、大型の柱穴である可能性もある。SK003・004、SP1・12、野壺などは近世以降の遺構である。

主体を成す遺構は柱穴である。大小あわせて約50基が検出されているが、調査区の中央付近に大型で深さのある柱穴が分布している。最大のものはSP9である。直径約 $1\,\mathrm{m}$ 、深さ約 $0.9\,\mathrm{m}$ のこの柱穴の埋土は堅くしまっている。直径 $15\,\mathrm{cm}$ ほどの柱の痕跡もしくは抜き取り跡が確認されている。これと同規模の柱穴は他に確認されていないが、南部の $SP7\cdot SP16$ や、中央の $SK005\cdot 006$ などがこれに次ぐ存在である。大型の建物の存在が予想されるが、 $SP2\cdot 3\cdot 6$ など、中規模の柱穴を含めて、柱のならびを復元することはできなかった。したがって、建物の規模、構造はわかっていない。なお、これらの柱穴の所属年代は、 $7\,\mathrm{then}$ 世紀前葉以前に溯る可能性が高い。寺院・官衙と関係が深い $7\,\mathrm{then}$ 世紀中葉から $8\,\mathrm{then}$ 世紀代にかけての遺物が出土していないことに加えて、この時期特有の方形の柱穴が認められないことから、柱穴の多くは官衙出現以前に所属するものと考えられる。なお、柱穴である可能性もあるSK006から、 $7\,\mathrm{then}$ 世紀前半頃の須恵器の坏身が $1\,\mathrm{then}$ 点出土している。

この他、溝である可能性が高い遺構が3条検出されている。南部の溝、SD002と003は重複関係にある。002は古墳時代後期を上限とする時期、後出する003は、おそらく中世以降の溝であると推定している。ともに、官衙の地割りや、現在の道路の起源を考える際に参考になる遺構である。調査地北部のSD001は、幅約2m、深さ0.6mの大規模な溝である。底面においては、水流に由来すると考えられる粘土の堆積層が確認された。埋土は褐灰色土ないし灰褐色土で、須恵器片が出土することから、古墳時代終末を上限とする時期の遺構であると考えられる。埋土の性質が異なることから、先に述べた大型の柱穴によって構成される建物群と直接の関係にある溝ではないと推定している。

小 結 大型の柱穴は、官衙出現以前の大規模な建物群の存在を反映したものと理解したい。回廊状 遺構の東に隣接するこの位置に、官衙遺跡群を産み出すに至った有力な集団の中核施設が眠っている のかもしれない。(橋本)

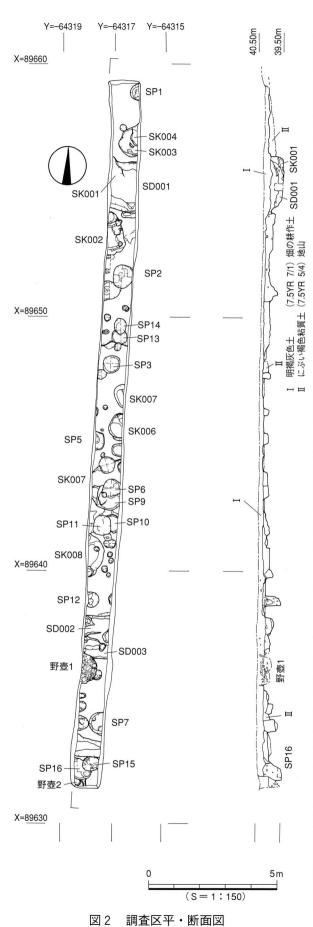


写真1 調査地全景(南より)



写真2 SP9周辺調査状況(南南東より)

久米地区公共工事に伴う確認調査 I

所在地 松山市南久米町558番地外

期 間 平成12年11月7日~13年1月31日

面 積 675 m²

担 当 水本完児・梅木謙一

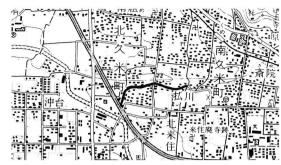


図1 調査地位置図

経 過 本調査は、松山市の指定する埋蔵文化財包蔵地『No127 来住廃寺跡』内における上・下水道工事に伴う確認調査である。調査地は、松山平野南東部、標高32.2~35.9mに立地する。当地域は久米高畑遺跡をはじめとする官衙関連遺跡群として知られている。

遺構・遺物 調査地の基本層位は、第Ⅰ層造成土1(コンクリート・アスファルト・真砂土)、第Ⅱ層造成土2(旧表土)、第Ⅲ層耕作土、第Ⅳ層床土、第Ⅴ層包含層、第Ⅵ層地山である。遺構は、第V層上面で検出し、弥生時代の竪穴住居址1棟、溝2条、性格不明遺構1基、柱穴6基と、古墳時代~古代の溝1条を検出した。

弥生時代の遺構: T22①で検出した溝SD2は、東西幅4.2m、深さ15~25cmを測る。埋土は、黒褐色土に茶色土が混じるもので、遺物は弥生時代前期末の土器が出土している。SD2の南側には、久米高畑遺跡28・29次調査地があり、そこでは弥生時代前期末の大溝SD006を確認している。今回検出のSD2は、埋土や出土遺物が大溝SD006と同じことから、大溝SD006の一部とみられる。T2①で検出した竪穴式住居址SB1は、平面形態は方形を呈すると推定され、規模は南北4.2m、東西検出長0.7m、深さ10~20cmを測る。埋土は黒褐色土で、遺物は弥生時代後期終末の弥生土器と石器が出土している。SB1は、弥生時代後期終末の住居址になり、一帯には同時期の集落が存在していることになる。来住台地上では、来住廃寺や台地北西部で同時期の集落があり、この地区では3例目の集落跡となり、来住台地上の集落経営が充実していたことが推察される。

古墳時代~古代の遺構:T19①で検出した溝SD1は、東西幅6.0m、深さ30~45cmを測る。埋土は上層が黒褐色土、下層は黒褐色土に砂が混じるものである。遺物は弥生土器、須恵器、石器が出土している。この溝は、周辺の調査では確認されておらず、今回が初めての検出となる。今後の周辺調査では、溝の詳細な時期、形状、規模の確認が必要である。

小 結 本調査では、弥生時代と古墳時代~古代の遺構、同時期の遺物を確認することができた。弥生時代遺構は久米高畑遺跡群の北側部分の集落範囲を詳しく知る資料になり、古墳時代~古代の遺構は新たな検出遺構であり、貴重な資料を得たことになった。また、来住台地北側の一段低い土地での調査の必要性を示したものであった。(水本)

久米地区公共工事に伴う確認調査 I



写真1 掘削状況(西より)



写真2 作業風景(西より)



写真3 SB1遺物出土状況(1)(東より)



写真4 SB1遺物出土状況(2)(東より)



写真5 SD1完掘状況(北東より)



写真6 SD1遺物出土状況(北西より)



写真7 SD2完掘状況(北東より)

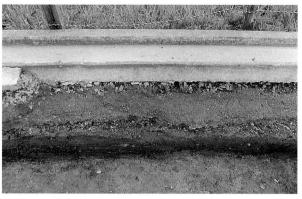


写真8 SX1 完掘状況(北より)

久米地区公共工事に伴う確認調査Ⅱ

(H12-104)

所在地 松山市南久米町585-8番地先

~716番地先まで

期 間 平成12年7月24日~8月1日

面 積 約66m² (幅0.6m×全長106m)

担 当 橋本雄一・小玉亜紀子

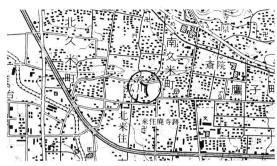


図1 調査地位置図

経 過 久米官衙遺跡群の区域内における配水管布設工事に先だって確認調査を実施した。付近では、 平成7年以降の調査によって、弥生時代前期末から中期初頭頃の大溝(濠)3条の存在が確認されて いる。今回の調査区域は、これらの溝から北東に50~100mほど離れた地点に位置し、堀越川に面し た台地の落ち際にあたることから、大溝の行方に関して参考になる情報が得られるものと期待された。 遺構・遺物 調査区南部のT1にて、弥生時代の大溝の一部を検出した。また、北西部のT4におけ る地山面の落ち際と、その東に位置するT3の厚い黒色土層の存在についても、T1の大溝の外側、 台地の縁辺部を廻る別の大溝を検出したものと解釈している(図2)。

T1検出の大溝は、久米高畑25次(年報皿)で2条確認されている大溝のうち、東側のSD2の延長にあたる。断面形状はU字形ないし逆台形、地山面からの深さは約0.8mを測る。大溝はトレンチに対して斜めに横切るが、溝幅は約3mと想定している。上層から少量の前期末ないし中期初頭頃の土器片が出土している。また、T4では、トレンチ南側の地山のレベルが、台地の北縁寄りのトレンチ北西部の地山面と比べて約0.8m落ち込む状況を確認した。この地山の落ち際は、台地縁辺部を東西に廻る別の大溝にあたる可能性が高いと理解している。さらに、T4の東に設定したT3では、工事の際の予定深度(-0.95m)を超えて現況道路面から約1.3m掘り下げたものの、地山面を検出することができなかった。厚い黒色土が堆積する状況が認められたことから、このトレンチ全体がT4の大溝の東への延長部分に該当する可能性を想定している。いずれのトレンチからも少量の弥生土器片が出土しているが、その他の時代の遺物は出土していない。

なお、T1検出の大溝については、配水管埋設の際の掘削によって検出面が若干削平を受けている 可能性があるものの、大半は保存されている。

小 結 今回の確認調査は小規模なものであったが、工事の性質上、長距離に及んだことから、弥生 時代の集落構造を解明するための貴重な情報を得ることができた。来年度以降も、当該地の南東にお いて汚水管の布設工事が予定されているので、大溝の行方に関して手掛かりを得ることができるもの と期待している。引き続き注意を払っていきたい。

なお、本調査の終了後に行なわれた汚水管布設工事に伴う調査($H12-152 \cdot p70$)の際に、弥生時代の3条の大溝のうち最も西に位置する溝(年報IX)の延長部を確認している。この溝は、今回検出された2条よりも標高の低い堀越川沿いへ延びることから、大溝によって囲われた区域の外縁にあたる可能性が高いと想定され注目される。(橋本)

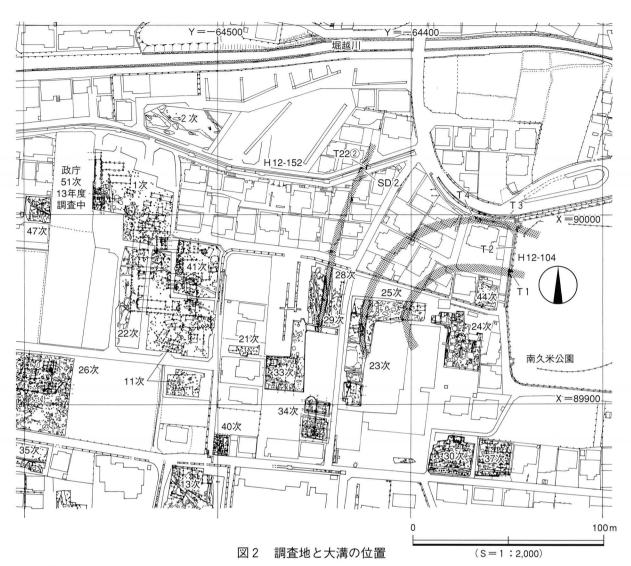




写真1 T1大溝完掘状況(北より)

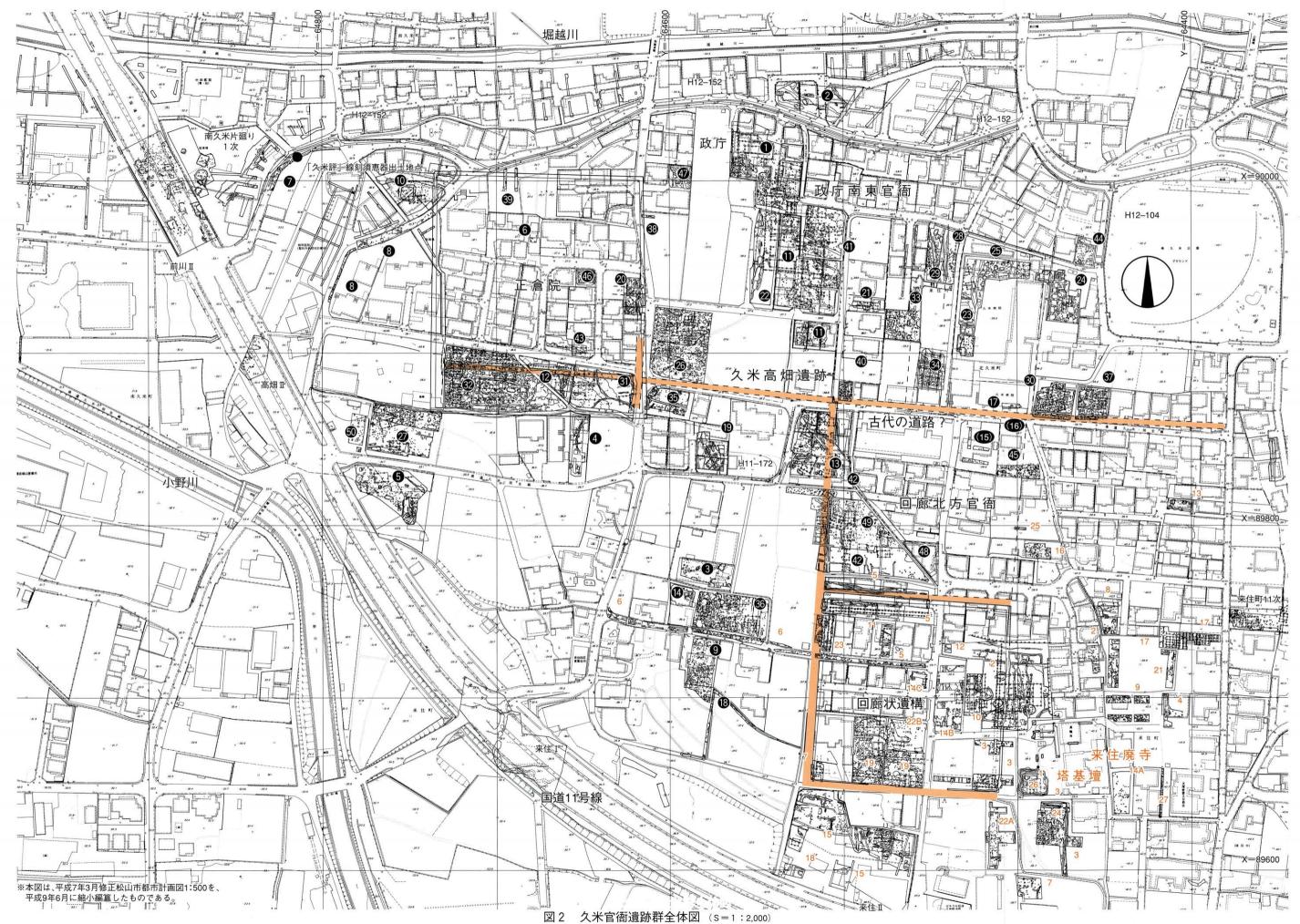
久米官衙遺跡群 ~回廊北方官衙における土地の利用形態について~

今年度の各調査の中で特筆すべきこととして、久米高畑49次調査において、回廊北方官衙の南西部に、収納のための空間が立地する事実を確認することができた点をあげることができる。当遺跡群には、正倉院が別に存在することから、この場所は回廊北方官衙に付随する倉庫を配置した区域であると想定している。将来的には、この収納施設を伴う方一町規模の官衙の全容が解明されることを期待したいが、すでに宅地化が著しく進行していることから、困難を伴うものと予想される。そこで、これまでに明らかにされた建物と区画施設との関係から、この区画地の利用形態について簡単に確認し、まとめとしたい(図1)。

これまでのところ、この倉庫を配置した空間の東限は、42次のSD006であると想定されている。区画地西限の溝(柴垣)からこの溝までの距離は、約30.5m(100尺)を測る。また、建物群の西柱筋から区画地西限までの距離はおよそ9m強(30尺)、想定される建物群南端から区画地南限までの距離もこれとほぼ同様である。さらに、中心的な建物である49次・掘立001の北柱筋から区画地南限までの距離は約45.6m(150尺)を測る。このように、区画地の中における建物や溝の配置が、尺度に基づいて計画的に行なわれた形跡を読み取ることが可能である。なお、()内に示した尺数のもとになる1尺あたりの尺長については、南に隣接する回廊状遺構の門の規模と構造等から0.304m程度と推定し、暫定的に使用している。(橋本)

[文献] 宮内慎一『来住廃寺』 -19次調査- 松山市文化財調査報告書56 松山市教育委員会・(財松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター 1996





Ⅲ 平成12年度松山市埋蔵文化財調査関係資料

松山市埋蔵文化財調査関係資料

例言

- 1. 本編は、松山市教育委員会文化教育課(現、文化財課)・(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文 化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査資料である。
- 2. 今回は平成12年度(申請番号 1 号~465号. 平成12年 4 月 1 日~平成13年 3 月31日迄)の資料を取り扱う。なお、平成11年度以前の資料については、『松山市文化財調査年報 I (昭和60~61年度)』、『同年報 II (昭和62~63年度)』、『同年報 II (昭和62~63年度)』、『同年報 II (平成元年~2年度)』、『同年報 IV (平成2年~3年度)』、『同年報 V (平成4年度)』、『同年報 V (平成5年度)』、『同年報 V (平成6年度)』、『同年報 II (平成6年度)』、『同年報 II (平成10年度)』、『同年報 II (平成10年度)』、『同年報12 (平成11年度)』を参照されたい。
- 3. 資料作成(一覧表及び付録図)は、栗田正芳、山邊進也、清家忍、山口由浩が行った。
- 4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認願いの申請番号に順するものである。また、本格調査については、平成12年度に行った調査を取り扱う。
- 5. 付録図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(三津浜・松山北部・郡中・松山南部)を使用した。
- 6. 一覧の略記について
 - ①面積:調査対象面積、小数点以下四捨五入。②標高:地表面、() は調査地内平均値。
 - ③調査目的:公=施主公共団体、私:施主一般。④調査方法:空白は未調査等。

表 1 平成12年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

		1					T	1
No	所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備 考
1	山越3丁目769-2・5・9	228	19.80	私	試掘			
2	船ヶ谷町48-1・3、49-1・3	524	10.22	私	試掘			
3	朝生田町2丁目210、211-3	580	19.00	私	試掘			
4	菅沢町乙296-2、甲580	1,500	(371.48)	公	試掘			
5	欠番							
6	久万ノ台1024-1・4	167		私	既済			H11-421にて試掘済
7	北梅本町甲3231-1	212		私	既済			H 6-142·143にて試掘済
8	今在家町237-2	833	30.30	私	試掘			
9	今在家町273-12	141		私	既済			H11-5にて試掘済
10	辻町59	228	13.80	私	試掘			
11	木屋町2丁目1-14	161	21.54	私	試掘			
12	来住町887-8	149		私	既済			本格調查済 久米高畑遺跡26次調査
13	南江戸 5 丁目559-6	110		私	既済			H11-21にて試掘済
14	高岡町697-1・6	279	7.70	私	試掘			
15	清水町1丁目7-5·4·13	269	25.40	私	試掘			
16	北久米町875-1	239	(30.85)	私	試掘			

No	所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
17	南江戸3丁目919-1	709		私	既済			H9-97にて試掘済
18	欠番							
19	祝谷2丁目132、136	478	38.80	私	試掘			
20	南江戸4丁目1115-1	431	11.70	私	試掘			
21	石風呂町455	250		私	既済			本格調査済 鶴ヶ峠遺跡
22	辻町97-2·5	93	15.45	私	試掘		-	PRO TOTAL PRO
23	北井門町416、417-1	1,430	(21.75)	私	試掘			
24	北久米町737-1・2	801	31.20	私	試掘	溝、柱穴	弥生土器、 土師器	本格調査要 盛土にて保存
25	樽味 4 丁目208地先	47	39.00	公	立会		Secretary and	
26	東垣生町891-8	166	4.30	私	試掘			
27	山越3丁目765-1、767	1,996	(19.77)	私	試掘			
28	祝谷5丁目5-24	292	42.90	私	試掘			
29	北久米町880-1	603	30.80	私	試掘	溝、柱穴	陶磁器	本格調査要 盛土にて保存
30	久米窪田町893	543	44.97	私	試掘			300
31	久米窪田町1125	638	43.31	私	試掘			
32	東石井町乙40-9	140	33.10	私	試掘			
33	朝生田町 2 丁目279	631	19.40	私	試掘			
34	安城寺町91-1	1,087	8.00	私	試掘			
35	中村1丁目55-4	285	29.20	私	試掘	竪穴住居址、溝	弥生土器	本格調査要
36	畑寺2丁目271-4、272-2、273-1	786	36.70	私	試掘			
37	平井町甲938-1	341	82.06	私	試掘			
38	平井町甲1346 外 7筆	1,573	(71.13)	私	試掘			
39	小坂5丁目300-1	604	24.20	私	試掘			
40	南江戸4丁目4	770	-	公				市教委にて意見書対応
41	今在家町285-6	244	31.40	私	試掘			
42	桑原5丁目679-3	331		私	既済			H11-281にて試掘済
43	水泥町1106、1105-2	247	62.40	私	試掘			
44	東垣生町925-7	149	4.40	私	試掘			
45	松末2丁目108	1,240	(28.25)	私	試掘			
46	鷹子町47-6	122	42.67	私	試掘			
47	鷹子町 1 -11	334		私	既済			H11-353にて試掘済
48	道後北代6-6、8-3	178	31.29	私	試掘			
49	祝谷2丁目252-2・3	213	39.43	私	試掘			
50	今在家町36-1 外 2筆	640	(32.15)	私	試掘			
51	平井町甲1583-2	148		私	既済			H11-12にて試掘済
52	南久米町697-4	18		私				市教委にて意見書対応
53	北斎院町1092-1 外	274	(7.45)	公	試掘			
54	小坂3丁目237-2・3・4・7	190	27.40	私	試掘			
55	小坂 3 丁目237-5・6・8	235		私	既済			H11-340にて試掘済
56	平井町甲1583-3	148		私	既済			H11-12にて試掘済
57	山西町880-2の一部	521		私	既済			本格調査済富前川三本柳遺跡
58	北梅本町甲3260	497	77.20	私	試掘			□ BI/II — 个例理助

No.	所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
59	西石井町77-7・8	284	21.10	私	試掘			
60	西石井町339-3	490	20.50	私	試掘			
61	祝谷2丁目243-1の一部・3	238	38.48	私	試掘	CONTRACTOR		
62	愛光町375-2	119	14.22	私	試掘	***************************************		:
63	南久米町661-7、668-6	84	40.62	私	試掘			
64	小坂 4 丁目416-5	223	26.54	私	試掘			
65	南久米町756-8	208		私	試掘			市教委にて試掘
66	朝美2丁目1242-3	358	15.09	私	試掘			
67	福音寺町407-6	126		私	既済			H10-461にて試掘済
68	福音寺町407-8	111		私	既済			H10-461にて試掘済
69	福音寺町423-10	121		私	既済			本格調査済 筋違N遺跡
70	福音寺町423-11	140		私	既済	MAN AND THE STATE OF THE STATE		本格調查済 筋違N遺跡
71	福音寺町423-12	120		私	既済			本格調査済 筋違N遺跡
72	福音寺町423-13	158		私	既済			本格調查済 筋違N遺跡
73	道後湯之町1622-1、1623	4,502	58.30	公	試掘			
74	平井町370	3,000	111.73	公	立会			
75	道後樋又1228-2	111	29.58	私	試掘			
76	清水町1丁目7-11	554	25.30	私	試掘	11		
77	樽味 4 丁目208— 2	159		私	既済			H11-310にて試掘済
78	平井町甲3157-183	244	48.70	私	試掘			
79	松末2丁目125-15	276		私	既済			H9-71にて試掘済
80	平井町甲59-2	354	83.59	私	試掘			
81	朝日ヶ丘2丁目1098-1・4・5	705	17.34	私	試掘			
82	鷹子町722-1	374		私	既済			H11-403にて試掘済
83	清水町2丁目17-20	142	23.29	私	試掘			
84	上野町甲808-21	271		私	既済			本格調查済 土壇原遺跡
85	今在家町273-13	130		私	既済			H11-5にて試掘済
86	内宮町 乙912-1・2、乙362-1・2 乙914-1・2、乙915	200	45.55	私	試掘			
87	水泥町781、787の一部	545	68.63	私	試掘			
88	枝松 6 丁目12-36	527	26.00	私	試掘			
89	桑原 6 丁目 6 -24	613	34.00	私	試掘			
90	南久米町485-7	124		私	既済			本格調查済 久米才歩行遺跡 4 次調查
91	清水町 3 丁目38-1	1,740	24.40	私	試掘			
92	平井町1455-1・3の各一部	209	66.40	私	試掘			
93	南江戸 4 丁目946-5	152	13.37	私	試掘			
94	南江戸4丁目9-20	634	12.60	私	試掘			
95	別府町301-5・6、307-8	233		私	既済			H11-154にて試掘済
96	平井町甲2240-3	128		私	既済			H 9-59にて試掘済
97	平井町甲3157-167	235		私	既済			H11-207にて試掘済
98	祝谷 4 丁目850	231		私	既済			H11-60にて試掘済
99	来住町795~789地先	133		公				
100	小坂 5 丁目366-11	195		私	既済			H10-389にて試掘済

No	所 在 地	面積(m³)	標高(m)	調査目的	調査方法		遺物	備	No.4
101	小坂4丁目408-5	264	24.85	私	試掘	01 2516	AL	J/m	.,
102	辻町34-1、35-1	216	13.91	私	試掘				
103	北斎院町1259-3、1260	173	7.65	私	試掘				
104	南久米町585-8~716	66	7.00	公公	立会			本格調査要。	
105	石風呂町226	182		私	既済	11074414		立会、工事実	施
106	朝日ヶ丘2丁目1098-1・4・5の一部	165		私	既済	- AAAA		鶴ヶ峠遺跡 H12-81に	て試掃洛
107	今在家町445-1	1,197	29,40	私	試掘			1112 0110	
108	北斎院町262-5	217	20.10	私	既済			H11-41213	て計堀洛
109	北斎院町262-6	121		私	既済			H11-412/3	
110	桑原 6 丁目515-2	116		私	既済			H11-388/3	
111	御幸1丁目404の一部	426	30.90	私	試掘			1111 30019	- C IPVJ/III () H
112	山越2丁目654-1・13	171	17.78	私	試掘				
113	桑原 5 丁目705-3 · 10 · 11	234	36.38	私	試掘				
114	祝谷 6 丁目1348地先水路	90	00.00	公公	B-41/III	777774 5 78 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		市教委にて意	目ま対応
115	朝生田町2丁目336-4	192	18.40	私	試掘			川状女にて思	
116	久米窪田町 1167-1、1169-1 1168-1、1142-1	2,803	10.40	私	既済			H 9 -34413	ア計場这
117	今在家町273-3	195		私	既済			H11-5 K	
118	山越2丁目39-3	172	16,93	私	試掘	TO COLUMN TO THE TAXABLE PARTY OF TAXABLE PARTY OF THE TAXABLE PARTY OF TA		1111 3 1	
119	南久米町410-2	198	10.55	私	既済	100		H5-13612	ア計幅文
120	今在家町223-3	613	30.38	私	試掘		****	110 1001	(月
121	朝生田町3丁目375 外2筆	633	17.94	私	試掘				
122	水泥町1109、1110-2・3	538	62.68	私	試掘				
123	北井門町97-8	450	24.32	私	試掘				
124	南久米町583-5、585-4・14	474	35.20	私	試掘				
125	北久米町1153	152	33.20	私	H-CD/III			申請取り下り	¥
126	平井町甲969-1	206	81.79	私	試掘		117/1///	THE HAX 9 TV	,
127	桑原 2 丁目845— 3 · 4	246	36.86	私	試掘				
128	北久米町741-2	483	30,00	私	既済			III1 E1/2*	アラト・打団ン女
129	小坂 5 丁目366-7	155		私	既済			H11-51/2	
130	福音寺町411-13	128		私	既済		1101	本格調査済	(武畑)
131	福音寺町411-14	124		私				筋違L遺跡 本格調査済	
132	福音寺町411-22	104		私	既済			筋違L遺跡 本格調査済	
133	福音寺町411-23	138		私	既済			筋違L遺跡 本格調査済	
134	福音寺町411-25	129		私	既済			筋違 L 遺跡 本格調査済	
135	福音寺町411-31			私私				筋違L遺跡 本格調査済	
136	福音寺町411-35	111			既済			筋違し遺跡 本格調査済	
137	南久米町453-27・34	106		私	既済		-	筋違し遺跡	~====================================
137	南久米町453-28			私	既済			H11-11127	
139	南久米町453-28	147		私	既済			H11-11127	
		157		私	既済			H11-11127	
140	南久米町453-30	123	www	私工	既済	1		H11-111C7	
141	南久米町453-32	132		私	既済			H11-11127	
142	別府町301-4	134		私	既済			H11-154K	て試掘済

Nα	所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
143	北斎院町1259-3・4	173		私	既済			H12-103にて試掘済
144	清水町1丁目7-11	561		私	既済			H12-76にて試掘済
145	北井門町396—11	164		私	既済			H9-384にて試掘済
146	南江戸5丁目742-12・13・42・18・23	464	13.70	私	試掘			
147	桑原 6 丁目727 -12	153		私	既済			H11-34にて試掘済
148	平井町甲1564-3	434	72.37	私	試掘			
149	山越1丁目304 -13	139	18.40	私	試掘			
150	東石井町乙41-35、乙64-2の内	463	25.00	私	試掘			
151	朝美1丁目1366-5	475		私	既済			H8-101にて試掘済
152	南久米町外1か町	675	(34.15)	公	立会	竪穴住居址、溝	弥生土器、瓦	本格調査要 工事実施
153	衣山5丁目31-80	159	31.63	私	試掘			工事关旭
154	来住町608 地先 久米窪田町918	17	(42.30)	公	立会			
155	高岡町33	12		公	踏査			
156	別府町329-1・2・3	768	5,48	私	試掘			
157	平井町甲1340、甲1342	141	71.65	私	試掘			
158	鷹子町122-1·3	847	45.29	私	試掘			-
159	朝日ヶ丘2丁目1098-11・12・13	162		私	既済			H12-81にて試掘済
160	谷町甲273-8	142		私	既済			H11-365にて試掘済
161	道後今市1051-2・5	385	31.50	私	試掘			
162	安城寺町200、203	274	8.35	私	試掘			
163	平井町甲847 - 1	1,174	70.80	私	試掘			
164	西石井町240-1・4	964	20.19	私	試掘			H 1-18にて試掘済、本格調査要 H12-290で再申請
165	朝生田町2丁目279、280	1,691		私	既済			H11-202 H12-33 にて試掘済
166	下伊台町1438-1	715	145.52	公	試掘			1112 00
167	祝谷5丁目684-1・3	272	44.50	私	試掘			
168	小坂3丁目437-1	9		私	既済			本格調査済 釜ノ口遺跡 9 次調査
169	南江戸 5 丁目1417	544	16.80	私	試掘			The Property of the Park
170	北斎院町249-2	149		私	既済			H11-247 H11-248にて試掘済
171	道後一万783-7	249	33.45	私	試掘	1 2 7 2 7 2		
172	石風呂町417-1	336		私	既済			本格調査済 鶴ヶ峠遺跡
173	山西町539-3	1,274	(13.00)	私	試掘			
174	桑原1丁目779-2	241	35.37	私	試掘	土坑	弥生土器	本格調査要
175	久万ノ台729、730-1	218	15.00	私	試掘	100111		
176	中村2丁目108-1	101	28.63	私	試掘			
177	北斎院町967-4	114	8.36	私	試掘			
178	朝美2丁目1242-1、1243-1	194	15.29	私	試掘			
179	谷町甲21-6	99	15.91	私	試掘			
180	東本1丁目89-5	120		私	既済			H11-124 にて試掘済
181	平井叮甲1054-1	500	73.20	私	試掘			
182	東野 4 丁目573-1・2・3・4	455	58.95	私	試掘			
183	松末2丁目79-1・7	663	26.90	私	試掘			
184	森松町854 - 5	216	34.19	私	試掘			

Do 所 在 財 海東山 新東山									No.6
186 中村2丁日2-16	No	所 在 地	面積(m³)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
157 小坂 丁目306 - 9 156 45 156 45 157 1	185	西石井町29-1	298	21.40	私	試掘			
188 選修一万75-2 264 31.60 秋 試欄 11.60 11	186	中村2丁目2-16	197	26.94	私	試掘	包含層	弥生土器	
189 平井町 100	187	小坂 5 丁目366-9	156		私	既済			H10-389にて試掘済
190	188	道後一万775-2	264	31.60	私	試掘			
191 小坂 4 丁目 251 - 1 の一部	189	平井町110	2,496	78.41	公	試掘			
192	190	水泥町1095-1	171	63.48	私	試掘			
193 合町甲273-6	191	小坂 4 丁目261-1 の一部	161	26.69	私	試掘			
194 次山 3丁目 399-1	192	小坂 4 丁目395- 1 の一部	536	25.10	私	試掘			
195 山田町998-3 193 63.20 私 就担 196 太山寺町1798 389 22.87 私 就担 197 西石井町133-1、154-4 572 (20.39) 私 就担 198 依核 6 T B 6 - 7 134 26.54 私 就超 198 依核 6 T B 6 - 7 134 26.54 私 就超 199 極原 2 T B 甲300-1 537 20.54 私 就超 190 東野 5 T B 3.150 (55.95) 公 就超 190 平井町10370-1 568 62.00 私 就超 190	193	谷町甲273-6	140		私	既済			H11-365にて試掘済
196 太山寺町1798 389 22.87 私 就提 197 西石井町153-1、154-4 572 (20.39) 私 就提 198 枝松6 丁目 6-7 134 26.54 私 就提 198 枝松6 丁目 6-7 134 26.54 私 就提 199 数原 2 丁目甲300-1 537 20.54 私 就提 199 数原 2 丁目甲300-1 537 20.54 私 就提 190 東野 5 丁目 3.150 (55.95) 公 武規 190 200 東野 5 丁目 3.150 (55.95) 公 武規 190 200 東野 5 丁目 3.150 (55.95) 公 武規 190 200 東野 1 丁目 230-2 2.872 75.95 公 武規 190 200 秦原 6 丁目 5 -10 376 34.60 私 武規 190 200 秦原 6 丁目 5 -10 376 34.60 私 武規 190 200 森井町 816 (23.00) 公 武規 190 200 元井町 816 (23.00) 公 武規 190 200 元井町 476 (21.45) 公 試規 190 200 元井町 476 (21.45) 公 武規 190 200 元井町 476 (21.42) 私 武規 190 200 元井町 476 200 元井町 47	194	衣山3丁目399-1	104	21.52	私	試掘			
197 西石井町153-1、154-4	195	山田町998-3	193	63.20	私	試掘			
198 枝松 6 丁目 6 − 7 134 26.54 私 試掘 199 飯原 2 丁目甲300− 1 537 20.54 私 試掘 199 飯原 2 丁目甲300− 1 537 20.54 私 試掘 199 飯原 2 丁目甲300− 1 537 20.54 私 試掘 190 乗野 5 丁目 3.150 (55.95) 公 試掘 190 乗野 5 丁目 3.150 (55.95) 公 試掘 190 乗押 192370− 1 568 62.00 私 試掘 190 乗押 192370− 1 568 62.00 公 試掘 190 乗押 192370− 1 568 年 1.822 (14.23) 私 試掘 190 中	196	太山寺町1798	389	22.87	私	試掘			
199 松原 2 丁目甲300-1 537 20.54 秋 秋瀬 1200 東野 5 丁目 3.150 (55.95) 公 秋瀬 1200 東野 5 丁目 3.150 (55.95) 公 秋瀬 1200 東野 1 丁目 1203-2 2.872 75.95 公 秋瀬 1203-2 2.87	197	西石井町153-1、154-4	572	(20.39)	私	試掘			
200 東野5丁目 3,150 (55.95) 公 試網 201 平井町2370-1 568 62.00 私 試網 202 平井町甲1203-2 2,872 75.95 公 試網 203 秦原6丁目5一10 376 34.60 私 試網 34.60 私 試網 204 博味4丁目213-12 117 私 阪済 英済 205 北井町町 206 西石井町 476 (21.45) 公 試網 207 久万ノ台743 外8 筆 1,822 (14.23) 私 試網 208 南江月1丁目239-4・6 163 24.40 私 武網 210 辻町250-3 142 私 販済 H11-333:で試網済 H11-333:で試網済 211 辻町250-4 142 私 販済 H11-333:で試網済 212 辻町250-5 145 私 販済 H11-333:で試網済 H11-333:で試網済 213 辻町250-6 149 私 販済 H11-333:で試網済 H11-33:で試網済 H11-33:で試網済 H11-33:で試網済 H11-33:で試網済 H11-33:で試網済 H11-248:で試網済 H11-248:で試網済 H11-248:で試網済 H11-248:でご試網済 H11-248:ごご試網済 H11-248:ごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごごご	198	枝松6丁目6-7	134	26.54	私	試掘			
201 平井町平1207-1 568 62.00 私 談欄 202 平井町甲1203-2 2.872 75.95 公 談欄 203 桑原 6 丁目 5 -10 376 34.60 私 談欄 204 横昧 4 丁目213-12 117 私 既済 横昧 4 丁目213-12 117 私 既済 横昧 2 丁目213-12 117 私 既済 世 1 丁目213-13 1.822 14.23 私 武欄 208 前江戸1 丁目535-3 191 私 既済 日11-69にて試想済 日11-69にて試想済 日1230-3 142 私 既済 日11-333にて試援済 日1250-6 149 私 既済 日11-33にて試援済 日11-33にて試援済 日11-33にて試援済 日1250-7 148 私 既済 日11-33にて試援済 日11-33にて試援済 日12-30-7 148 私 既済 日11-33にて試援済 日12-30-7	199	姫原2丁目甲300-1	537	20.54	私	試掘			
202 平井町甲1203-2 2,872 75.95 公 試欄 203 秦原6 丁目 5 -10 376 34.60 私 試欄 本格調金湾 4年四区地連勝 5 次剛立 49年 4 丁目 213-12 117 私 既済 本格調金湾 4年四区地連勝 5 次剛立 476 (21.45) 公 試欄 206 西井町 476 (21.45) 公 試欄 207 久万ノ台743 外 8 筆 1,822 (14.23) 私 既済 日11-69にて試拠済 208 南江戸1 丁目535-3 191 私 既済 日11-69にて試拠済 209 小坂 5 丁目239-4 · 6 163 24.40 私 武網 210 辻町250-3 142 私 既済 日11-333にて試櫃済 211 辻町250-4 142 私 既済 日11-333にて試櫃済 日11-333にて試櫃済 211 辻町250-5 145 私 既済 日11-333にて試櫃済 日11-333にて試櫃済 214 辻町250-6 149 私 既済 日11-333にて試櫃済 日11-333にて試櫃済 215 辻町250-8 144 私 既済 日11-333にて試櫃済 日11-333にて試櫃済 217 投合 4 丁目853-1 外 6 筆 998 (37.90) 私 試櫃 218 投合 4 丁目945-1 外 1,949 (38.53) 私 試櫃 219 平井町甲3157-67 237 48.20 私 既済 日11-281にて試櫃済 211 北高院町262-8 105 私 既済 日11-247。に試櫃済 211-247。に試櫃済 222 北高院町249-4 141 私 既済 日11-247。に試櫃済 224 北高院町249-7 165 私 既済 日11-247。に試櫃済 日11-247。に試価済 日11-247	200	東野5丁目	3,150	(55.95)	公	試掘			
203 秦原 6 T H 5 - 10 376 34.60 私 試欄 本格調金済 本格調金子 本格調金済 本格調金済 本格調金済 本格調金済 本格調金済 本格調金済 本格調金済 本格調金子 本格書の金子 本格子 本格書の金子 本格書の金子 本格子 本格子 本格書の金子 本格書の金子 本格書の金子 本格子 本格子 本格子 本格子 本格子 本格子	201	平井町2370-1	568	62.00	私	試掘			
204 柳味 4 丁目213-12	202	平井町甲1203-2	2,872	75.95	公	試掘			
205 北井門町	203	桑原 6 丁目 5 一10	376	34.60	私	試掘			N/4.1
205 北井門町 816 (23.00) 公 試掘 206 西石井町 476 (21.45) 公 試掘 207 久万ノ台743 外 8 筆 1,822 (14.23) 私 試掘 208 南江戸1 丁目535-3 191 私 既済 H11-69にて試掘済 209 小坂5 丁目239-4・6 163 24.40 私 武規 210 辻町250-3 142 私 既済 H11-333にて試掘済 211 辻町250-4 142 私 既済 H11-333にて試掘済 212 辻町250-5 145 私 既済 H11-333にて試掘済 213 辻町250-6 149 私 既済 H11-333にて試掘済 214 辻町250-7 148 私 既済 H11-333にて試掘済 215 辻町250-8 144 私 既済 H11-333にて試掘済 216 久万ノ台851-1 296 (16.62) 私 試掘 217 祝谷4丁目853-1 外6筆 998 (37.90) 私 試掘 218 祝谷4 丁目945-1 外 1,949 (38.53) 私 試掘 219	204	樽味 4 丁目213-12	117		私	既済			
207 久万ノ台743 外8筆	205	北井門町	816	(23.00)	公	試掘			得外四人地通過 3 外间直
Page	206	西石井町	476	(21.45)	公	試掘	7,44.1		
209 小坂5丁目239-4・6 163 24.40 私 試掘	207	久万ノ台743 外8筆	1,822	(14.23)	私	試掘			
注町250-3 142 私 既済 田11-333にて試掘済 日11-333にて試掘済 日11-333にで試掘済 日1250-8 日44 私 既済 日11-333にで試掘済 日11-333にで試掘済 日1250-8 日44 私 既済 日11-333にで試掘済 日1250-8 日44 私 既済 日11-333にで試掘済 日1250-8 日44 日450-8	208	南江戸1丁目535-3	191		私	既済			H11-69にて試掘済
注明250-4 142 私 既済 田11-333にて試掘済 日11-247にて試掘済 日11-247にて試掘済 日11-247にて試掘済 日11-247にて試掘済 日11-247にで式掘済 日11-247にで式掘済 日11-248にで式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式掘済 日11-248にて式	209	小坂5丁目239-4·6	163	24.40	私	試掘			
212 辻町250-5 145 私 既済 H11-333にて試掘済 213 辻町250-6 149 私 既済 H11-333にて試掘済 214 辻町250-7 148 私 既済 H11-333にて試掘済 215 辻町250-8 144 私 既済 H11-333にて試掘済 216 久万ノ台851-1 296 (16.62) 私 試掘 217 祝谷4丁目853-1外6筆 998 (37.90) 私 試掘 218 祝谷4丁目945-1外 1,949 (38.53) 私 試掘 219 平井町甲3157-67 237 48.20 私 試掘 220 桑原5丁目679-4・5 443 私 既済 H11-281にて試掘済 221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にて試掘済 222 北斎院町637 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 225 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 226 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 227 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 228 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 229 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 220 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 221 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 222 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 223 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 225 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 226 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 227 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 228 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 229 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 220 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 221 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 222 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 223 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 225 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 226 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 227 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 228 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 229 北赤房町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 230 北赤田250-1 日本日250-1 日本日250-1	210	辻町250-3	142		私	既済			H11-333にて試掘済
213 辻町250-6 149 私 既済 田11-333にて試掘済 日11-333にて試掘済 日1250-7 148 私 既済 田11-333にて試掘済 日11-333にて試掘済 日11-343にて試掘済 日11-247にて試掘済 日11-248にて試掘済 日11-248にて試掘済 日11-247にて試掘済 日11-248にて試掘済 日11-248にて試	211	辻町250-4	142		私	既済	.,,,,,		H11-333にて試掘済
214 辻町250-7 148 私 既済 H11-333にて試掘済 H11-333にて試掘済 215 辻町250-8 144 私 既済 H11-333にて試掘済 H11-333にて試掘済 216 久万ノ台851-1 296 (16.62) 私 試掘 217 祝谷4丁目853-1外6筆 998 (37.90) 私 試掘 218 祝谷4丁目945-1外 1,949 (38.53) 私 試掘 219 平井町甲3157-67 237 48.20 私 試掘 220 桑原5丁目679-4・5 443 私 既済 H11-281にて試掘済 221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にで試掘済 222 北斎院町262-8 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247にて試掘済 H11-248にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-248にて試掘済 H11-248にて試	212	辻町250-5	145		私	既済	371102		H11-333にて試掘済
215 辻町250-8	213	辻町250-6	149		私	既済			H11-333にて試掘済
216 久万ノ台851-1 296 (16.62) 私 試掘 217 祝谷4丁目853-1 外6筆 998 (37.90) 私 試掘 218 祝谷4丁目945-1 外 1,949 (38.53) 私 試掘 219 平井町甲3157-67 237 48.20 私 試掘 220 桑原5丁目679-4・5 443 私 既済 H11-281にて試掘済 221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にて試掘済 222 北斎院町637 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247 H11-248にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247 H11-248にて試掘済	214	辻町250-7	148		私	既済	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		H11-333にて試掘済
217 祝谷4丁目853-1外6筆 998 (37.90) 私 試掘 218 祝谷4丁目945-1外 1,949 (38.53) 私 試掘 219 平井町甲3157-67 237 48.20 私 試掘 220 桑原5丁目679-4・5 443 私 既済 H11-281にて試掘済 221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にて試掘済 222 北斎院町637 231 8.35 私 武掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-248にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-248にて試掘済	215	辻町250-8	144		私	既済			H11-333にて試掘済
218 祝谷4丁目945-1外 1,949 (38.53) 私 試掘 219 平井町甲3157-67 237 48.20 私 試掘 220 桑原5丁目679-4・5 443 私 既済 H11-281にて試掘済 221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にて試掘済 222 北斎院町637 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247 H11-248にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247 H11-248にて試掘済	216	久万ノ台851-1	296	(16.62)	私	試掘			
219 平井町甲3157-67 237 48.20 私 試掘 220 桑原5丁目679-4・5 443 私 既済 H11-281にて試掘済 221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にて試掘済 222 北斎院町637 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-248にて試掘済	217	祝谷4丁目853-1外6筆	998	(37.90)	私	試掘			
220 桑原5丁目679-4・5 443 私 既済 H11-281にて試掘済 221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にて試掘済 222 北斎院町637 231 8.35 私 武掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247にて試掘済	218	祝谷 4 丁目945-1 外	1,949	(38.53)	私	試掘	***		
221 北斎院町262-8 105 私 既済 H11-412にて試掘済 222 北斎院町637 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248 H11-248 H11-248 H11-248 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248	219	平井町甲3157-67	237	48.20	私	試掘			
222 北斎院町637 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248 H11-248 H11-248 H11-248 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248	220	桑原 5 丁目679-4・5	443		私	既済			H11-281にて試掘済
222 北斎院町637 231 8.35 私 試掘 223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247 H11-248 H11-247 H11-248 H11-248 H11-248 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248	221	北斎院町262-8	105		私	既済			
223 北斎院町249-4 141 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248 H11-248 H11-248 H11-248 224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248	222	北斎院町637	231	8.35			Visional and the second		7 17 0 1
224 北斎院町249-7 165 私 既済 H11-247 H11-248 H11-248	223	北斎院町249-4	141		-		***************************************		H11-247 H11-247にて試掘済
005 M + 0 T H 100 10F F 0	224	北斎院町249-7	165				1.40/1.1		H11-247 H11-247にて試掘済
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	225	松末2丁目108、107-7・8							
226 平井町甲2457-1 994 (64.84) 私 試掘	226			(64.84)					

N	er de la	75.58 / 2 \	- Min 古 / \	30 * 0 #	399-40-2-2-4	与	\##. 4-6m	No./
No	所 在 地	面積(㎡)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
227	平井町甲1980	461	65.48	私	試掘			
228	梅津寺町乙56 外	1,420	(16.64)	公	試掘		7	
229	久万ノ台乙350-2、351-1	324	(20.04)	私	試掘			
230	桑原 4 丁目438-5~364-2地先、398-1	1,319		公				
231	鷹子町658-5・7	199	47.54	私	試掘			
232	南土居町414-1	200		私	既済	***************************************		H 9 -308にて試掘済
233	平井町甲2233-1	451	58.50	私	試掘			
234	谷町甲272-1	293	17.80	私	試掘		and the same of th	
235	道後喜多町1018-6地先	220	(34.45)	公	試掘			
236	北土居町646-1	331	23.70	私	試掘			
237	久万ノ台715	473		私				申請取り下げ
238	辻町550-8	64	14.62	私	試掘			
239	北斎院町259-2	1,295	(8.88)	私	試掘			
240	道後北代1300-1	285	33.60	私	試掘			
241	中村2丁目115-8	229	27.45	私	試掘	包含層	弥生土器	本格調査要 盛土にて保存
242	北斎院町343-1・3	226	(10.61)	私	試掘			
243	桑原 6 丁目708-1	347	35.31	私	試掘			
244	平井町甲1461-4・5	294	68.30	私	試掘			
245	水泥町1229-3	496	59.70	私	試掘		and the state of t	
246	南土居町395-3	103	33.90	私	試掘			
247	山西町450	49		私	踏査			
248	久万ノ台乙170、174-4	870	(26.21)	私	試掘			
249	樽味 4 丁目215-5	65	(39.67)	私	試掘	柱穴	土師器	本格調查要違法建築
250	安城寺町91-5	867		私	既済			H12-34にて試掘済
251	南久米町583-14、585-18	264		私	既済			H12-124にて試掘済
252	清水町1丁目8-51	61	24.40	私	試掘	-		
253	道後公園市道道後23号線	240	(39.85)	公	立会			
254	西石井町31-1	760	21.66	私	試掘			
255	水泥町1153、1154、1155-1 · 2	866	63.80	私	試掘			MAIN
256	南土居町399	1,266	33.40	私	試掘			
257	東本1丁目117-3	100	34.80	私	試掘	柱穴、流路	土師器、 須恵器	本格調査要 盛土にて保存
258	道後緑台甲348-6	294		私			24/6/BIT	市教委にて意見書対応
259	今在家町 外 2か町	173	(26.75)	公	試掘			
260	畑寺2丁目283 外	275	(36.23)	公	試掘			
261	西長戸町598-1	296	13.22	私	試掘			
262	太山寺町2259地先~772地先	2,500		公	踏査			
263	鉄砲町 7 -18	226	25.17	私	試掘			
364	古三津 3 丁目322-10、323-7	132		私	既済			H10-217にて試掘済
265	今在家町429-6	177		私	既済			H11-169にて試掘済
266	来住町1144-1	754	(35.04)	私	試掘	柱穴	土師器	本格調査要
267	天山2丁目51-4	211	20.27	私	試掘			久米高畑遺跡50次
268	平井町甲1997-1	500	(64.07)	私	試掘			

			Т	<u></u>		T		No. 8
No	所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
269	西野町甲543 十歩池	17,000		公	踏査			市教委にて意見書対応
270	北梅本町2765	90	(108.60)	公	立会			市教委にて意見書対応
271	若草町66-2	499		私				
272	樽味 4 丁目214-6	165		私	既済			本格調查済
273	堀江町甲2064	545	52.20	公	立会			
274	桑原1丁目1003-1	409	37.50	私	試掘			
275	小坂5丁目312-1	247	24.38	私	試掘			
276	道後喜多町1335-1、1336-4	227	34.90	私	試掘			
277	桑原 6 丁目	39	33.10	公	立会			本格調査済 桑原田中遺跡 2 次調査
278	立花6丁目	84	20.50	公	立会			
279	小坂 5 丁目306-2	122	25.10	私	試掘			
280	山西町793-1·4	1,437	3.20	私	試掘			
281	衣山5丁目1480-2 外9筆	13,901		私	踏査			
282	常光寺町395-2	109	57.90	私	試掘			
283	星岡町122-7	665	27.80	私	試掘	THE PARTY OF THE P		VA-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-
284	福音寺町710-5、711-11・12	152	23.49	私	試掘			
285	東石井町乙41-8	198	25.00	私	試掘			
286	太山寺町550	645	3.28	私	試掘			
287	道後北代1297-4・5	108	32.27	私	試掘			
288	鷹子町96-2	423	(43.84)	私	試掘			
289	山越3丁目752-3・9	139	19.12	私	試掘			
290	西石井町240-1の一部	296		私	既済			H12-164の一部の再申請 西石井荒神堂遺跡2次調査
291	平井町2673-3	202	66.54	私	試掘			四個月月6中至遺跡450時日
292	若草町 2 - 2 ・ 3	253	21.30	私	試掘			
293	中村2丁目3-26	588	26.70	私	試掘			
294	松末2丁目13-10・12	116	28.00	私	試掘			
295	南久米町486-1	711	34.10	私	試掘	竪穴住居址、溝	須恵器、土魳器	本格調査要
296	石風呂町114	163		私	既済			本格調査済鶴ヶ峠遺跡
297	山越1丁目270-8	142	17.56	私	試掘			
298	祝谷東町441-20	143	88.30	私	試掘			
299	平井町甲1395-4	222	66.50	私	試掘			
300	鷹子町147-1の一部	925	46.28	私	試掘			
301	立花 6 丁目393-10	127	21.95	私	試掘			
302	平井町2273-1の一部	18		私	既済			本格調査済
303	東石井町418-1	682	22.10	私	試掘			下苅屋遺跡 4 次調査
304	平井町甲1564-7	215		私	既済			
305	久米窪田町785-4	423		私	既済			H 2 -93にて試掘済
306	久米窪田町785-1、784-1	2,063		私	既済			H 2 -93にて試掘済
307	水泥町1050	366	64.20	私	試掘			2 001- (
308	道後北代1295-2	694	32.50	私	試掘		-	
309	松末2丁目	387	(27.40)	公	立会		****	
310	水泥町1035、1036	399	65.50	私	試掘			,

No		面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	No.9 備 考
311	東石井町531-1	592	22.30	私	試掘			
312	恵原町573、574-3	989	55.93	私	試掘			AMA
313	祝谷4丁目842、843、846	316	42.00	私	試掘			
314	水泥町579-3・5	491	58.04	私	試掘			
315	安城寺町716地先	4		公				
316	古川北2丁目292-2 外 東石井町527-1 外	9,280	(20.79)	公	試掘	柱穴、土坑	弥生土器	本格調査要
317	西野町乙11-1~乙110-1	30,530		公				
318	北井門町262~262-1 地先	35	23.45	公	立会			1
319	久米窪田町 1164— 1 、1165— 1	2,373	42.65	私	試掘			
320	天山1丁目239-10	149	21.20	私	試掘			
321	権現町甲439-4	397	26.96	私	試掘			
322		237		私	既済			H3-41にて試掘済
323	高砂町2丁目4-2	134	22.73	私	試掘			
324	道後今市1038-3	152	33.00	私	試掘			
325	南久米町753、763地先	370		公	立会	溝・柱穴	弥生土器、須恵器	本格調査要 工事実施
326	祝谷6丁目1078-5・9、1079-2	141		私	既済			H11-397にて試掘済
327	南久米町444-1地先 外	669		公				
328	樽味4丁目200-11	134		私	既済			H11-179にて試掘済
329	北斎院町979-1	692	8.76	私	試掘		1	
330	北斎院町969	601	7.70	私	試掘			
331	辻町49-3	88	14.30	私	試掘			
332	谷町甲254-8	218		私	既済			H11-197にて試掘済
333	樽味 4 丁目218-8	114		私	既済			本格調查済
334	平井町1051-1・3	1,560	72.20	私	試掘			NAME OF THE PARTY
335	平井町甲1189-7	75	75.45	私	試掘			
336	祝谷6丁目1078-10	118	****	私	既済			H11-397 にて試掘済
337	桑原 4 丁目11-6	198	33.74	私	試掘			
338	樽味 4 丁目213-9	115		私	既済			本格調查済
339	松末2丁目123-16	139	25.20	私	試掘			10 17 1000 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0
340	三町1丁目392地先 桑原7丁目8地先	38	(32.11)	公	立会			
341	今在家町273-7・8	242		私	既済			H12-8にて試掘済
342	吉藤1丁目2	700		公				
343	南江戸5丁目1425-2	390	13.50	私	試掘			
344	南江戸5丁目1425-6、1426-2	178	13.09	私	試掘			
345	山越2丁目甲23-9	138	17.68	私	試掘			
346	小坂5丁目19-1	274	25.05	私	試掘	溝	木杭	本格調査要 盛土にて保存
347	福音寺町411-29・30	219		私	既済			本格調査済 筋違し遺跡
348	南江戸3丁目822-1・4・5	1,759	13.12	私	試掘			
349	北井門町424-1	278	22.90	私	試掘			
350	水泥町1010-2	321	64.23	私	試掘			
351	高岡町809-2	99	5.93	私	試掘		- AA-AND (1 = 2)	
352	西石井町29-13	100		私	既済			H12-185にて試掘済

				-				110.10
No	所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
353	太山寺町甲464-4	338	3.72	私	試掘			
354	祝谷東町乙812-4 外 6筆	4,757		私	踏査			
355	来住町887-10	140		私	既済			本格調查済 久米高畑遺跡26次調查
356	松末2丁目125-14	250		私	既済			H12-19にて試掘済
357	北斎院町413~422-12地先	187	(8.33)	公	立会			
258	北斎院町489~490 地先	108	8.22	公	立会			
359	北斎院町1299-2~905-26地先	36	(7.53)	公	立会			
360	天山1丁目219-2	104	20.20	私	試掘			
361	衣山2丁目497、498-1、500-1	861	(27.67)	私	試掘	柱穴、土坑	須恵器	本格調査要 申請取り下げ
362	鷹子町185-5	165		私	既済			H 3 -91にて試掘済
363	南江戸 5 丁目742-27・29	169	13.40	私	試掘		44	
364	御幸1丁目510の一部	960	34.90	私	試掘			
365	桑原5丁目668-1・3	1,481	34.80	公	試掘	溝、柱穴	弥生土器、須恵器	本格調査要
366	朝日ヶ丘2丁目1098-1・4・5	116		私	既済			H12-81にて試掘済
367	立花6丁目341-21	98	20.54	私	試掘			
368	森松町857	328	33.73	私	試掘			
369	平井町甲1583-5	131		私	既済			H11-12にて試掘済
370	祝谷東町603-6	232		私	既済			H 3 -41にて試掘済
371	若草町 1 地先	378	Nagarati di	公			WEAL DA	
372	星岡町560-22	191	25.40	私	試掘			
373	北斎院町974-1	395	8.17	私	試掘			
374	平井町2390-6	111		私	既済			本格調查済 下苅屋遺跡 1 次調査
375	北斎院町490-2·4	745	8.00	私	試掘			179723239 2769322
376	南土居町99-2・14・15	660	40.10	私	試掘			
377	来住町935	744	77211.7	私	既済			S63-95にて試掘済
378	衣山5丁目42の一部	150	(39.59)	私	試掘			
379	山西町453-2	1,397	(14.09)	私	試掘			
380	枝松5丁目77-17・18	195	28.43	私	試掘			
381	南久米町422の一部	660	(35.16)	私	試掘	土杭、柱穴	須恵器、土師器	本格調査要
382	祝谷5丁目769-1	166	48.60	私	試掘			
383	来住町230の一部、237-1、240-1	1,431	(40.92)	私	試掘	柱穴、溝	須恵器、土師器	本格調査要
384	姫原1丁目172−1、171−1	323	24.40	私	試掘			
385	北久米町754	1,222		私	既済			本格調査要、市教委にて意見書対応 H 8 - 158の再申請
386	小坂2丁目204-3・4	169	(29.74)	私	試掘		弥生土器	本格調査要 盛土にて保存
387	小坂 2 丁目204-3·4	117	(29.76)	私	試掘	溝、柱穴	弥生土器	本格調査要 盛土にて保存
388	平井町甲2169-29	302	59.90	私	試掘			amounts & MVIII
389	西石井 5 丁目339-1 · 8	1,325	20.10	私	試掘			
390	山越1丁目287-1	926	19.10	私	試掘			
391	松末2丁目79-4·5·6	953		私	既済			S63-8にて試掘済
392	立花 6 丁目	286	20.30	公	立会			
393	別府町329-5·12	165	***************************************	私	既済			H12-156にて試掘済
394	別府町329-10	178		私	既済			H12-156にて試掘済

								No.11
No	所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
395	南江戸5丁目1437-7・9、	130		私	既済			H 5-149にて試掘済
396	鷹子町 外 1か町	35	(42.55)	公	立会			
397	樽味2丁目80-1·2、81-1	828	41.70	私	試掘	土坑、溝	須恵器、土師器	本格調査要 盛土にて保存
398	道後緑台196-6	71	36.17	私	試掘	包含層	弥生土器	本格調査要
399	東方町甲1291-3	410	55.33	私	試掘			
400	北梅本町3041地先 外 1か町	3,740	(138.47)	公	試掘			
401	平井町3157-228	245	50.10	私	試掘			
402	道後北代164-6	121	33.99	私	試掘			
403	小坂5丁目13-5	199	25.30	私	試掘			
404	南土居町396-1	748	34.70	私	試掘			
405	上野町甲808-12	192		私	既済			本格調査済 土壇原遺跡
406	平井町甲2399	731	60.60	私	試掘	柱穴	須恵器、土師器	本格調査要 盛土にて保存
407	桑原5丁目673-7 外	52	34.54	公	試掘			
408	太山寺町2101-2~1998地先	240		公				
409	平井町	3,530		公	踏査			
410	北斎院町422-10	164		私	既済			H 5 −158にて試掘済
411	福音寺町406-12	198		私	既済			本格調査済 筋違K遺跡
412	祝谷2丁目乙633-22・28	175		私	既済			H 8 - 283にて試掘済
413	平井町甲1345-9	123		私	既済			H12-38にて試掘済
414	東野 4 丁目甲573-3 · 6	161		私	既済			H12-182にて試掘済
415	姫原1丁目219の一部	500	(25.50)	私	試掘	包含層	弥生土器、土師器	本格調査要
416	中村2丁目2-6~115-8	165		公				
417	桑原 6 丁目515-3	149		私	既済			H11-388にて試掘済
418	北梅本町甲3271-17	229	78.04	私	試掘			
419	枝松 4 丁目203-2	143		私	既済			H11-314にて試掘済
420	北斎院町285-2地先	284		公				
421	船ヶ谷町188-1地先	127		公				
422	桑原1丁目1001-1~819-2 外	837		公				
423	枝松 6 丁目95-15	140		私	既済			H 9 -41にて試掘済
424	水泥町1201の一部	871	61.20	私	試掘			
425	小坂4丁目39-1の一部	22	28.00	私	試掘			
426	南江戸4丁目5-45	160	12.39	私	試掘	包含層	土師器、瓦器	本格調査要 盛土にて保存
427	山越2丁目35-1·3·4	1,869	15.80	私	試掘			
428	文京町 3	21		私				市教委にて意見書対応
429	道後北代1293-2	288		私	既済			県教委にて試掘済 市教委にて意見書対応
430	南久米町432の一部	142	35.70	私	試掘			
431	祝谷 6 丁目1078-7	170		私	既済			H11-397にて試掘済
432	東方町甲1431-1	472	55.33	私	試掘			
433	祝谷 2 丁目249-15	67	38.49	私	試掘			
434	久谷町508-1地先	4	101.77	私	立会			
435	祝谷東町乙776-1	2,701		私	踏査			
436	北久米町739の一部、740-1	994	31.30	私	試掘	柱穴、土坑		本格調査要 盛土にて保存

松山市埋蔵文化財調査関係資料

Nα	 所 在 地	面積(m²)	標高(m)	調査目的	調査方法	包含·遺構	遺物	備考
437	平井町536-1・2、537-1・2	648	78.80	私	試掘			
438	鷹子町183-1・6	758	45.75	私	試掘			
439	南久米町391-2・4	168	39.23	私	試掘			
440	北斎院町343-1	277		私	既済			H12-242にて試掘済
441	西石井 5 丁目208-1	150	20.50	公	試掘			
442	南江戸3丁目784-5	116	13.40	私	試掘			
443	南江戸4丁目1249-2・5、1250-1	607	10.68	私	試掘			
444	東野 4 丁目573 - 1	154		私	既済			H12-182にて試掘済
445	平井町甲2356-2・3、甲2367-2・3	556	62.80	私	試掘			
446	南久米町378-1、379-1・3	2,052	39.00	私	試掘			
447	小坂4丁目26-2	52		私	既済			H10-450にて試掘済
448	平井町1940	89		私				
449	平井町甲1104-1	1,030	(77.19)	私	試掘			
450	姫原1丁目甲221	340	26.40	私	試掘	包含層	弥生土器	本格調査要 盛土にて保存
451	福音寺町558-2・3・5	264		私	既済			H10-364にて試掘済
452	西石井 5 丁目239-3	314	20.50	私	試掘			
453	来住町946-1、934-3、935-3	1,497	33.74	私	試掘			
454	みどりヶ丘300-100・203	143	10.48	私	試掘			
455	平井町甲3157-141	248	47.06	私	試掘			
456	北久米町1153	152	38.01	私	試掘	溝		本格調查要 工事立会、保存
457	南梅本町134-2 外	3,365		公				
458	南梅本町135-1 外	44,206		公				
459	南梅本町172 地先	102		公				
460	辻町51-1、52-1	830	14.60	私	試掘			
461	南梅本町乙102-2	198	94.64	私	試掘			
462	天山2丁目51-1	230	20.80	私	試掘			
463	星岡町372-2	464	25.10	私	試掘			
464	谷町甲273-7	146		私	既済			H11-365にて試掘済
465	みどりヶ丘300-114・223	146	7.99	私	試掘			

松山市埋蔵文化財調査関係資料

表2 3	平成12年度 松山市埋蔵	松山市埋蔵文化財本格調査一覧						
No	遺跡名	所 在 地	調査目的	時代	主な遺構、遺物等	対象面積(m²)	屋外調査期間	Nα
310-4	松山市道「平井·食場線」関連遺跡 五楽遺跡3次調査地(2·3·4区)	平井町乙192 外	緊急	古墳	石室・須恵・耳環	27,000	H12.4.1 ~ H13.3.30	310-4
369	釜ノ口遺跡10次調査地	小坂4丁目39-1 外 2筆	緊急	弥生·古墳	竪穴住居址・柵列・土坑・溝・弥生・須恵・土師	1,671	H12.4.10~H12.8.4	369
370	船ヶ谷遺跡 4 次調査地	西長戸町638-1 外3筆	*	弥生·古墳	掘立柱建物址・土坑・自然流路・弥生・須恵・土師・陶質土器	2,881	H12. 4 .10∼ H12. 9 .29	370
371	来住廃寺26次調査地	来住町850-1の一部	学術	古代	塔基壇·谜石·瓦	33	H12. 4 .12~ H12. 7 .14	371
372	来住町遺跡10次調査地	来住町242-1、244-1	国構	古墳~中世	竪穴住居址・掘立柱建物址・自然流路・須惠・土師・瓦器・陶磁器	765	H12. 4 .17~ H12.11.14	372
373	久米高畑遺跡46次調査地	来住町1155-4	*	弥生~中世	溝·柱穴·弥生·土師·須惠·瓦器·石庖丁	134.8	H12. 4 .17 \sim H12. 7 .19	373
374	久米高畑遺跡47次調査地	南久米町775-4·7	*	弥生~古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑・弥生・土師・須恵	253.66	H12.5.9~H12.8.11	374
375	北久米遺跡2次調査地	北久米町766-1	緊急	- 弥生~中世	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・弥生・須恵・土師・陶磁器	639.62	H12. 7 .10~ H12. 9 .29	375
376-Œ	桑原遺跡4次調査地(1・2区)	桑原4丁目715-1 外3筆	*		掘立柱建物址・溝・土坑・炭焼窯・弥生・土師	625	H12. 7.6 ~ H12.12.1	①-92E
377	来住廃寺27次調查地	来住町597~590 地先	学術	古墳·古代	土坑・柱穴・溝・土師・須恵	38.4	H12. 8 .29∼ H12.10. 5	377
378	久米高畑遺跡48次調査地	来住町860	国補	弥生~古代	柱穴・弥生・土師器	251	H12. 9.12~ H12.11. 4	378
379	松ヶ谷遺跡	息原町乙190 外 3筆	緊急	弥生	竪穴住居址・溝・土坑・柱穴・弥生・須恵・石庖丁・石斧	1,036	H12.10.10~H12.12.8	379
380	久米高畑遺跡49次調査地	来住町861、862、893の一部	学術	弥生~古代	掘立柱建物址・柵列・土坑・溝・弥生・須惠・土師・石器・瓦	666	H12.10.10~H13.3.31	380
381	来住町遺跡11次調査地	来住町546、南久米町688-3	*	弥生~古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑・弥生・土師・須恵	511	H12.11.13~H13.3.30	381
382	筋違P遺跡	福音寺町441、442-3	国補	古墳	竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑・溝・土師・須恵・臼玉	922	H12.11.13~H13.3.31	382
383	西石井荒神堂遺跡2次調査地	西石井町240-1・4	緊急	古墳·古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑・溝・弥生・土師・須恵・瓦器	296.2	H12.11.15~H13.1.12	383
384	人米高畑遺跡50次調査地	来住町1144-1	4	弥生・古墳	竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑・弥生・土師・須恵・石鏃	180	H13. 2.13~H13. 3.30	384



Ⅲ 平成12年度保存処理及び出土遺物整理

平成12年度出土遺物整理の概要

当埋蔵文化財センターでは、近年の発掘調査はもちろん、過去約20年の調査資料の整理を行っている。今年度は昨年度に引き続き、出土遺物が、膨大になってきたために収蔵庫の整理を重点的に行っている。

1. 遺物

青銅製品:保存処理および復元・科学分析を外部委託している。今年度は青銅鏡2面、銅鏃2点、銅鈴1点、貨銭2点、三塁環頭金具1点、金銅片1点を実施した。

なお、当センター保管の青銅鏡23件22面全ての保存処理が終了した(P117)。そこで、保存処理を 担当した京都造形芸術大学文化財保存科学研究室内田俊秀氏に現状観察を依頼し、保管について指導 を得た。

鉄製品:保存処理は当センターで行うが、特殊な資料とX線撮影は外部委託している。収蔵品の目録製作のための作業を重点的に行う。

なお、平成11年度に実施した朝日谷2号墳の鉄鏃11点には、線刻を持つものが2点あり、今年度に 類例調査を実施した。線刻鉄鏃2点の概要は、P118に掲載している。

植物遺体:木製品や種実は品種同定を外部委託し、そのうえで当センターで保存処理をしている (P95)。今年度は、特に保存処理が困難な編み物1点を外部委託した。製品の収蔵台帳が整理されたので、考古館展示にいかされた。

なお、船ヶ谷遺跡 3 次調査地の報告書(松山市文化財調査報告書73集)で未掲載になった「Ⅱ保存処理」(P76~80)の補足を、補遺としてP133に掲載した。

動物遺体:洗浄や保護の作業を行う。品種同定は、整理後に行いたい。

土器:収蔵庫整理では、報告書が刊行された遺跡資料を主体に選別作業をし、収納を行った。収蔵庫整理に伴って、展示会や類例調査で使用の頻度が高い資料については、収蔵一覧を作成し、特別収蔵庫に一括保管している。今年度は、絵画・線刻土器を対象資料にし、台帳を作成後、特別収蔵庫に保管した(P119~132)。

石器:土器と同様の作業を進める。特に、選別作業を重視した。

2. 写 真

ネガ:35mm判と 6×7 判は、注記や台帳作成作業が終わり次第、写真整理室の所定の場所に収納する。 4×5 判は写真担当者が整理する。

プリント:報告書刊行後に、ファイルをテン箱に収納し、収蔵庫に保管する。

3. 実測図・日誌・報告書原図

遺構測量図は図面整理室、遺物実測図・日誌・報告書原図は収蔵庫に保管する。

(梅木)

保存処理事業I

保存処理室では主に木製品の保存処理(PEG含浸処理)、金属製品の保存処理(減圧樹脂含浸)を 行っており、必要に応じて現場に出向き、遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り転写の作業も行っている。

1. 木製品の処理

当センターでは、木製品の保存処理はPEG(ポリエチレングリコール)含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は $1\sim1.5$ 年位を要する。

平成12年度は木製品の保管数が少なく、保存処理は行っていない。

2. 金属製品の処理 (写真1~8)

前処理(脱水・脱塩・安定化処理)を行っていた金属製品は、順次クリーニング(付着しているゴミ・土壌・サビ等の除去)、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した鉄器は、収納システム(三菱ガス科学・RPシステム)により収納後特別収蔵庫に保管している。以下、処理を行った遺跡名と遺物点数を下表に記す。

表 1 平成12年度 金属製品保存処理遺跡名一覧

			part and the same	
Nα	遺跡名	点 数	作業工程	刊 行 物
4	松ヶ谷古墳	5	脱塩浸漬中	松山市文化財調查報告書第6集
14	北久米遺跡常堰A地区	4	処理済・処理室保管	松山市文化財調查報告書第17集
14	北久米遺跡常堰B地区	12	処理済・処理室保管	松山市文化財調查報告書第17集
14	福音寺遺跡筋違B地区	4	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第17集
62	鶴ヶ峠遺跡	105	処理済・収蔵保管	未報告
84	松山城二ノ丸	1	脱塩浸漬中	未報告(松山市埋蔵文化財調査年報Ⅰ)
115	辻遺跡	1	処理済・収蔵保管	未報告(松山市埋蔵文化財調査年報Ⅰ)
129	筋違F遺跡	2	脱塩浸漬中	松山市文化財調査報告書第52集
166	福音小学校構内遺跡	48	脱塩済洗浄浸漬中	未報告(松山市埋蔵文化財調査年報Ⅰ)
228	影浦谷古墳	58	脱塩浸漬中	松山市文化財調查報告書第33集
240	樽味四反地遺跡 3 次調査地	1	脱塩浸漬中	松山市文化財調査報告書第46集
255	樽味四反地遺跡 4 次調査地	1	脱塩浸漬中	松山市文化財調查報告書第46集
279	桧山峠 7 号墳	20	処理済·処理室保管	松山市文化財調查報告書第61集
281	瀬戸風峠遺跡	154	脱塩浸漬中	松山市文化財調查報告書第69集
291	樽味高木遺跡 4 次調査地	13	処理済・収蔵保管	松山市文化財調查報告書第38集
311	久米高畑遺跡32次調査地	6	処理済・収蔵保管	未報告 (松山市埋蔵文化財調査年報区)
313	葉佐池古墳 2 号石室	276	脱塩浸漬中	未報告(松山市埋蔵文化財調査年報IX)
338	来住町遺跡 8 次調査地	4	処理済·収蔵保管 未報告(松山市埋蔵文化財調査年	
350	南江戸客谷遺跡	22	処理済・担当者保管 未報告(松山市埋蔵文化財調査年	
355	久米高畑遺跡42次調査地	2	脱塩浸漬中 未報告(松山市埋蔵文化財調査年幸	
359	久米高畑遺跡43次調査地	12	脱塩浸漬中 未報告(松山市埋蔵文化財調査年報	

3. 人骨・獣骨の処理 (写真 9~12)

処理室へは人骨・獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で切り離されて搬入される。 処理室では、この余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセットなどを用いて、徐々に取り除いて骨 の取り出しを行っている。脆い状態のものはアクリル系合成樹脂を塗布し、乾燥、硬化させてから少 しずつ土を取り除き、現れた部分にまた樹脂を塗る。この繰り返しを行って取り出した骨は、最後に 樹脂溶液に浸し漬けして全体(内部まで)を強化する。以下、処理を行った遺跡名と遺物点数を下表 に記す。

No. 遺 跡 名 出土遺構	表	₹2	平成12年度	動物	勿遺骸体保存	字処理遺跡名一覧		
		N/O	遺	跡	名	出土遺構	種	

No	遺跡名	出土遺構	種 類	部 位	点 数	刊 行 物
		2 号墳	貝		1	
59	東山古墳群(鳶が森古墳)	4号墳	貝		1	松山市文化財調查報告書第15集
	6 号墳	牛か馬	下顎	1		
315 樽味四反地 5 次調査地	竪穴住居(SB4)	不明	歯	1		
		牛	歯	2	 未報告(整理中)	
	停外四尺地 5 八酮宜地	流路(SR1)	馬	歯	2	木製百(登理甲)
		不明	歯	2		
			牛か馬	歯	18	
			獣	足部	6	
370	船ヶ谷遺跡 4 次調査地	流路(SR1)	獣	歯	4	 未報告(整理中)
			獣	肩甲骨	1	木報百(登建中)
			不明	不明	5	
		柵(SA1)	牛か馬	歯	1	
383	西石井荒神堂遺跡 2 次調査	土坑(SK1)	牛か馬	歯	2	未報告(整理中)

4. 遺構・遺物の取り上げ(写真13・14)

木製遺物の取り上げを船ヶ谷遺跡 4 次調査地にて行った。平成12年5月16日・6月8日に流路(S R 1) より10点、8月11日に土坑2基(SK14・22)より各1点ずつ、9月21・22日に井戸(SK24) より14点を取り上げた。流路より取り上げを行った木製遺物は、板状のもので依存状態は悪く、厚さ は1mm前後を測り非常に脆いため土と共に取り上げを行った。取り上げた木製遺物は、板材を底にあ てがって補強し、補強材と共にビニールシートで包み保護したのちセンターへ運び込んだ。他の遺構 から出土した木製遺物は比較的に残存状態が良好であった。乾燥させないようビニールシートで包み、 スポンジで保護して運搬した。

5. 土層の剥ぎ取り転写(写真15・16)

平成12年7月2・3日に船ヶ谷遺跡4次調査地の土坑(SK2)の土層断面の剥ぎ取りを行った。 作業工程は転写面にスプレーガンを用いて、エポキシ系合成樹脂を吹き付けた(写真15)。その後ガ ーゼ(樹脂の補強)で裏打ちを行った。この裏打ち工程は2回繰り返した。剥ぎ取りは翌日3日に行 いセンターへ搬入した。搬入後転写面の水洗い、仕上げの整形を行い、ベニヤ板で作成したパネルに 貼り付けた(写真16)。

6. 平成12年度調査出土金属製遺物、木製遺物、動・植物遺体

以下の表に平成11年度の調査により、金属製遺物、木製遺物、動・植物遺体の出土した遺跡、種類、 点数を記す。

表 3 平成12年度調査出土木製遺物、金属製遺物、動・植物遺体一覧

Nα	遺跡名	種 類	点 数	内
310	五楽遺跡 3 次調査地	金属製遺物	1	金銅製品 (耳環)
		金属製遺物	48	鉄製品(鏃・その他)・銅製品(銭貨)
368	束本遺跡 6 次調査地	植物遺体	6	種子(桃核)
		動物遺骸体	1	人骨 (歯)
369	釜ノ口遺跡10次調査地	木製遺物	15	炭化材
		木製遺物	86	杭材・板材・その他
370	船ヶ谷遺跡 4 次調査地	金属製遺物	6	鉄製品 (刀・その他)
370	加力。日度助、4分,则且地	動物遺骸体	35	獣骨(足肩甲骨・歯)
		植物遺体	13	種子 (桃核)
379	松ヶ谷遺跡	木製遺物	22	炭化材
383	西石井荒神堂遺跡 2 次調査	金属製遺物	1	鉄製品 (鏃)
303	四個月 加伊基基则 4 外侧重	動物遺骸体	1	獣骨(歯)
H 12-218	試据 小坂5丁目T-1-SD	木製遺物	1	杭材

7. 木製遺物収蔵一覧

木製品一覧表は松山市埋蔵文化財センター所蔵の一覧表である。平成11年度までの出土遺物を対象とした。今回は器種の判明している遺物のみを記載した。建築部材、土木用材、加工材などについては整理中である。

1). 一覧表・実測図について

- (1). 一覧表は、木製品を用途別に分類し、各表左上端に用途名を記入している。分類にあたっては、奈良国立文化財研究所発刊「木器集成図録」を参考にした。
- (2). 遺物番号は、容器類No.1. 食事具類No.1. 雑具類No.1. ・・・としている。
- (3). 遺物整理の結果、報告書に記載されている器種名が変更になったものがある。
- (4). 実測図番号は各用途ごとに一覧表遺物番号と一致する。
- (5). 尚、今後の整理作業により一覧表の内容は変更されることがある。
- (6). 一覧表の作成は武正良浩、山本健一で行い、池田学、河野はるな、篠森千里、徳田朱美、萩野ちよみ、吉井信枝の協力を得た。

農具類所 厳一覧
_

(器種)	韻 쨁 名	出土遺構	時代時期一		法量 (cm)	1	樹種	保存処理	調査年度	報告書	備考
			,	長さ	幅(径)	厚さ(径)				NO	
曲柄平鍬	福音寺遺跡竹ノ下地区	三河三	古墳中期	45.2	14.5	1.7	カシ属 (柾目)	AXR法処理済	1974	17集	
曲柄平鍬	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	[39.1]	16.0	1.7	カシ属 (柾目)	AXR法処理済	1974	17集	
曲柄平鍬	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	[35.9]	[2.5]	1.2	カシ属 (柾目)	AXR法処理済	1974	17集	
泥除	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	29.6	20.5	3.3	カシ属 (横木目)	AXR法処理済	1974	17集	
直柄平鍬	福音寺遺跡竹ノ下地区	三原田	古墳中期	28.2	18.0	4.4	カシ属 (柾目)	AXR法処理済	1974	17集	
組合せ鋤柄	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	[59.4]	[4.6]	1.8	カシ属	AXR法処理済	1974	17集	
組合セ鋤柄	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河田	古墳中期	[70.5]	2.4	2.2	カシ属	PEG法処理済	1974	17集	
横槌	福音寺遺跡竹ノ下地区	三原田	古墳中期	28.3	最大径11.0	柄径3.8	広葉樹	AXR法処理済	1974	17集	
斧膝柄	福音寺遺跡竹ノ下地区	田河田	古墳中期	[36.0]	11.0	1.6	広葉樹	AXR法処理済	1974	17集	
鎌柄	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	39.5	3.4	1.6	広葉樹	PEG法処理済	1974	17集	
鎌柄	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	[64.0]	4.2	3.0	カシ属	AXR法処理済	1974	17集	
木錘	福音寺遺跡竹ノ下地区	三原田	古墳中期	12.2	最大径6.8	最小径4.2	広葉樹	AXR法処理済	1974	17集	
鎌柄	福音寺遺跡竹ノ下地区	三河三	古墳中期	[38.8]	3.0	1.0	٤		1974	17集	
3	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	70.7	3.5	1.3	針葉樹 (柾目)	AXR法処理済	1974	17集	
曲柄平鍬	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河田	古墳中期	42.6	14.5	1.1	カシ属(柾目)	AXR法処理済	1974	17集	
鍬柄?	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	101.0	6.5	4.0	広葉樹 (芯持材)	AXR法処理済	1974	17集	
鍬柄?	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	[52.9]	3.5	6.0	杉 or 桧	PEG法処理済	1974	17集	
直柄平鍬(連結未製品)	前川I遺跡	旧河床	古代	45.4	18.0	7.4		PEG法処理済	1976	1-92	県埋報
直柄平鍬	久米高畑2次	無		22.5	(13.5)	1.6		AXR法処理済	1987		
木錘	久米窪田森元遺跡 3 次	流路	古代	(13.3)	最大径4.2	最小径1.6	ヤブツバキ	PEG法処理済	1992	44集	
木錘	久米窪田森元遺跡 3 次	流路	古代	14.3	最大径4.2	最小径1.7	ヤブツバキ	PEG法処理済	1992	44集	
泥除	金ノ口遺跡 9 次	魋	弥生後期	33.0	22.0	7.9	コナラ属アカガシ亜属	水漬	1999		
竪杵	釜7口遺跡9次	魋	弥生後期	[49.5]	最大径7.0	最小径2.6	ヤブツバキ	水漬	1999		
泥除	釜7口遺跡9次	魋	弥生後期	23.7	35.2	7.7	コナラ属アカガシ亜属	水漬	1999		
直柄平鍬	釜7口遺跡9次	無	弥生後期	25.2	(20.5)	4.6	コナラ属アカガシ亜属	水漬	1999		
木錘	来住廃寺遺跡15次	旧河川	古代	[6.0]	最大径8.0	最小径1.6		PEG法処理済	1991	34集	
木錘	来住廃寺遺跡15次	旧河川	古代	[6.4]	最大径7.5	最小径1.2		PEG法処理済	1991	34集	
横槌	来住廃寺遺跡15次	旧河川	中代	29.3	最大径6.0	柄径2.8		PEG法処理済	1991	34集	
横槌	来住廃寺遺跡15次	旧河川	古代	32.5	最大径6.0	柄径5.4		PEG法処理済	1991	34集	
簡小	本作 欧 七 谱 耽 1 5 次	三原口	#	0.05	ra ra	00		対暦を対では日	1001	9.4年	

	農具類所蔵一覧								The state of the s		The state of the s			(2)
S	品 名 (器 種)	押	聯及	世界十五	性作時間		法量 (cm)		掛		四方加油	=	報告書	
2	I	á		H	18 Pr > Pr	真	幅(径)	厚さ(径)			不什么生	剛軍十及	No	至
31	膝柄	来住廃≒	來住廃寺遺跡15次	旧河川	古代	57.0	2.7	2.0			PEG法処理済	1991	34集	
32	直柄平鍬	山越流	山越遺跡2次	推	弥生前期	37.1	22.0	0.5	カシ属(柾目		PEG法処理済	1989	32集	
33	編み物(箕?)		釜ノ口遺跡8次	貯蔵穴	弥生後期	50.0	20.0					1995	第09	
34	編み物(籠?)	古照	古照遺跡10次	魋	古代	21.0	21.0		タケ		PEG法処理済	1993	47集	
35	木錘	上町3	辻町遺跡2次	世#	中中	16.0	4.4	2.0			PEG法処理済	1993	51集	
36	直柄平鍬	祝谷六	祝谷六丁場遺跡	%	弥生中期			en e				1987		
37	直柄横鍬 or 泥除		小坂遺跡Ⅱ	湿地?	弥生後期							1973		
38	直柄平鍬 (未製品)		小坂遺跡皿	湿地?	弥生後期	24.6	19.5	3.6			PEG法処理済	1973		
39	鎙	古照ゴウ	古照ゴウラ遺跡3次	流路			No.	110000000000000000000000000000000000000				1988		
40	直柄平鍬	道後暑	道後鷺谷遺跡	谷(最深部)	弥生中期			TO THE PARTY OF TH				1987		
表	工具類所蔵一覧									7.	法量;数字は完存長		〕残存長、	() 復元長
Ä	nn / 47			##	1 1		洗量 (cm)						報任事	
INO	日石(名)	型 三	点 内	出工週傳	時代時期一	が、東	-	厚さ(径)	樹種		保存処理	開査年度	No H	備水
1	掛矢	福音寺遺跡	福音寺遺跡竹ノ下地区	旧河川	古墳中期	[48.2]	14.0	柄径3.0	広葉樹(芯持材)	村)	AXR法処理済	1974	17集	
张 6	漁撈具類所蔵一										法量;数字は完存長、	_	〕残存長、	()復元長
É	口分明维	1		世	11 11 11 11 11		沃量 (cm)						報任事	
TAG	白		财 石	山工退備	上の日本	長さ	幅(径)	厚さ(径)	樹種		保存処埋	調査年度	I W	売 を
-	なればなりま		釜ノ口遺跡 9 次	뽽	弥生後期	[9.62]		柄径3.0	コナラ属アカガシ	シ亜属	水漬	1999		
表7	紡織具類所蔵一覧	罚									法量;数字は完存長、	_	〕残存長、	()復元長
ž	品名(契種)	造 時 な	世界十五		八	法量 (cm)	7					1	報任書	
TAC			田上堰浦	はいくられがり	対な	幅(径)	厚さ(径)	匈 俚	※ 期等		保存処理	調金牛度	I N	施
-	カセ置き 来	来住廃寺遺跡15次	旧河川	古代	[40.0]	3.7	1.8	用孔2	2ヶ所 1/2残存	4	EG法処理済	1991	34集	
2	経巻具来	来住廃寺遺跡15次	旧河川	古代	(18.0)	(3.1)	(2.2)			PE(EG法処理済	1991	34集	
က	経巻具来	来住廃寺遺跡15次	旧河川	古代	(11.0)	2.2	1.7			PE(EG法処理済	1991	34集	
4	経巻具来	来住廃寺遺跡15次	田原田	古代	(21.3)	(3.5)	(1.0)			PEC	EG法処理済	1991	34集	
ಬ	経巻具来	来住廃寺遺跡15次	三原田	古代	(22.5)	(2.0)	[6:0]			PEC	E G 法処理済	1991	34集	
9	経巻具来	来住廃寺遺跡15次	三原田	古代	(36.0)	3.2	3.0			PEC	G法処理済	1991	34集	
					The second secon						法量;数字は完存長、	-	〕残存長、	()復元長

馬具類所蔵一覧
8 武器・
אַנונ

No 品 名 (器 種) 電	Á	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2										
III A (新世) III B W d III B W d III III III III III III III III III II	Þ	n'n / 47	吉	- 明	4					15	本	π	垂水
丸木弓 福音寺遺跡竹ノ下地区 旧河川 古墳中期 150.2 4.1 2.1 第 AXR茂処理済 1974 丸木弓 福音寺遺跡竹ノ下地区 旧河川 古墳中期 150.2 2.9 2.0 広葉樹 PE G法処理済 1974 東大弓 大木号 大米窪田森元遺跡3次 溝路 古代 (8.0) 2.6 ヤブッパキ PE G法処理済 1992 東土廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (22.0) 10.8 9.0 中ブッパキ PE G法処理済 1991 金鐘 来住廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (14.5) 6.5 9.0 PE G法処理済 1991	NO	4 。	Ŕ		_	長さ	\sim	XU	`	2	-	No	
丸木弓 福音寺遺跡竹ノ下地区 旧河川 古墳中期 150.2 2.9 2.0 広葉樹 PE G装処理済 1974 鳴輪 人米窪田森元遺跡3次 流路 古代 (2.0) 2.0 ウッギ属 PE G装処理済 1992 丸木弓? 人米窪田森元遺跡3次 溝 古代 (22.0) 10.8 9.0 ヤブツバキ PE G装処理済 1992 金鐘 来住廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (14.5) 6.5 50 PE G装処理済 1991	-	九木弓	音寺遺跡竹ノ下	旧河川	I ⊞	(104.5)	4.1	2.1	i	AXR法処理済	1974	17集	
鳴輪 人米窪田森元遺跡3次 流路 古代 3.8 (2.0) 2.0 ウッギ属 PEG表処理済 1992 丸木弓? 人米窪田森元遺跡3次 溝 古代 (89.0) 2.6 ハ ヤブツバキ PEG表処理済 1992 壺盤 来住廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (14.5) の 6.5 PEG表処理済 1991	2	九木弓	音寺遺跡竹ノ下	旧原田	一型	150.2	2.9	2.0	広葉樹	EG法処理	1974	17集	
丸木弓? 入米窪田森元遺跡3次 溝 古代 (89.0) 2.6 ヤブッパキ PEG装処理済 1992 壺鐘 来住廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (22.0) 10.8 9.0 PEG铁処理済 1991 壺鐘 来住廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (14.5) 6.5 PEG铁処理済 1991	3	鳴鏰	田森元遺跡3	流路	古代	3.8	(2.0)	2.0	ウツギ属	PEG法処理済	1992	44集	
壺鐘 来住廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (22.0) 10.8 9.0 PEG共処理済 1991 売鐘 来住廃寺遺跡15次 旧河川 古代 (14.5) 6.5 PEG共処理済 1991	4	九木弓?	H森元遺跡3	無	古代	[89.0]	2.6		ヤブツバキ	PEG法処理済	1992	44集	
	2	壺鐙	主廃寺遺跡	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	古代	[22.0]	10.8	9.0		EG法	1991	34集	
	9	壺鐙	主廃寺遺跡	三河三	古代	[14.5]		6.5		EG法処理	1991	34集	

法量;数字は完存長、[] 残存長、()復元長

配
標一
類所
甽
服飾
0
表

半		展示	展示	展示	展示	県埋報	展示	展示								
報告書	No	17集	17集	17集	17集	26-I			44集	44集	44集	34集	34集	34集	34集	
置水ケ中	则且十汉	1974	1974	1974	1974	1976	1987	1987	1992	1992	1992	1991	1991	1991	1991	1993
印存加描	不行為任	PEG法処理済	シリコン封入	シリコン對入	シリコン封入	シリコン對入	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	
法体体	衣即守	朱漆塗·直弧文					朱漆塗	朱漆塗								
华	匈僅	広葉樹	-			ッゲ			ヒノキ(板目)	ヒノキ(板目)	ヒノキ					
	器島	5.3					(1.8)	(1.5)								
(cm)	きな					0.3			1.5	2.2	1.5	3.8	1.7	1.4	1.3	
) 善料	里	5.7	3.3	2.2	2.9	2.6	1.4	1.2	2.9	2.5	[6.5]	9.3	8.6	12.0	(3.6)	
	長さ(径)	9.5	5.0	2.0	5.4	3.0	[9.4]	[8.7]	9.5	8.7	26.6	(16.0)	21.5	25.0	[18.5]	
吐谷吐翔		古墳中期	古墳中期	古墳中期	古墳中期	古代	縄文晩期	縄文晩期	古代	古代	古代	古代	古代	古代	古代	近世
新年1.1.11	田工退佛	旧河川	田河田	旧河川	旧河川	旧河床	湿地	海海	流路	流路	流路	旧河川	旧河川	旧河川	三河田	桶棺墓
ż	阿多名	福音寺遺跡竹ノ下地区	福音寺遺跡竹ノ下地区	福音寺遺跡竹ノ下地区	福音寺遺跡竹ノ下地区	前川I遺跡	大渕遺跡1次	大渕遺跡1次	久米窪田森元遺跡 3 次	久米窪田森元遺跡 3次	久米窪田森元遺跡3次	来住廃寺遺跡15次	来住廃寺遺跡15次	来住廃寺遺跡15次	来住廃寺遺跡15次	南江戸桑田遺跡
	田	儀仗or刀把頭装具?			Management of	拓植櫛			**************************************	***	一木造連歯下駄	一木造連歯下駄	一木造連歯下駄	一木造連歯下駄	一木造連歯下駄	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	品名(希種)	獣頭形木製品	結歯式竪櫛	結婚式竪櫛	結歯式竪櫛	横横	結歯式竪櫛	結歯式竪櫛	上縣	下默	下默	下默	下默	上縣	下駄	韓
;	S S	П	2	3	4	5	9	7	∞	6	10	11	12	13	14	15

法量;数字は完存長、〔〕残存長、()復元長

容器類所蔵一覧
表10

#	孟	展示	展示	展示	県埋報	県埋報	県埋報	県埋報	県埋報	県埋報	県埋報	県埋報	県埋報								展示	展示	他に12点有り	他に23点有り		
報告書	N N	17集	17集	17集	1-95	1-95	56- I	1-95	I -99	I -95	I -95	56- I	I -95	44集	44集	44集	44集	44集	34集	34集	34集					
日十十十	開紅牛人	1974	1974	1974	1976	1976	1976	1976	1976	1976	1976	1976	1976	1992	1992	1992	1992	1992	1991	1991	1991	1972	1994	1994	1988	1999
日十二日	大 大 大 大 大 大 大 大	AXR法処理済	AXR法処理済	AXR法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済			The state of the s	PEG法処理済	P E G 法処理済		PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済	PEG法処理済		水漬
1	加工力法	割り出し	割り出し	割り出し			ケビキ	ケビキ	ケビキ		And the state of t	00000000			The second secon	ケビキ	ケビキ	木釘結合		釿痕		補修痕				完存
	回	針葉樹(板目)	針葉樹(板目)	針葉樹(板目)	ヒノキ(柾目)	ヒノキ(柾目)							スギ (柾目)	ヒノキ(板目)	ヒノキ(板目)	ヒノキ(柾目)	ヒノキ(柾目)	ヒノキ(柾目)				ヒノキ(柾目)				サクラ
	高さ(厚さ)	器高3.8	器高2.7	器高6.3	厚さ0.2	0.3	0.5			9.0	0.2	0.2	[4.0]	9.0	0.7	9.0	0.3	6.0	0.3	8.0	(5.6)	器高7.4	1.2	1.2		3.3
行馬 (cm)	幅(外径)	[7.5]	(2.0)	(12.0)	[3.2]	[2.8]	(1.6)			(0.9)	(2.0)	[5.9]	[12.5]	(3.6)	(3.5)	(4.1)	[2.7]		(3.6)	(15.0)	[5.4]	23.2		7.0		16.2
	長(外径)	27.0	[9:29]	[20.3]	[33.4]	(35.4)	(3.8)			[39.8]	[7.7]	[23.2]	[60.3]	(10.4)	(14.0)	30.6	[2.1]	(径16.2)	[14.6]	(18.0)	(33.0)	59.6	径16.0	17.8		49.0
吐你吐相		古墳中期	古墳中期	古墳中期	古代	古代	古代	古代	古代	古代	古代	古代	弥生?	古代	古代	古代	古代	古代	古代	古墳後期	古代	弥生終末?	中冊	中	近世	弥生後期
推典十日	山上周冊	旧河川	旧河川	旧河川	田河床	旧河床	旧河床	旧河床	旧河床	旧河床	旧河床	旧河床	旧河川	流路	流路	流路	流路	流路	旧河川	旧河川	旧河川	地下2.5m	井戸	世世	桶棺墓	⊭
海 异 夕	ŕ	福音寺遺跡竹ノ下地区	福音寺遺跡竹ノ下地区	福音寺遺跡竹ノ下地区	前川I遺跡	前川I遺跡	前川I遺跡	前川I遺跡	前川1遺跡	前川I遺跡	前川I遺跡	前川1遺跡	来住 I 遺跡	久米窪田森元遺跡 3 次	久米窪田森元遺跡 3 次	久米窪田森元遺跡3次	久米窪田森元遺跡 3 次	久米窪田森元遺跡 3 次	来住廃寺遺跡15次	来住廃寺遺跡15次	来住廃寺遺跡15次	朝美町1~2丁目遺跡	来住廃寺24次	来住廃寺24次	南江戸桑田遺跡	釜ノ口遺跡 9 次
口夕(型锤)	(世)世)	产	盤	盤	曲物底 or 蓋板	曲物底 or 蓋板	曲物側板	曲物側板	曲物側板	桶底板?	曲物側板	曲物側板	器	曲物底板	曲物底板	曲物天板?	曲物側板	曲物底板	曲物側板	皿状容器	把手付容器	舟形盆	桶底板	桶側板	姰	杓子形木器
N	TAC	1	2	3	4	2	9	7	∞	6	10	=	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25

表11 楽器類所蔵一覧 水品 名 (器 種) 遺跡 名 出土遺構 時代時期 時代時期 注量 (cm) 財産 (径) 財産 (径) 財産 (区) 財産		保左処理	大ツに大力	AXR法処理済
楽器類所蔵一覧 品種 出土遺構 時代時期 法量(cm) 日本				
来器類所蔵一覧 品 出土遺構 時代時期 注量(a) 日本 (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (8) (4) (9) (4) (11) (4) (12) (4) (13) (4) (14) (4) (15) (4) (2) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (8) (8) (8) (9) (9) (11) (11) (12) (11) (12) (11) (12) (11) (12) (11) (11) (12)			×U	1.5
楽器類所蔵一覧 場 跡 名 出土遺構 時代時期 長 品名(器種) 電部 名 出土遺構 時代時期 長 零材 福音寺遺跡竹ノ下地区 旧河川 古墳中期) 事	\sim	(11.7)
楽器類所蔵一覧 品名(器種) 遺跡名 出土遺構 時代時 零材 福音寺遺跡化ノ下地区 旧河川 古墳中			長さ	39.4
楽器類所蔵一覧 日名(器種) 遺跡名 田油遺類 田油遺類 本材 福音寺遺跡代ノ下地区 田河戸		甘北	P .	古墳中期
架器類所蔵一覧 品名(器種) 遺跡名 零材 福音寺遺跡化ノ下地		押斗	P	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
来器類所蔵— 品名(器)		吉	É	音寺遺跡竹ノ下地
K S -	器類所蔵一	88/ 47	か	琴材
	表11	;	oN —	-

備考

調査年度

食事長摘所 福音寺遺跡付 下地区 旧河川 古墳中期 39.4 (11.7] 1.5 A.N.R.改經理済 1974 17株 17株 食事具類所蔵一覧 法量(四) 注量(四) 注意(四) 注意(四) 注意(四) 注意(四) 注意(四) 注意(四) 注意(四) 注意(四) 注意(四) 注意(日)		HI J. HI	11 目	ą	I	1 1	7	, 本	幅(径)						INO	
大学 12 日本 12 日本 13 日本			材	福音寺遺跡	1	旧河川	1			1.5			AXR法処理済	1974	17集	
所蔵一覧 法量 (m) 法算 (m) 法算 (m) 法算 (m) 法算 (m) 公 (m)														存長、[]	残存長、	()復元長
遺 跡 名 出土遺構 時代時期 長冬 注量 (m) 注量 (m) 厚き 樹 種 種 加工方法 油工方法 遺存状態 遺存状態 遺存状態 調査年態 № 保存処理 調査年度 № 報告書 № 本書 ○	表12	食事具類	- 1													
追 砂 台 田工選伸 中10世 時 長多 幅 厚 き 10		(事品)47日			1 年 1 日	HH 70 47 71		_			古一十六	语方字能	母左加.神	調本在底	報告書	
福音寺遺跡付入下地区 同利川 古墳中期 38.0 3.0 器1.2 一十年 大条田森元遺跡 3.0 日本子(板目) 大き(板目) 大倉口 2.0 日本子(板目) 大き(大板目) 大き(大板田遠) 大き(大板田道)		四名(命種)			田上退佛			哩			ML 大 大 大 大	AS IT TAKES	大学の大学	X H H M	Na	
人米建田森元遺跡3次 流路 古代 (8.3) 3.0 0.4 ヒノキ(板目) 1/2 PEG迭処理済 1992 44集 南紅豆桑田遺跡 桶棺墓 近世 径(11.0) 器高(7.0) 2.0 四 本資 水漬 1988 1988 1988 1988 工 土野遺跡2次 箱棺墓 近世 径(12.0) 器高(5.0) 器高(5.0) 未漆 漆塗 漆のみ残存 1993 7 1993 7 1996 71集		杓子形木器	福音寺遺跡作	1	旧河川	1 #	38.0	3.0	器1.2			完存	AXR法処理済	1974	17集	展示
南江戸桑田遺跡 桶棺墓 近世 径[11.0] 器高 (7.0) 器高 (7.0) 不 本 水 1988 1988 1988 1988 1988 1988 1988 1988 1988 1988 1989 1988 1988 1989 1988 1988 1988 71集 土野遺跡 2 次 溝 中世 径[9.0] 器高 (1.2) 漆塗 漆砂 み残存 1996 71集		杓子形木器	人米窪田森5	元遺跡3次	流路	古代	[8.3]	3.0	0.4	ヒノキ(板目)		1/2	P E G 法処理済	1992	44集	展示
古照ゴウラ遺跡4次 灌漑施設? 中世 (5.1) 器高(5.0) 特漆 徐のみ残存 PEG法処理済 1990 PEG地理済 上野遺跡2次 箱柏墓 近世 径(12.0) 器高(5.0) 保漆 徐のみ残存 1993 7 岩崎遺跡 溝 中世 径(9.0) 器高(1.2) 森塗 徐のみ残存 1996 71集		漆器椀	南江戸桑	5田遺跡	桶棺墓	近市	径[11.0]		-				水漬	1988		
上野遺跡2次 箱柏墓 近世 径[12.0] 器高 (5.0) 保漆 漆のみ残存 1993 岩崎遺跡 溝 中世 径(9.0) 器高 (1.2) 漆塗 漆のみ残存 1996		温	古照ゴウラ	,遺跡4次	灌溉施設?	申	[14.4]	(5.1)	2.0					1990		展示
岩崎遺跡 溝 中世 径(9.0] 器高 (1.2) 漆塗 漆のみ残存 1996		漆器椀	上野遺	跡2次	箱棺墓	近世	径[12.0]		_		米燚	漆のみ残存		1993		
		多	岩崎弘	遺跡	触	中中	径[9.0]		_		泰泰	漆のみ残存		1996	71集	

加
-
木簡類所蔵
表13 7
₩

年 報告書 備 岁	No	32 44集	31 34集	31 34集	[] 残存長、() 復元長
1 開 開 日 田 日 田 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	KT MH	1992	法処理済 1991	法処理済 1991	; 数字は完存長、
但在	1.47		PEG	PEG	洪
華		未鑑定	未鑑定	未鑑定	
	世	0.3	0.2	0.4	
法量 (cm)	壨	2.3	2.0	2.4	
	景さ	13.0	[2.9]	19.3	
排刊分刊	をおうこれ	古代	古代	古代	
単明日日	田上畑田	消路	旧河田	三河三	
吉	回 写 白	久米窪田森元遺跡3次	来住廃寺遺跡15次	来住廃寺遺跡15次	
n'n / 47	日石(帝国)	付札木簡	木簡	木簡	
2	No.	-	2	3	

() 復元長 県埋報 袮 県埋報 県埋報 無 [] 残存長、 I - 99I - 99I - 99報告書 No 1-9944集 44集 샊集 34集 34集 34集 34集 34集 34集 34集 34集 17集 26— J -99 -99 -99 -99-99-99-99-99 -99-99 -99 調査年度 法量;数字は完存長、 926 1976 1976 1976 1976 1976 1976 1976 1976 9261 926 9261 9261 9261 9261 9261 1974 1992 1992 1992 1991 1991 1991 1991 1991 1991 1991 1991 1991 1994 P E G 法処理済 PEG法処理済 PEG法処理済 PEG法処理済 P E G 法処理済 PEG法処理済 P E G 法処理済 PEG法処理済 PEG法処理済 PEG法処理済 P E G 法処理済 P E G 法処理済 PEG法処理済 ミョウバン法 シリコン對入 シリコン對入 シリコン對入 シリコン對入 シリコン對入 シリコン對入 シリコン封入 保存処理 (板目) (板目) 悝 広葉樹 ヒノキ ند ヒノキ 被 恒 0.2 9.0 0.5 0.3 1.6 1.5 3.9 0.2 0.2 0.2 0.8 0.1 0.4 0.3 0.4 0.4 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.4 0.10.1 0.4 XU 0.1 Ш 1.8 2.8 3.5 0.9 2.6 3.6 2.0 2.0 2.2 2.4 3.2 3.4 1.5 (4.1) 1.9 3.1 2.2 2.1 2.6 2.0 4.2 3.6 2.0 (1.6)(3.4) 8 (1.7)1.6冒 法量 19.5 11.0 21.6 20.0 26.9 15.3 20.3 18.0 [24.7] (21.0)(7.4) (7.4)(17.5)(17.0)(17.5)(19.5)[8.9] [7.8] [9.5] (18.0)(14.9)[3.7](11.4)(10.0)(11.0)(15.5)(10.5)[6.8][7.0] [62.6]長さ 古墳中期 古代 出 古代 日河床 旧河床 日河床 旧河床 旧河床 旧河床 田河邢 田河邢 旧河床 日河床 日河床 旧河床 旧河床 旧河床 旧原田 旧河床 日河床 三河川 三原田 三河川 三原田 三河三 旧河川 三河三 三河三 旧河川 流路 流路 井戸 流路 久米窪田森元遺跡3次 久米窪田森元遺跡 3 次 福音寺遺跡竹ノ下地区 久米窪田森元遺跡3次 来住廃寺遺跡15次 来住廃寺遺跡15次 来住廃寺遺跡15次 来住廃寺遺跡15次 來住廃寺遺跡15次 来住廃寺遺跡15次 來住廃寺遺跡15次 来住廃寺遺跡15次 来住廃寺遺跡15次 来住廃寺24次 谷 前川遺跡] 前川遺跡] 前川遺跡] 前川遺跡 祭祀具類所蔵一覧 (斎串?) (涿冊?) (斎串?) 削りかけ (斎串?) 削りかけ (斎串?) 削りかけ (斎串?) 削りかけ (斎串?) (斎串?) 種 (舟形) (鏃形) (鏃形) (万形) 形代 (鳥形 形代 (鏃形 絽 極 强 毌 **三** 桑田 添冊 **添** 桑田 讯珠 斎冊 添冊 削りかけ 削りかけ 削りかけ 削りかけ 谷 形代 形代 形代 形代 形代 形代 形代 ᄪᆖ 表14 4 5 9 6 10 Π 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 8 2 3 _ ∞

5 維具類所蔵一覧

	日夕(四维)			世 十 日	11111111111111111111111111111111111111		(注重)	(cm)		華	促存加理	調本作座	報告書	華
N N	后名(布埋)	田田	回 回 か ん	田工園舗	 14.17 14.17 	長さ(径)	聖	を重	恒		本件定生	刚耳十尺	No	
-	6	脚?	福音寺遺跡竹ノ下地区	三河河	古墳中期	(10.6)	(10.0)	4.0		広葉樹(板目)	AXR法処理済	1974	17集	
2	火鑽臼?	発火具?	福音寺遺跡竹ノ下地区	三一一	古墳中期	(20.2)	1.5	0.4		枠	PEG法処理済	1974	17集	展示
3	鼠返し	建築部材	朝美1~2丁目遺跡	地下2.5m	弥生終末?	70.5	[41.7]	7.0			PEG法処理済	1972		
4	井戸側板	枠材	辻町遺跡2次	旦#	中	[48.0]	(17.2)	[2.3]			PEG法処理済	1993	51集	
5	井戸側板	枠材	辻町遺跡2次	三二十二	中	[23.7]	[17.8]	(1.9)			PEG法処理済	1993	51集	
9	井戸曲物	水溜部	辻町遺跡2次		中	径40.0		0.3	25.0		PEG法処理済	1993	51集	
7	井戸曲物	水溜部	船ヶ谷遺跡3次	世 半	中	径54.0			50.0	スギ	水漬保管	1998	73集	
∞	井戸曲物	水溜部	船ヶ谷遺跡3次	一一一一	中	径45.0			30.0	スギ	AXR法処理済	1998	73集	
6	井戸曲物	水溜部	船ヶ谷遺跡3次	三世 半	中	径40.0			30.0	ヒノキ	AXR法処理済	1998	73集	展示
10	井戸曲物	水溜部	古照ゴウラ遺跡3次	1年	中							1988		
Π	井戸曲物	水溜部	古照ゴウラ遺跡4次	1	中中	径45.1			(13.5)		PEG法処理済	1990		
12	井戸曲物	水溜部	古照ゴウラ遺跡4次	世#	中中	径49.0			(19.0)		PEG法処理済	1990		
13	館状		古照ゴウラ遺跡4次	灌溉施設?	中冊						PEG法処理済	1990		
14	井戸曲物	水溜部	古照ゴウラ遺跡5次	一一一一	中	径45.5			24.7		PEG法処理済	1995		
15	井戸曲物	水溜部	宮前川三本柳遺跡	一一一	古代	径20.0			30.0	桐	PEG法処理済	1990		
16	井戸曲物	水溜部	宮前川三本柳遺跡	井戸	古代	径40.0			40.0	桐	PEG法処理済	1990		
17	火錐臼?	発火具?	来住廃寺遺跡15次	三原田	古代	[4.4]	1.8	1.0			PEG法処理済	1991	34集	
18	箱式木棺	相	葉佐池古墳	1号石室	古墳後期							1993		
								•			法量;数字は完存長、	記存長、()	残存長、	()復元長

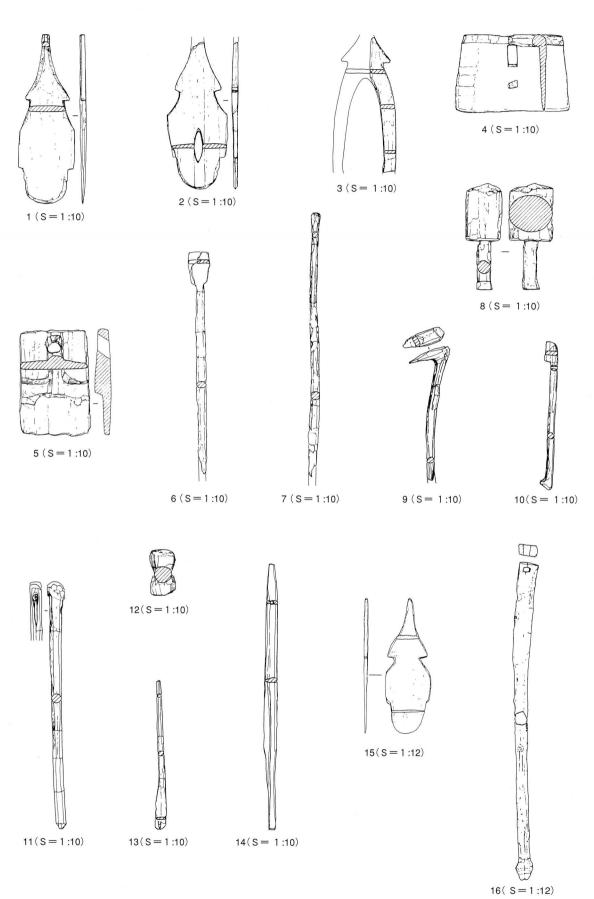


図1 農具類実測図(1)

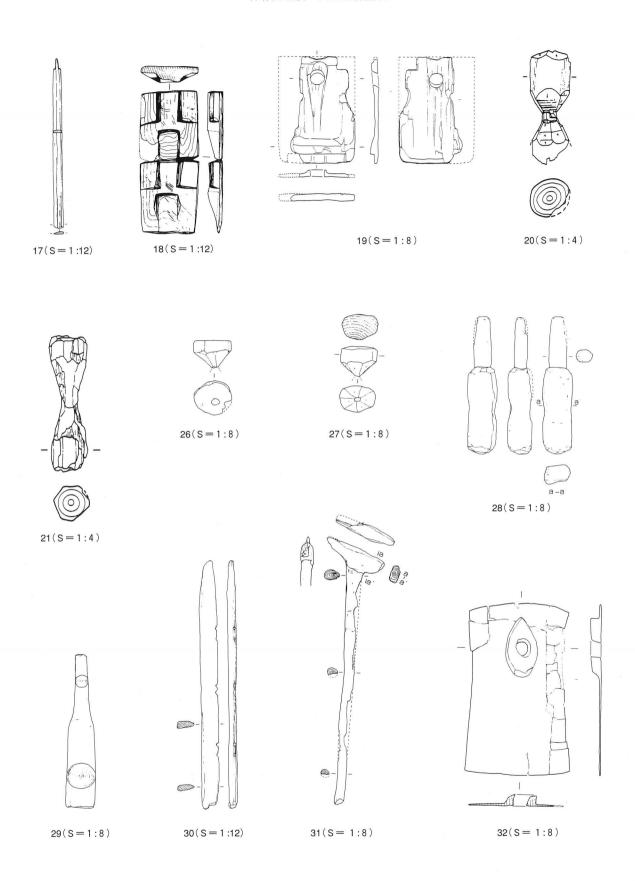
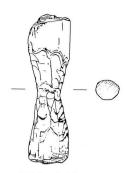


図2 農具類実測図(2)







35(S=1:4)

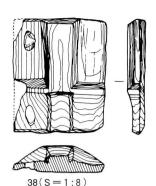


図3 農具類実測図(3)

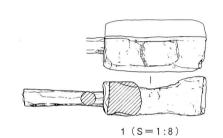
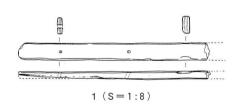
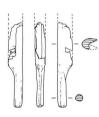


図4 工具類実測図

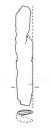




2 (S=1:8)



3 (S=1:8)



4 (S = 1:8)



5 (S=1:8)

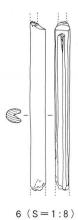
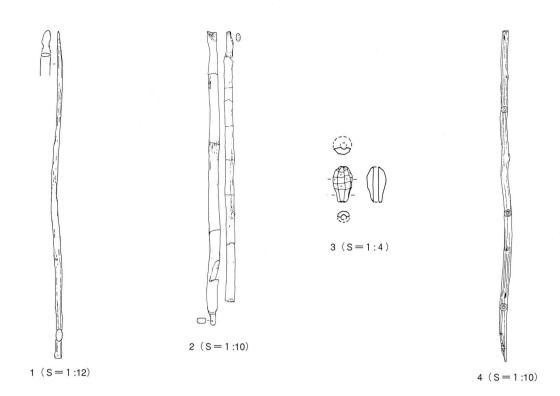


図 5 紡織具類実測図



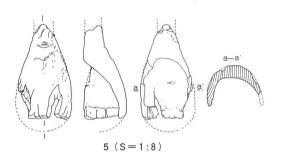


図6 武器・馬具類実測図

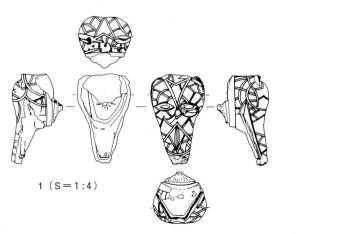
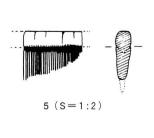


図7 服飾具類実測図(1)



6 (S = 1:8)

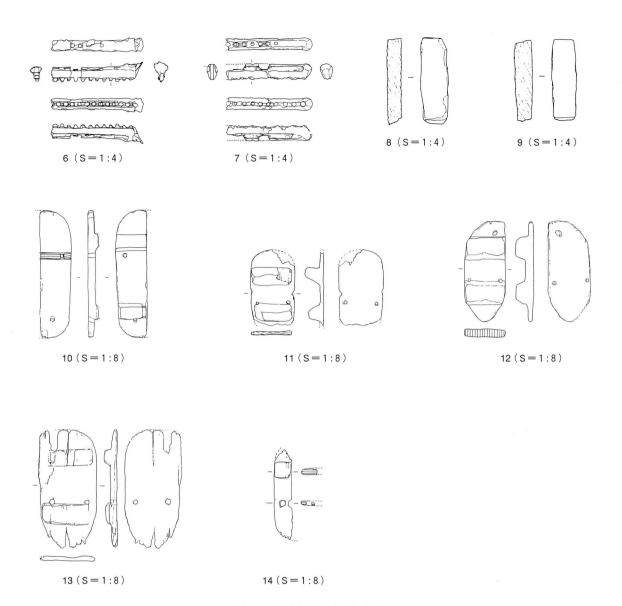


図7 服飾具類実測図(2)

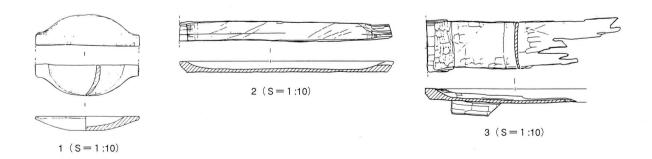


図8 容器類実測図(1)

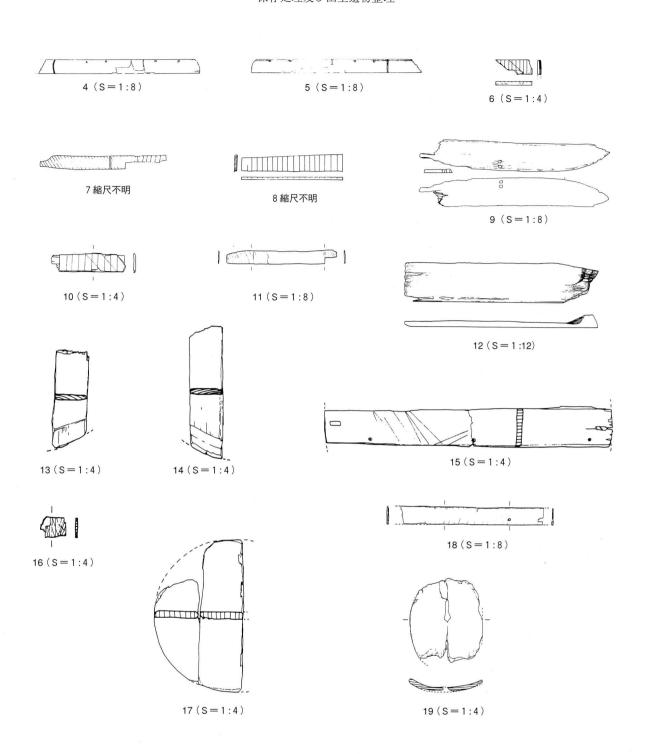


図10 容器類実測図(2)

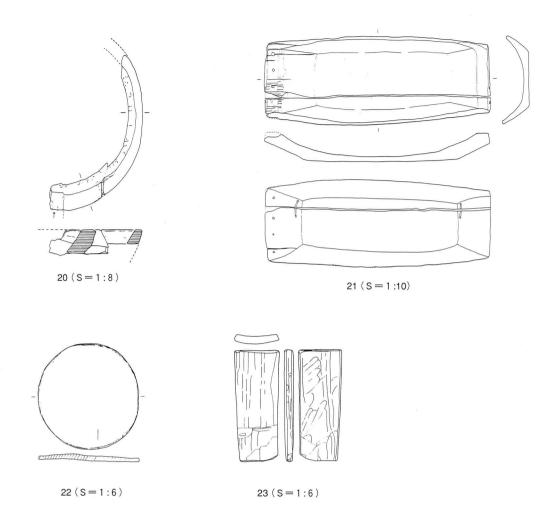


図11 容器類実測図(3)

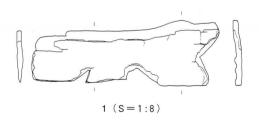


図12 楽器類実測図





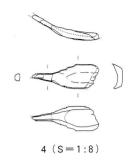
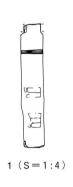


図13 食事具類実測図





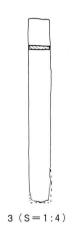
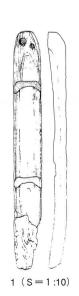
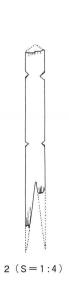
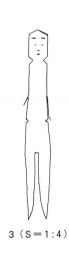
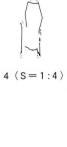


図14 木簡類実測図









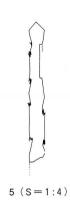




図15 祭祀具類実測図(1)

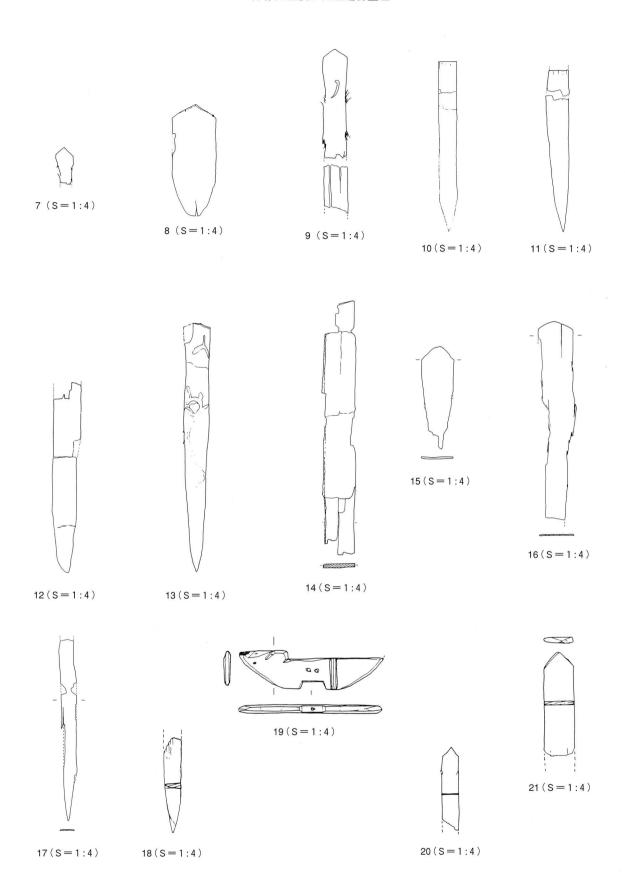


図16 祭祀具類実測図(2)

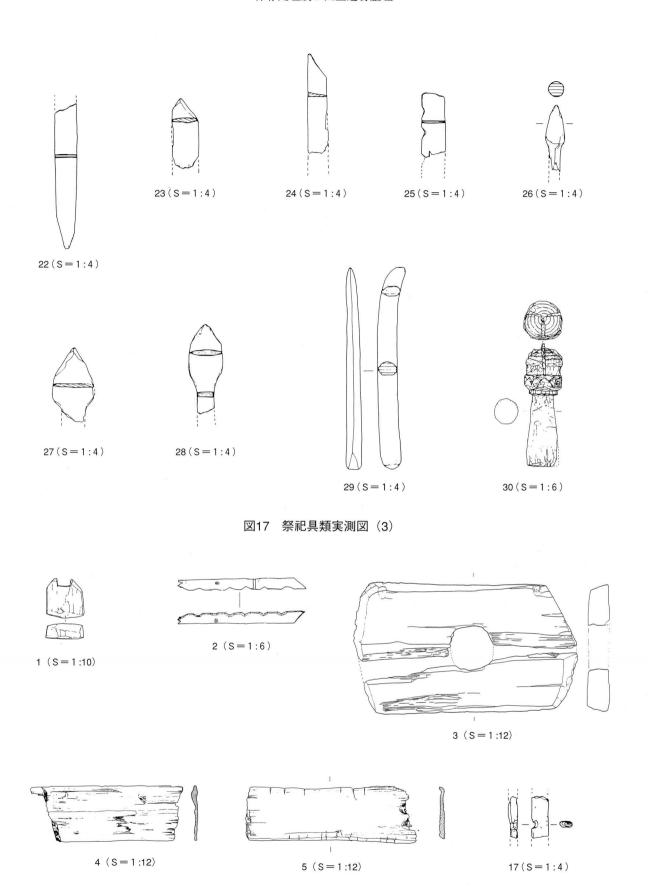


図18 雑具類実測図

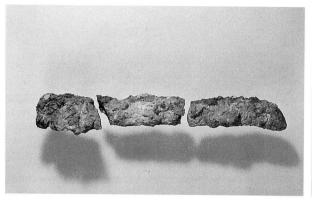


写真 1 来住町遺跡 8 次調査地出土鉄鎌(処理前)



写真 2 来住町遺跡 8 次調査地出土鉄鎌 (処理後)

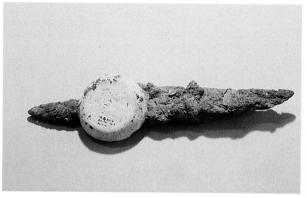
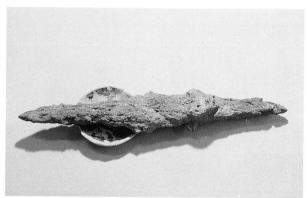


写真 3 久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀(持ち込み状況) 写真 4 久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀(持ち込み状況)



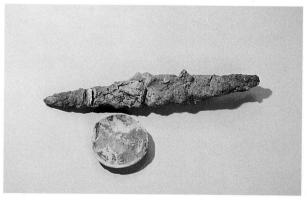


写真 5 久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀(土器切り離し状況) 写真 6 久米高畑遺跡32次調査地出土鉄刀 (クリーニング後)

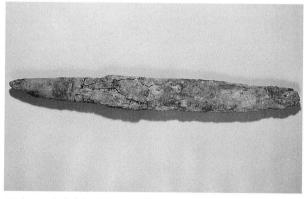




写真7 辻遺跡出土鍔(処理前)

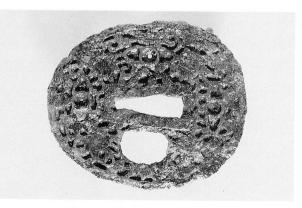


写真8 辻遺跡出土鍔(処理後)



写真 9 船ヶ谷遺跡 4 次調査地出土獣骨(処理前)



写真10 船ヶ谷遺跡 4 次調査地出土獣骨(処理後)



写真11 北梅本北池遺跡出土獣歯(処理前)

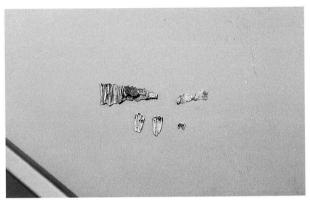


写真12 北梅本北池遺跡出土獣歯(処理後)



写真13 船ヶ谷遺跡 4 次調査地井戸木製遺物出土状況



写真14 遺物取上げ作業(船ヶ谷遺跡4次調査地井戸)



写真15 土層剥ぎ取り作業(船ヶ谷遺跡4次調査地にて)

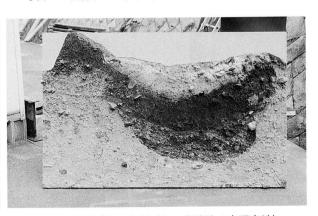


写真16 剥ぎ取り土層(船ヶ谷遺跡4次調査地)

保存処理事業Ⅱ

当センターでは、金属製品の保存処理や科学分析、植物遺体の自然科学分析等で、外部委託を行っている。

1. 青銅鏡

天山古墳出土鏡は保存処理と科学分析を京都造形芸術大学文化財保存科学研究室に、鷹ノ子町遺跡 出土鏡は保存処理と復元を(㈱京都科学に各々依頼した。

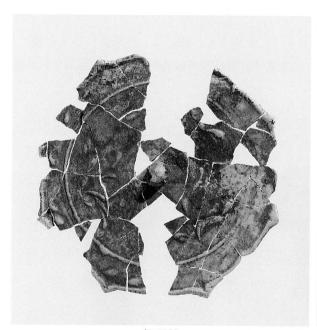
2. 青銅製品

松山大学構内遺跡出土銅鏃 2 点・銅鈴 1 点、南江戸客谷遺跡出土貨銭 1 点、樽味立添遺跡出土貨銭 1 点、五郎兵衛谷 1 号墳出土三塁環頭金具 1 点、来住廃寺跡出土金銅片 1 点は側元興寺文化財研究所に保存処理を委託した。また、各種の X 線撮影も同所に依頼した。

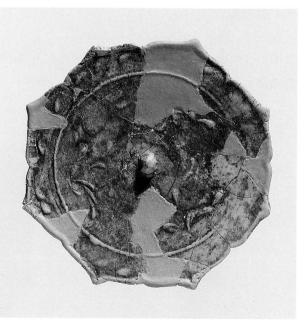
3. 植物遺体

樹種・種子・果実の自然科学分析は㈱古環境研究所に委託依頼している。

(梅木)



処理前



処理後

写真17 鷹ノ子町遺跡1次調査地出土の八稜鏡

朝日谷2号墳出土の線刻鉄鏃

1. 経 緯

朝日谷2号墳は、平成元年(1989年)に発掘調査をし、平成10年3月に報告書(松山市文化財調査報告書第63集)を刊行している。その後は保管、展示、館外貸し出し等のために保存処理および科学分析を行う。この過程で、鉄鏃22点のうち「サビ落とし」を実施した11点のなかに、線刻をもつ鉄鏃2点を確認した。平成12年度は、愛媛大学法文学部村上恭通氏の指導をうけ、類例調査をする。

2. 古墳の概要 (所在:松山市朝日ヶ丘1丁目、現在は松山市総合公園)

古墳は、丘陵の尾根線上、標高71mに立地する。古墳時代初頭(3世紀後半)の前方後円墳、全長26m、後円部径16m。後円部には主体部2基、中央のA主体部には棺内に82点の副葬品をもつ。青銅鏡2点、銅鏃44点、鉄鏃22点、直刀1点、短剣(槍先)5点、鉄斧1点、ガラス小玉4点等がある。

松山平野で最古、西日本でも最古級に位置づけられる。瀬戸内海を眺望し、小型にもかかわらず多種多様の副葬品を持つことを特徴とする。

3. 線刻鉄鏃

鉄鏃83:鉄鏃本体の大きさは長さ $4.7 \, \text{cm}$ 、最大幅 $1.9 \, \text{cm}$ 、厚さ $3 \, \text{mm}$ 、重さ $3.6 \, \text{g}$ である。鏃身の下半部の両面には、円形とその中央に凹み状の線刻をもつ。円形の大きさは直径 $6 \, \text{cm}$ 、溝幅 $0.8 \, \text{cm}$ 、深さ $1 \, \text{cm}$ で、凹みの大きさは直径 $2 \, \text{cm}$ 、深さ $1 \, \text{cm}$ である。

鉄鏃72:鉄鏃本体の大きさは長さ5.4 cm、最大幅1.7 cm、厚さ4 mm、重さ5.4 gである。鏃身の下半部の片面には、凹み状の線刻をもつ。ただし、線刻が未確認の面は遺存が悪く、その有無は判断できない。凹みの大きさは直径3 mm、深さ1 mmである。

4. 所 見

線刻は、観察では鏨状のもので刻印したようにも見える。線刻をもつ鉄鏃は、宮崎県に分布が濃く、 古墳時代中期(5世紀)のものが知られているが、古墳時代前期の資料は初例となる。線刻された鉄 製武器としても、国内最古とみられる。(梅木)

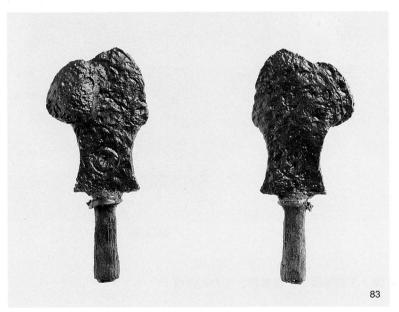




写真18 朝日谷2号墳出土の線刻鉄鏃

絵画・線刻土器一覧

1.調査の概要

掲載資料は、報告書に掲載している遺物を基本にし、現在整理中の遺物も許される限り取り上げ、 未整理の遺跡出土資料は除外した。

調査は、まず報告書や文献で調べ、つぎに各調査員に対象資料の有無や所属時期の確認等をした。 つづいて資料と実測図を一括管理し、未実測品は極力実測を作成し、法量の数量化に努めた。

2. 一覧表について(凡例を含む)

- 1)遺跡名は、本報告の名称を使用している。
- 2) 絵画・記号の認定は春成秀爾氏、橋本裕行氏の指導と助言を得て、梅木が判断した。(梅木)

掲載文献

森 光晴 1983 『国道11号バイパス 福音寺・星ノ岡・北久米遺跡』松山市文化財調査報告書第17集

宮崎泰好 1991 『祝谷六丁場遺跡』松山市文化財調査報告書 第24集

梅木謙一 1992 『桑原地区の遺跡』松山市文化財調査報告書 第26集

栗田茂敏 1992 『文京遺跡-第2・3・5次調査-』松山市文化財調査報告書 第28集

西尾幸則 1993 『来住廃寺遺跡-第15次調查報告書-』松山市文化財調查報告書 第34集

田城武志·高尾和長 1994 『東山古墳群-4·5次調査-』松山市文化財調査報告書 第41集

梅木謙一 1994 『来住・久米地区の遺跡Ⅱ』松山市文化財調査報告書 第44集

梅木謙一・宮内慎一 1994 『桑原地区の遺跡Ⅱ』松山市文化財調査報告書 第46集

宮内慎一 1995 『松山大学構内遺跡Ⅱ-第3次調査-』松山市文化財調査報告書 第49集

梅木謙一·武正良浩 1995 『福音小学校構内遺跡-弥生時代編-』松山市文化財調査報告書第50集

河野史知·相原浩二 1995 『辻町遺跡-2次調査地-』松山市文化財調査報告書 第51集

梅木謙一 1996 『福音寺地区の遺跡-筋違C・D・E・F・G・H・I・川附-』松山市文化財調査報告書 第52集

栗田正芳 1996 『古照遺跡-第8・9次調査-』松山市文化財調査報告書 第53集

高尾和長 1996 『東本遺跡 4 次調査·枝松遺跡 4 次調査』松山市文化財調査報告書 第54集

河野史知 1997 『桑原地区の遺跡Ⅲ』松山市文化財調査報告書 第58集

梅木謙一 1997 『中村松田遺跡』松山市文化財調査報告書 第59集

髙尾和長 1997 『釜ノ口遺跡Ⅱ-6・7・8次調査-』松山市文化財調査報告書 第60集

梅木謙一 1998 『石井・浮穴の遺跡』松山市文化財調査報告書 第65集

高尾和長 1999 『船ヶ谷遺跡-2次調査-』松山市文化財調査報告書 第70集

宮内慎一 1999 『岩崎遺跡』松山市文化財調査報告書 第71集

加島次郎 1999 『乃万の裏遺跡-2次調査地-』松山市文化財調査報告書 第72集

河野史知 2000 『古市遺跡・下苅屋遺跡-2・3次調査-』松山市文化財調査報告書 第75集

吉岡和哉 2000 『大渕遺跡-3次調査-』松山市文化財調査報告書第78集

梅木謙一 2001 『東雲神社遺跡』松山市文化財調査報告書 第79集

梅木謙一 2001 『斎院の遺跡Ⅱ』松山市文化財調査報告書 第80集

西尾幸則 1989 『松山市埋蔵文化財調査年報 Ⅱ』

栗田茂敏 1991 『松山市埋蔵文化財調査年報 Ⅲ』

(註) 松山市南江戸町発見の絵画土器は、後世の線刻と判断されている。資料は松山市から個人へ返却している。 柴村敬次郎 1956「絵画ある土器片」『私たちの考古学9』 考古学研究会 表16 絵画・記号土器所蔵一覧

(1)

表16	絵画・記号土器	<u>叶</u> 戴一覧		***/****						(1)
番号	遺跡名	出 土 地	器種	部 位	絵画	記号	不明	形状	時 期	文献
1	祝谷六丁場	2区	壺	肩部	0			鹿	弥生中期中葉	『祝谷六丁場遺跡』第24集 図版45-903
2	祝谷六丁場	1区	壺	胴部	0			太陽?	弥生中期中葉	未報告
3	祝谷六丁場	3区	壺			0			弥生中期中葉	未報告
4	文京3次	SB1		胴部	0			家か鹿	弥生中期後葉	『文京遺跡』 2・3・5 次 第28集-182
5	文京3次	包含層	壺	胴部	0			鹿	弥生中期後葉~後期初頭	『文京遺跡』 2·3·5次 第28集-477
6	文京 3 次	包含層	壺	胴部	0			家	弥生中期後葉~後期初頭	『文京遺跡』 2·3·5次 第28集-478
7	文京 3 次	包含層	壺	胴部	0			鹿	弥生中期後葉~後期初頭	『文京遺跡』 2·3·5次 第28集-479
8	文京 3 次	ベルト	壺	胴部			0			未報告
9	文京2次	包含層	壺	胴部			0	竹管+線刻		未報告
10	松山大学構内3次	S X 3	壺	胴部		0		波状文	弥生後期末	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1240
11	松山大学構内3次	S B 21	壺	胴下部			0	木ノ葉状	弥生	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-146
12	松山大学構内3次	S B 10	壺	肩部		0			弥生後期	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-355
13	松山大学構内3次	第V層	鉢	体部			0	線刻		『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-413
14	松山大学構内3次	S X 2	壺	底部		0			弥生後期末	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-613
15	松山大学構内3次	SR2(②区)	壺	底部		0			弥生後期	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-957
16	松山大学構内3次	埋土 2	鉢	体部	0			線刻(竜?)	弥生後期	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1110
17	松山大学構内3次	SR1上層(③区P11)	壺	胴部		0			弥生後期前葉	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1135
18	松山大学構内 3 次	SR1上層(③区P11)	壺	肩部			0	線刻(ネックレス状)	弥生後期前葉	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1137
19	松山大学構内 3 次	S X 3	壺	肩部		0		波状文	弥生後期末	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1266
20	松山大学構内3次	S X 3	壺	肩部			0	線刻	弥生後期末	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1267
21	松山大学構内 3 次	SR1上層	壺	胴部			0		弥生後期前葉	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1431
22	松山大学構内 3 次	SR1下層	壺	胴下部			0		弥生中期後葉	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1572
23	松山大学構内3次	Eベルト下層上部	壺	胴部	10			鹿	弥生中期後葉~後期初頭	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1629
24	松山大学構内3次	S R 1 (②区)	甕	底部		0			弥生中期後葉~後期前半	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1743
25	松山大学構内3次	SB4		胴部			0		古墳後期後半~末	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1931
26	松山大学構内3次	表採	壺	胴部		0				『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-2045
27	松山大学構内3次	SR1(②区)	壺	胴下部		0			弥生後期	『松山大学構内遺跡Ⅱ』第49集-1754
28	若草町1次	SB2	壺	肩部		0			弥生後期末~古墳初頭	『松山市埋蔵文化財調査年報Ⅲ』図8
29	若草町1次		壺	肩部	-	0			弥生後期末~古墳初頭	整理中
30	若草町1次		壺	胴部			0		弥生後期末~古墳初頭	整理中
31	若草町1次	S B 21	壺	頸部内面		0			弥生後期末~古墳初頭	整理中
32	若草町1次	S K17	壺	胴部	10			竜?・他	弥生後期末~古墳初頭	『松山市埋蔵文化財調査年報Ⅲ』図8
33	福音小学校構内	S K29	壺	胴部		0		キザミ	弥生中期後半	『福音小学校構内遺跡』第50集-14
34	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		列点	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-163
35	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		列点	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-164
36	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		列点	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-165
37	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0	-	列点	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-166
38	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	+	0?		7 - 7 - 7 - 7	弥生後期	『福音小学校構內遺跡』第50集-181
39	福音小学校構内	土器溜り	壺	口~頸部	3	0	+		弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-189
40	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部	-	10			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-186
41	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部	+	0	-		弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-187
42	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部	+	0	-		弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-239
43	福音小学校構内	土器溜り	壺	月部 肩部		0	+		弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-240
43	福音小学校構內	土器溜り	壺	肩部	-	10			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-241
		土器溜り	壺	肩部					弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-242
45	福音小学校構内		壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-243
46	福音小学校構内	土器溜り				-			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』第50集-244
47	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部					7小生1久粉	11田日小十八件「凤颐」 为50米 244

絵画・記号土器所蔵一覧

(2)

	絵画・記号土器	<u></u>		,								(2)
番号	遺跡名	出土地	器種	部 位	絵画	記号	不明	形状	時 期	文	献	
48	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-245
49	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-246
50	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-247
51	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-248
52	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-249
53	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-250
54	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-251
55	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-252
56	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-253
57	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	0			半截竹管工具	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-254
58	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	0			による線刻	弥生後期 同一個体?	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-255
59	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	0			による歌烈	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-256
60	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0?		線刻	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-257
61	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	0				弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-258
62	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部	0			渦文	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-259
63	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	0			竜?	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-260
64	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部			0	線刻?	弥生後期	『福音小学校構內遺跡』	第50集-	-261
65	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0		線刻	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-262
66	福音小学校構内	土器溜り	壺	肩部		0		線刻	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-263
67	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		線刻	弥生後期 🖫 🖫 🗸 🖫	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	-264
68	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		線刻	弥生後期 同一個体?	「福音小学校構内遺跡」	第50集-	-265
69	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		列点	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	·266
70	福音小学校構内	土器溜り	器台	受部		0		,	弥生後期	『福音小学校構内遺跡』	第50集-	 ·373
71	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
72	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告	~~	
73	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
74	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
75	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
76	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
77	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
78	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部					弥生後期	未報告		
79	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
80	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		***************************************	弥生後期	未報告		
81	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告	Market and a second	
82	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
83	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
84	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		***************************************	弥生後期	未報告		
85	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
86	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
87	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
88	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
89	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
90	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
91	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		-	弥生後期	未報告		
92	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部								
93	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
94	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		
95	福音小学校構内	土器溜り						niv vita a	弥生後期	未報告		
30	田日小子(以傳门	上位曲り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告		

絵画・記号土器所蔵一覧

(3)

W	経囲・記号工命	ľ	po rac	3-11 LL	T 44 ==	= 1	DD	mrz dh	11-1- 11-11	(3,
番号	遺跡名	出土地	器種	部位	絵画	記号	不明	形 状	時期	文献
96	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
97	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
98	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	-	0			弥生後期	未報告
99	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0		~~~~	弥生後期	未報告
100	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部					弥生後期	未報告
101	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
102	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
103	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
104	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
105	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
106	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
107	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
108	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
109	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
110	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
111	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
112	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
113	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
114	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
115	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
116	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
117	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
118	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
119	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
120	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
121	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
122	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	1	0			弥生後期	未報告
123	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
124	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
125	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
126	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
127	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
128	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		0			弥生後期	未報告
129	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	1	0			弥生後期	未報告
130	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部					弥生後期	未報告
131	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部					弥生後期	未報告
132	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部					弥生後期	未報告
133	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		<u> </u>	0		2.4	未報告
134	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	1		0			未報告
135	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部		-	0			未報告
136	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部			0			未報告
137	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	-		0			未報告
138	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴部	+		0			未報告
					-	<u></u>				
139	福音小学校構内	土器溜り	壺	胴下部	+	10		会白 ナコ	产生盆地 盆華	未報告 『カモの東海跡』第72年 - 65
140	乃万の裏2次	S D10	壺	胴下部		10		線刻	弥生後期後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-65
141	乃万の裏2次	S D 10	壺	胴下部				線刻	弥生後期後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-66
142	乃万の裏2次	S D 10	壺	胴下部			0	線刻	弥生後期後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-67

絵画・記号土器所蔵一覧

(4)

番号	遺跡名	出土地	器種	部 位	绘画	記号	不明	形状	時期	文 献
144	乃万の裏2次	S X 5	壺	胴部	AUGA ICI	0	1 93	線刻	弥生後期中葉~後葉	
145	乃万の裏2次	SX5	壺	胴部		0		線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-224
146	万万の衰 2 次 乃万の裏 2 次	SX5	壺	胴部		0		線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-225
147	乃万の裏2次	SX5	壺	胴部			0	110001	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-226
148	乃万の裏2次	SX5	壺	胴部			0	線刻 同一	<u>弥生後期中葉~後葉</u>	『乃万の裏遺跡』第72集-227
149	乃万の裏2次	S X 5	壺	胴部			0	線刻?	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-228
150	乃万の裏2次	S X 5	壶	胴下部		0		線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-230
151	乃万の裏2次	S X 5	壺	胴下部		0		線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-231
152	乃万の裏2次	S X 5	壺	胴下部		0		線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-233
153	乃万の裏2次	S X 5	壺	胴下部			0	線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-234
154	乃万の裏2次	S X 5	壺	胴下部		0		線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-235
155	乃万の裏2次	S X 5	壺	底部			0	線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-236
156	乃万の裏2次	S X 5	壺	胴下部		0		線刻	弥生後期中葉~後葉	『乃万の裏遺跡』第72集-239
157	乃万の裏2次	S D 10	壺	胴部		0		施文+線刻	弥生後期	『乃万の裏遺跡』第72集-57
158	乃万の裏2次	S D10	壺	胴下部		0		線刻	弥生後期	『乃万の裏遺跡』第72集-66
159	筋違E	SK7	甕	肩部		0		線刻	古墳中期後半	『福音寺地区の遺跡』第52集-42
160	筋違F	SB5	壺	口縁部			0	線刻	弥生後期後葉	『福音寺地区の遺跡』第52集-85
161	筋違F	SB5	壺	胴部			0	線刻	弥生後期後葉	『福音寺地区の遺跡』第52集-90
162	筋違F	SB5	壺	胴部			0	線刻	弥生後期後葉	『福音寺地区の遺跡』第52集-144
163	筋違H	不明	壺	胴部			0	線刻		『福音寺地区の遺跡』第52集-119
164	川附	SD5	壺	胴部			0	線刻	弥生後期後葉 同	『福音寺地区の遺跡』第52集-36
165	川附	SD5	壺	胴部			0	線刻	弥生後期後葉 個体	『福音寺地区の遺跡』第52集-37
166	川附	SD5	壺	胴部			0	線刻	弥生後期後葉	『福音寺地区の遺跡』第52集-38
167	川附	SD5	壺	胴部			0	線刻	弥生後期後葉	『福音寺地区の遺跡』第52集-39
168	川附	SD5	壺	胴部			0	刺突	弥生後期後葉	『福音寺地区の遺跡』第52集-40
169	川附	SD5	壺	底部		0		線刻	弥生後期後葉	『福音寺地区の遺跡』第52集-41
170	東本2次	S B 01	壺	底部		0		線刻	弥生後期	『東本・枝松4次調査』第54集-42
171	東本4次	S B 203	壺	胴部		0		竹管文	弥生後期末	『東本·枝松4次調査』第54集-31
172	東本4次	S B 302	壺	胴部		0		線刻	弥生後期末	『東本·枝松4次調査』第54集-250
173	束本4次	S B 302	壺	底部		0		線刻	弥生後期末	『東本・枝松4次調査』第54集-251
174	東本4次	S B 602	壺	胴部		0		竹管文	弥生後期後葉~末	『東本・枝松4次調査』第54集-680
175	天山2号墳	トレンチ	壺	肩部	0			線刻		整理中
176	天山2号墳	北東部	壺	胴部	0			竜		整理中
177	天山2号墳	トレンチ	壺	胴部			0	線刻		整理中
178	東山古墳 5 次	S D 3	壺	肩部		0		線刻	弥生後期	『東山古墳群』 4 · 5 次 第41集-262
179	石井幼稚園2次	S K 2	壺	胴部			0	線刻	弥生後期前半	『石井・浮穴の遺跡』第65集-4
180	石井幼稚園2次	S K 2	壺	胴部			0	線刻	弥生後期前半	『石井・浮穴の遺跡』第65集-8
181	中村松田1次	S B 4	壺	胴部			0	線刻	弥生後期後葉	『中村松田遺跡』第59集-87
182	中村松田1次	S B 4	壺	肩部		0		線刻	弥生後期後葉	『中村松田遺跡』第59集-88
183	桑原田中	SD9	甑	底部		0		線刻	弥生後期	『桑原地区の遺跡』第26集-53
184	桑原田中	SD2	壺	底部		0		線刻	弥生後期	『桑原地区の遺跡』第26集-54
185	樽味立添	S X 2	壺	肩部		0		刺突	弥生後期後葉	『桑原地区の遺跡』第26集-135
186	樽味立添	S X 2	壺	肩部		0		刺突	弥生後期後葉	『桑原地区の遺跡』第26集-136
187	樽味高木 3 次	第IV層	壺	肩部	0			舟	弥生後期	『桑原地区の遺跡Ⅱ』第46集-P82
188	樽味高木 4 次	SR3	壺	口縁部			0	線刻	弥生後期	『桑原地区の遺跡Ⅲ』第58集-53
189	星ノ岡北下	S B 03	壺	胴部			0	線刻	弥生後期	『国道11号バイパス』第17集-1
190	星ノ岡北下		壺	胴部			0	線刻	弥生後期	『国道11号バイパス』第17集-5
191	星岡登立	SD2	壺	胴部			0	線刻	弥生後期	未報告

絵画·記号土器所蔵一覧

(5)

	絵画・記号土器	7/成 見							T	(5)
番号	遺跡名	出土地	器種	部 位	絵画	記号	不明	形状	時 期	文献
192	竹ノ下	拡張区	壺	肩部		0		線刻		未報告
193	久米高畑43次	掘立001	壺	肩部	0			鹿	弥生中期後葉	整理中
194	宮前川	1区6層	壺	胴部	0			家?		未報告
195	桑原高井1次	S B 02	壺	肩部			0	線刻	弥生後期	『東本·枝松4次調査』第54集-131
196	桑原高井1次	S D 02	壺	胴部			0	線刻	弥生後期	『東本・枝松4次調査』第54集-238
197	来住廃寺15次	第VI層	壺	肩部		0		線刻	弥生中期後葉	『来住廃寺遺跡』15次 第34集-229
198	来住廃寺15次	第VI層	壺	肩部		0		線刻	弥生中期後葉	『来住廃寺遺跡』15次 第34集-232
199	久米高畑22次	SA1 (SP16)	壺	胴部	0			鹿	弥生中期後葉	整理中
200	久米高畑25次	SD2(3層)	壺	胴部		0		線刻	弥生前期後半	整理中
201	西石井	P 1	壺	胴部			0	線刻		未報告
202	西石井荒神堂	DK1	壺	口縁部		0		半截竹管	弥生後期終末	『石井・浮穴の遺跡』第65集-93
203	石井東小学校構内	不明	壺	口縁部		0		直弧文	弥生後期	『石井・浮穴の遺跡』第65集-362
204	辻町2次	SB2 (カマド内)	甕	肩部		0		線刻	古墳時代(5 c 後半)	『辻町遺跡』 2 次 第51集-291
205	辻町2次	S X 2	甕	肩部		0		線刻	古墳時代(6 c)	『辻町遺跡』 2 次 第51集-108
206	古照8次	SD1	甕	肩部		0		刺突	古墳時代(4 c)	『古照遺跡』 8 · 9 次 第53集-541
207	古照8次	SD1	甕	肩部		0		刺突	古墳時代 (4 c)	『古照遺跡』 8 · 9 次 第53集-542
208	古照8次	SD1	甕	肩部		0		刺突	古墳時代(4 c)	『古照遺跡』 8 · 9 次 第53集-536
209	古照8次	SD1	壺	肩部		0		竹管	古墳時代(4 c)	『古照遺跡』8 · 9 次 第53集-566
210	古照8次	SD1	壺	肩部		0		 竹管	古墳時代	『古照遺跡』8 · 9 次 第53集-568
211	釜ノ口4次		壺	肩部		0		線+刺突	弥生後期	整理中
212	釜ノ口6次		壺	胴部		0				『釜ノ口遺跡Ⅱ』6・7・8次 第60集-68
213	小坂2丁目	C-5	壺	肩部		0		竹管		整理中
214	小坂2丁目	C - 5 - 1	壺	胴部		0		線刻		整理中
215	古市1区	S R 01 10層	壺	底部		0		線刻	弥生前期末	『古市・下苅屋遺跡』第75集-129
216	船ヶ谷2次	SR1 第4地点	壺	肩部		0		線刻	古墳時代	『船ヶ谷遺跡』 2次 第70集-9
217	船ヶ谷2次	SR1 グリッド	甕	肩部		0		線刻	古墳時代	『船ヶ谷遺跡』 2次 第70集-41
218	船ヶ谷2次	SR1 グリッド	甕	肩部		0		線刻	古墳時代	『船ヶ谷遺跡』 2 次 第70集-53
219	船ヶ谷2次	SR1 第10地点	甕	肩部		0		列点	古墳時代(5 c 前半)	『船ヶ谷遺跡』 2 次 第70集-23
220	岩崎	V区 第VI層	壺	肩部		0		竹管	弥生中期後半~後期	『岩崎遺跡』第71集-V412
221	岩崎	VI区 第V層	壺	底部		0		線刻	弥生後期	『岩崎遺跡』第71集 - VI 570
222	大渕 3 次	SR7	壺	底部		0		線刻	古墳前期初頭	『大渕遺跡』 3 次 第78集-143
223	津田中学校構内1次	X 3 Y 3	壺	胴部			0	線刻	弥生後期	『斎院の遺跡Ⅱ』第80集-418
224	津田中学校構内1次	2号土器群	壺	肩部		0		線刻	弥生終末	『斎院の遺跡Ⅱ』第80集-271
225	伊台惣部	SX1	壺	胴部	0			鹿	弥生中期中葉	『松山市埋蔵文化財調査年報Ⅱ』
226	拓南中学校	S K 3	壺	胴部		0		線刻	弥生後期	整理中
227	素鵞小学校	E1NSベルト	壺	胴部		0		線刻		整理中
228	祝谷		壺	胴部		0		列点		未報告
229	久米高畑35次	S B 2	甕	胴部		0		線刻	弥生後期	整理中
230	東雲神社	A地点	壺	胴部	0			鹿(細線刻)	弥生中期後葉	『東雲神社遺跡』第79集-28
231	筋違C	SB2	甕	肩部		0		線刻	古墳時代(5 c 末)	『福音寺地区の遺跡』第52集-85
232	筋違C	包含層	壺	底部		0		線刻	弥生後期	『福音寺地区の遺跡』第52集-138
233	久米窪田森元3次	SD2	甕	肩部		0		線刻	古墳後期(6 c後半)	『来住・久米地区の遺跡Ⅱ』第44集-1
234	筋違L	SB5内SK3	壺	胴部		0		線刻	弥生後期	整理中
235	筋違L	SB7	壺	口縁部		0		線刻		整理中
236	筋違し					0		線刻		整理中
237	樽味四反地 6 次	S D001	壺	頸部		0		直弧文		整理中
238	東本5次	SB3	壺	胴部			0	線刻	弥生後期	整理中
408		i .	1			f .	\longrightarrow		1	1

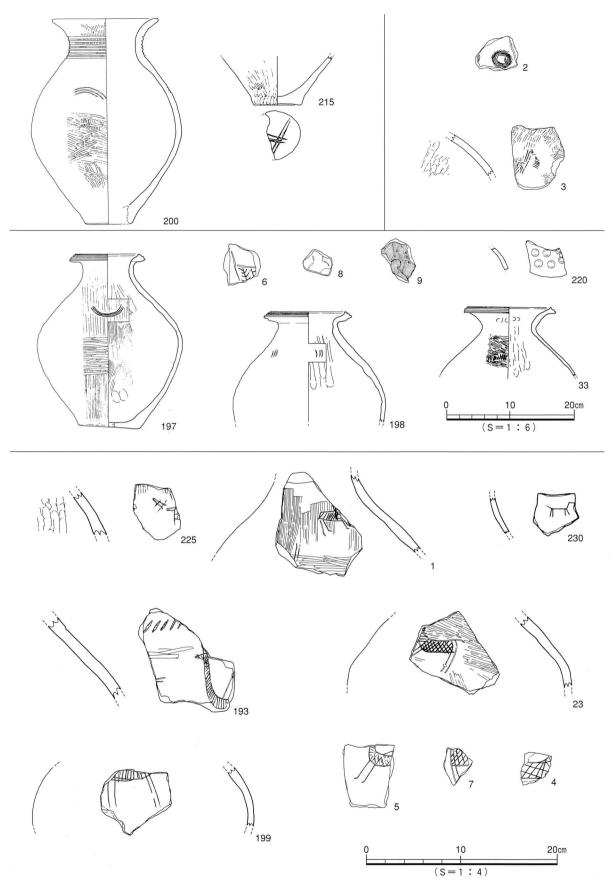


図19 弥生時代前期末~中期の絵画・線刻土器

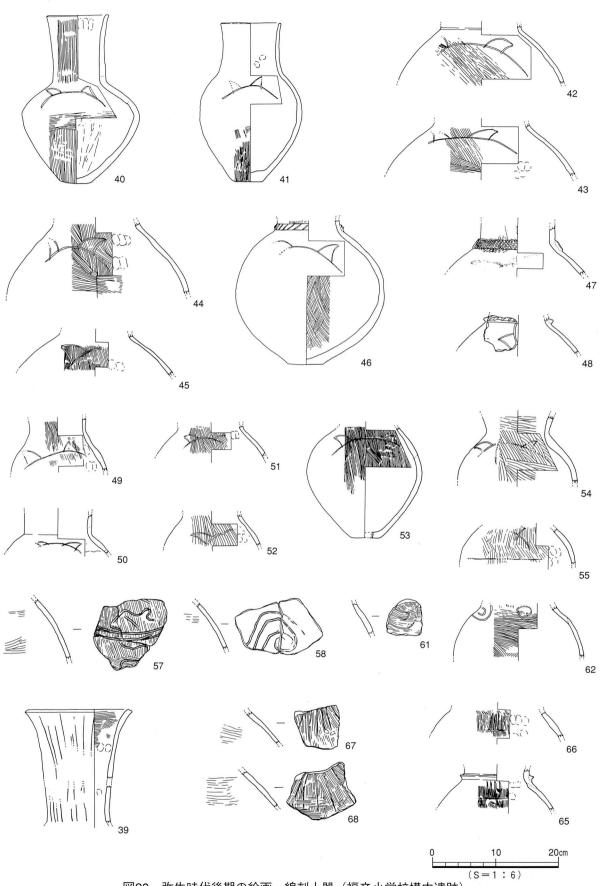


図20 弥生時代後期の絵画・線刻土器(福音小学校構内遺跡)

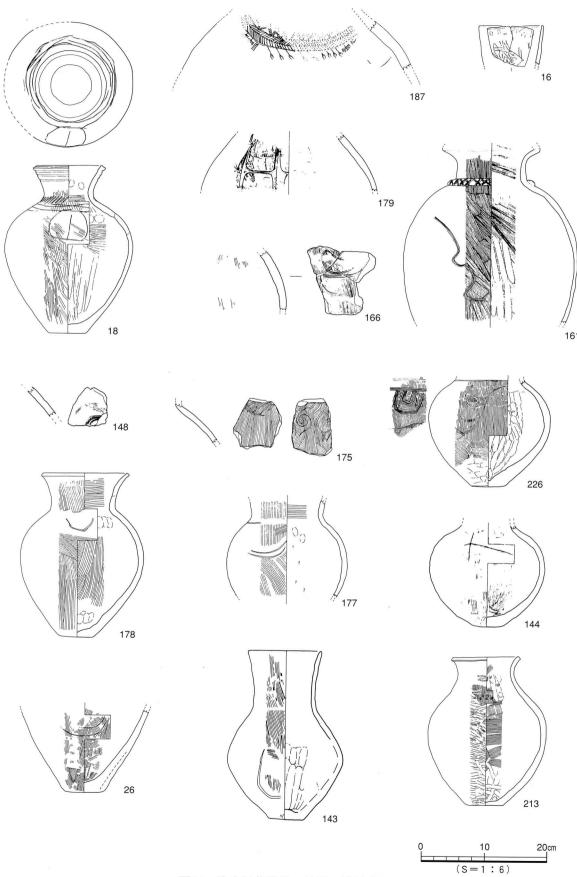


図21 弥生時代後期の絵画・線刻土器

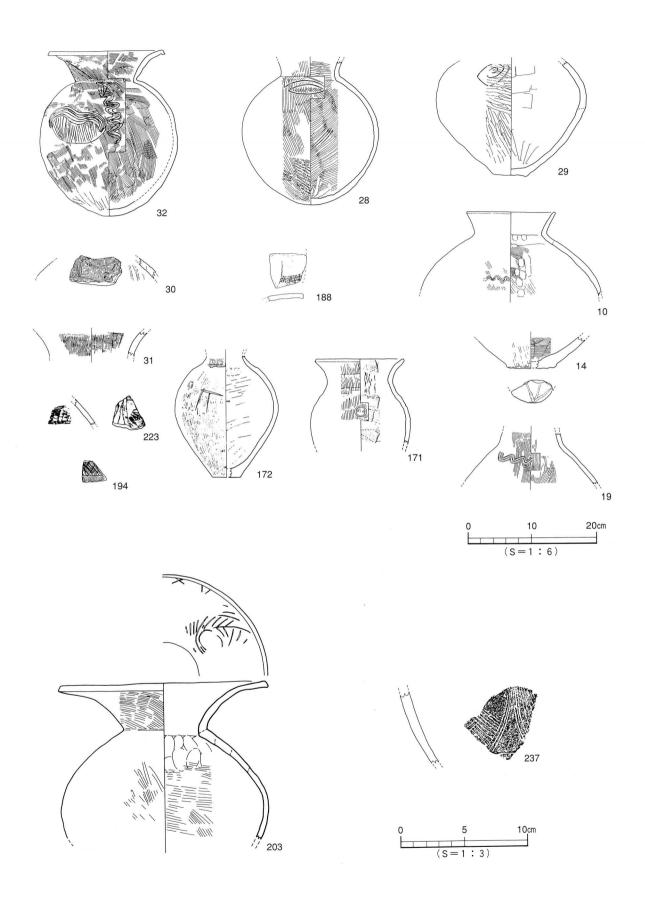


図22 弥生時代後期末~古墳時代初頭の絵画・線刻土器

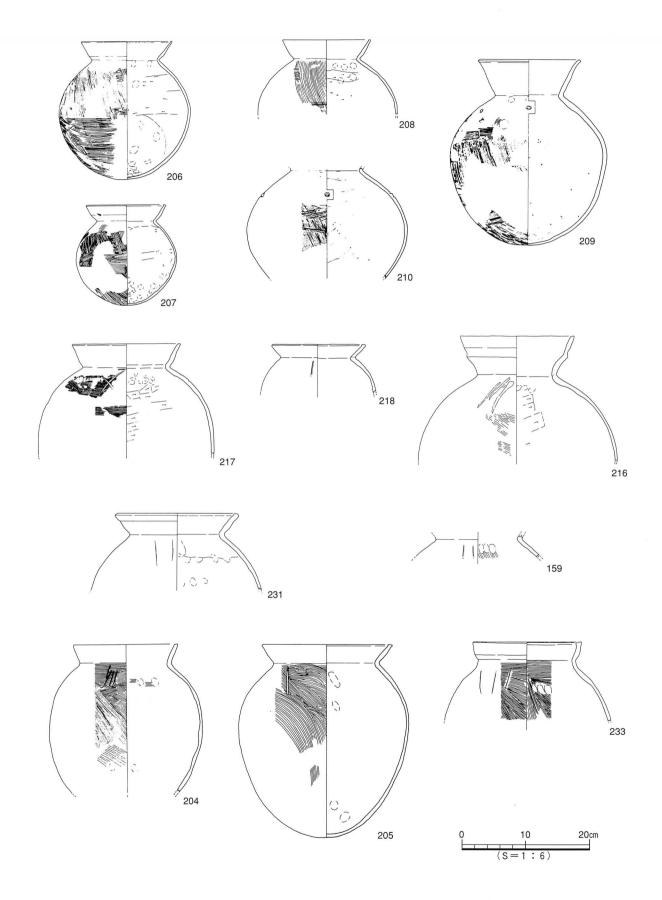


図23 古墳時代の線刻土器

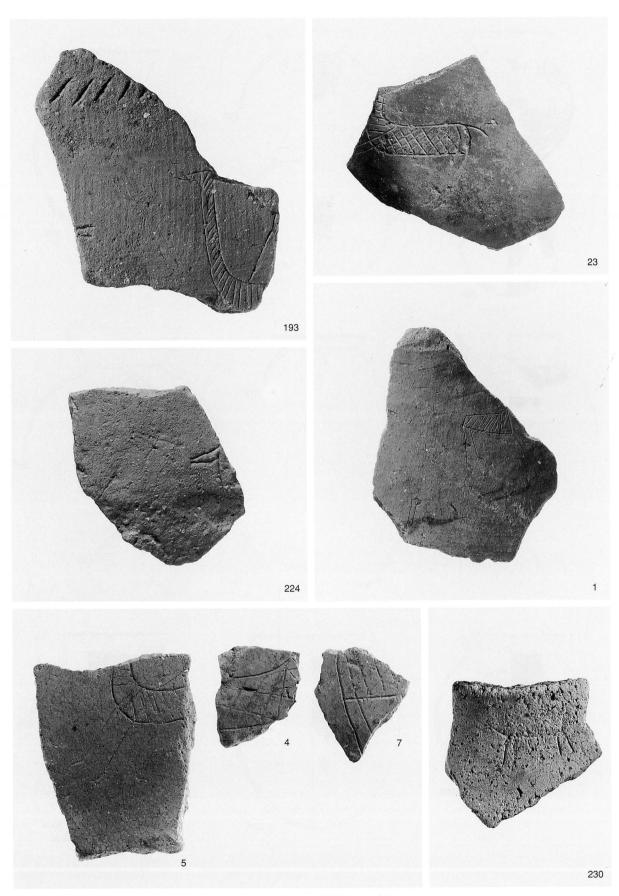


写真19 絵画・線刻土器(1)

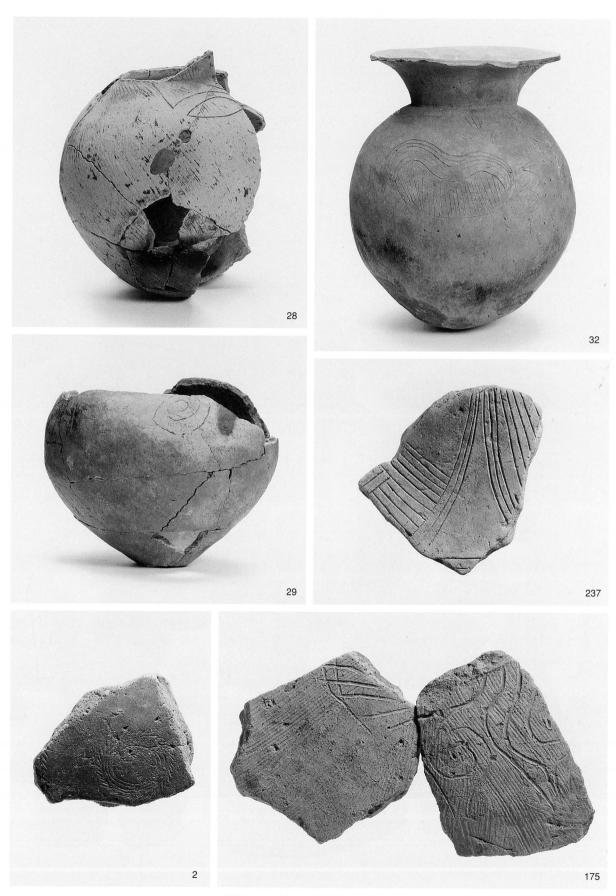


写真20 絵画・線刻土器(2)



写真21 絵画・線刻土器(3)

(福音小学校構内遺跡)

<補遺>船ヶ谷遺跡3次調査地出土曲物の保存処理について

(財) 元興寺文化財研究所

1 はじめに

本報告は、『船ヶ谷遺跡─3次調査地─』に記したW─I保存処理の続編である。前稿は処理期間の関係で含浸終了までの報告となった。以下、矯正から保存処理終了までの工程について述べる。

2 保存処理

(6)矯正

曲物の保存処理では、天然樹脂含浸・自然乾燥の後、曲物本来の形状に復元するため、矯正作業を 行う。

曲物Cは前述したように、ほぼ完形で状態は非常に良好であり、矯正の必要はなかった。

しかし曲物Bは全体に劣化しており、非常に脆弱であった。そのため含浸後の自然乾燥中、一部自重で崩れた箇所がみられた。深すぎるケビキが災いしたものと思われた。現状確認の後、処理前調査・写真などに基いて全体の形状を把握し、ステンレスの矯正枠を製作した。曲物本体に水蒸気を当てたり、各破片を熱水にくぐらせたりした後、矯正枠に固定し、乾燥させながら矯正した。この方法は、天然樹脂特有の粘りを付与した曲物に、水分・熱を加えることによって木材そのもの、および樹脂の可撓性・柔軟性をより高めることが出来るというAXR法の特長を利用している。

矯正終了後、木材らしい質感を出すため、ポリエチレングリコール水溶液を塗布した。

(7)接着

接着可能な破片をシアノアクリレート系接着剤で接着し、全体のバランスを考慮しながら本来の形状に組み上げた。

(8) 補填·整形

接着した部分と、強度的に問題のある欠損部には、エポキシ系接着剤にガラスマイクロバルーンを 混ぜたものを補填した。

補填部分が硬化した後、木目・木肌の特徴を考慮した上で、グラインダーを用いて整形した。

(9)補彩

補填部分をアクリル樹脂絵の具を用いて補彩した。やはり木目・木肌を考慮して、少し離れて見て 違和感のない程度に仕上げた。

(10) 処理後調查

保存処理後の点検・確認し、写真撮影による記録を行った。

(11) 遺物の返却

薄葉紙・生綿を用いた美術梱包を行い、平成12年9月7日返却した。これにより保存処理を完了した。 3 おわりに

AXR法で処理した遺物は比較的温湿度の変化による影響が少ない。しかし、接着剤や絵の具等の 劣化・変質も考えられるので、適正な環境に保管し、定期的な観察・点検をお願いしたい。

(出土木製品保存処理室・石川恵美)

保存処理及び出土遺物整理

参考文献

大国万希子他 1997 「出土曲物に可撓性をもたせる保存処理と復元」 『第19回文化財保存修復学会大会講演要旨集』 p 15-16

大国万希子 1997 「アルコール・キシレン・樹脂法による復元作業-出土曲物を中心に-」『創立三十周年記念誌』 (財元興寺文化財研究所 p99-103

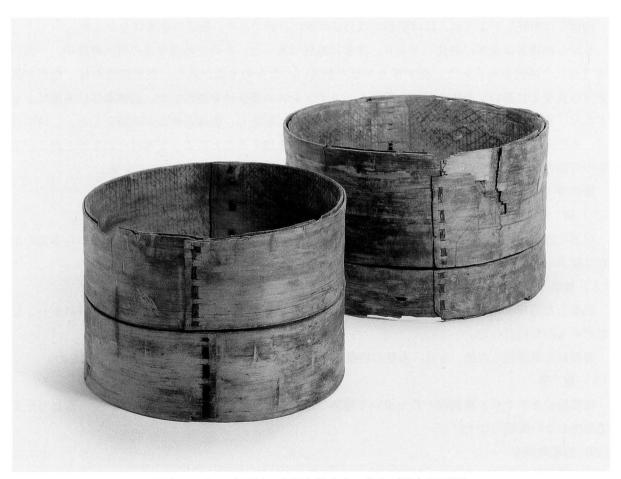


写真22 船ヶ谷遺跡 3 次調査地出土の曲物 (保存処理後)

IV 平成12年度 啓蒙普及事業

平成12年度の啓蒙普及事業

当埋蔵文化財センターは、松山市内における埋蔵文化財の発掘調査・研究とともに、出土遺物や記録資料などを収蔵し、保管している。発掘調査終了後は、遺跡の発掘調査報告書・パンフレットなどを作成し、随時現地説明会などを開催することにより、広く一般に公開している。

また附属の考古館・文化財情報館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会や一般対象の遺跡めぐり・講演会、小学生対象の体験学習セミナーを開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を援助しながら、埋蔵文化財保護思想の啓蒙普及に努めている。

1. 展示活動

考古館の常設展は、「海を媒体とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとしている。また立体的な展示を心掛けている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約8,200点である。

①松山市考古館活動報告写真展

考古館活動報告写真展「各駅停車、古代松山浪漫の旅IV」は、市民の方々に一年間の館活動を報告するとともに、広く埋蔵文化財に対して目を向けてもらうため、各種イベントの様子がわかる写真パネルを松山市庁舎本館1階ロビーにて展示したものである。

平成12年度は、考古学入門講座「チャレンジ考古学V」の講座風景や開館10周年記念事業の写真パネルなどを展示した。

②発掘調査速報展

発掘調査速報展「むかし・昔のまつやまを掘る」は、松山市内で相次いで発見された重要な遺跡・ 遺物を速報的に紹介し、また新たに発掘調査報告書が刊行された遺跡について、写真やイラスト・図 面を交えながら紹介するものである。

平成12年度は、前年度に発掘調査された遺跡のなかで、播磨塚天神山古墳を含む22遺跡を取り上げ、 その出土遺物を展示した。

③夏の企画展・自由学習室

この企画展は「Let's Challenge 君も今日から "古代職人"展!~題して、あなたの夏休みの宿題 を手伝い隊~」と題し、夏休み体験セミナー通算10 回目を記念して実施した。過去、当館において実施 してきた体験学習セミナーのノウハウをダイジェス ト的に紹介した展示会である。

また期間中、小学生以上を対象に1階エントランスの一部を学習室として開放した。



写真1 夏の企画展 「Let's Challenge 君も今日から"古代職人"展!」

表 1 展示活動

ř – マ	会 期	会 場	入館者数
考古館活動報告写真展 「各駅停車、古代松山浪漫の旅 IV」	平成12年4月6日(木) ~4月14日(金)	市庁舎本館 1階ロビー	_
発掘調査速報展 「むかし・昔のまつやまを掘る」	平成12年4月22日(土) ~6月11日(日)	特別展示室	2,482
夏の自由学習室展 「君も今日から"古代職人"展!」	平成12年7月22日 (土) ~8月31日 (木)	特別展示室	592
夏休み親子体験学習セミナー展 「ガラス勾玉、作り隊!」レポート	平成12年8月24日 (木) ~9月17日 (日)	エントランス	_
特別展「中世湯の町エレジー 〜出土文化財にみる伊豫の中世社会〜」	平成12年10月21日(土) ~11月26日(日)	特別展示室	1,789
特別収蔵品展 「伊豫の匠者達~古代まつやまの木製品~」	平成13年2月17日(土) ~3月25日(日)	特別展示室	1,286

④夏休み親子体験学習セミナー作品展

「ガラス勾玉、作り隊!」レポート展は、小学生とその保護者が体験学習セミナーで製作した作品 (平成式ガラス勾玉)及び製作方法を展示・紹介したものである。

⑤特別展

特別展は、ひとつのテーマのもとに一定期間内で系統的に展示を行うものである。平成12年度は「中世湯の町エレジー ~出土文化財にみる伊豫の中世社会~」と題して中世の瀬戸内を中心とした対外交流を検証し、展示を展開した。

⑥特別収蔵品展

この展示会は、松山市埋蔵文化財センターに収蔵されている出土文化財をテーマ別に展示し、広く一般に公開することを目的としている。平成12年度は「伊豫の匠者達~古代まつやまの木製品~」と題し、過去に市内で発掘された木製品、特に什器を中心に展示を展開した。

2. 教育普及活動

教育普及活動としては、職員の資質向上を目的とした調査研究会と、一般市民を対象にした埋蔵文 化財保護思想の啓蒙を目的とした講演会・夏休み親子体験学習セミナー・講座などがある。

①調査研究会

発掘現場における調査方法や報告書作成のための各分野での第一人者を招聘し、助言を頂き、職員 の資質の向上をめざしている。

表 2 教育普及活動 (調査研究会)

(敬称略)

テーマ	日 時	会 場	講師
弥生の技術革新	平成12年8月28日(月)	講堂	愛知県安城市歴史博物館 岡安 雅彦
咸安タイプ陶質土器	平成12年11月20日(月)	講堂	京都府京都文化博物館 定森 秀夫

②講演会

平成12年度は、発掘調査報告会・特別展記念講演会・特別収蔵品展記念講演会を開催した。 発掘調査報告会「むかし・昔のまつやまを語る」は、前述の発掘調査速報展開催期間中に調査係長 による統括報告及び3名の調査担当者による調査研究報告が行われた。

特別展記念講演会は、特別展を記念して開催し、2名の先生方に中世における文化・物流について 熱く語っていただいた。

特別収蔵品展記念講演会は、当センターの保存処理担当技師が基調報告を行った後、古代の木工技術・木文化をテーマに2名の先生方に講演していただいた。

表 3 教育普及活動 (講演会)

(敬称略)

テ ー マ	日 時	会場	講師(報告者)	聴講者数
発掘調査報告会 「むかし・昔のまつやまを語る」	平成12年 4 月22日(土)	講堂	当埋文センター調査係長 田城 武志 当埋文センター調査員 河野 史知 が 橋本 雄一 の 吉岡 和裁	160人
特別展記念講演会	平成12年10月21日(土)	講堂	国立福井工業高等専門学校教授 荻野 繁春 (財) 愛媛県埋文調査センター 中野 良一	120人
特別収蔵品展記念講演会	平成13年3月17日(土)	講堂	(財) ユネスコ・アジア文化センター 保護協力事務所研修事業部長 工樂 善通 愛媛大学法文学部教授 田﨑 博之 当埋文センター調査員 山本 健一	120人



写真 2 特別展記念講演会 (講師:中野良一氏)



写真 3 特別収蔵品展記念講演会 (講師:工樂善通氏)

③夏休み親子体験学習セミナー むかし探検隊「ガラス勾玉、作り隊!」

第10回目を迎えた平成12年度夏休み親子体験学習セミナーは、子供たちの自由な発想で古代風ガラス勾玉を製作体験することで古代人の苦労や知恵を学ぼうというもので、子供たちの社会科学習の一助とするだけではなく、自主性と創造力を養うことをねらいとしている。

④クリスマス特別企画「X'マスはガラス勾玉贈り隊!

当館では例年、夏季に児童とその保護者を対象に体験学習セミナーを実施しているが、以前より 「一般向けの体験機会を」との要望が寄せられていた。本企画は、一般市民のみを対象に夏の体験学 習セミナーを若干アレンジして実施した。

表 4 教育普及活動(体験学習セミナー)

テーマ	日 時	会 場	参加者数
夏休み親子体験学習セミナー 「ガラス勾玉、作り隊!」	制作編 平成12年8月5日 (土) 焼成編 8月19日 (土)	情報館 屋外	21人 21人
クリスマス特別企画 「X'マスはガラス勾玉贈り隊!」	平成12年12月3日(日)	考古館 屋外	35人

⑤ 現地説明会

平成12年度は、合計10ヶ所の遺跡において現地説明会を開催した。こうした遺跡の見学を通してより一層埋蔵文化財への興味・関心を持ってもらうため、開催するものである。

中でも東本遺跡 6 次調査地や船ヶ谷遺跡 4 次調査地、来住廃寺周辺の久米高畑遺跡などは、多く市 民が見学に訪れた。

表 5 教育普及活動 (現地説明会)

遺跡名	日 時	内 容	見学者数
束本遺跡 6 次調査地	平成12年6月24日(土) 10:30~11:30	弥生時代の遺構(竪穴式住居址)、中世の 遺構(土坑墓・土坑・柱穴)、遺物(弥生土 器・土師器・須惠器・石器・鉄器等)	120人
久米高畑遺跡46次調査地		弥生時代中期の遺構(溝)、遺物(弥生土 器・中世土器、石器等)	
久米高畑遺跡47次調査地	平成12年7月9日 (日) 13:00~15:00	古代の遺構(柱穴)、近現代の遺構(戦時 中の塹壕)	70人
来住廃寺26次調査地		古代(塔基壇)	
来住町遺跡10次調査地	平成12年8月20日(日) 15:00~17:00	古墳時代後期〜中世の遺構(竪穴式住居址・ 溝・土坑)、遺物(土師器・須恵器・白磁・ 瓦器等)	20人
船ヶ谷遺跡4次調査地	平成12年9月9日 (土) 10:30~11:30	弥生~古墳時代の遺構(竪穴式住居址・掘 立柱建物址・土坑等)、遺物(弥生土器・陶 質土器、石器等)	150人
来住町遺跡11次調査地		弥生時代の遺構 (竪穴式住居址・土坑・柱 穴)、古墳時代~古代の遺構 (竪穴式住居址 ・掘立柱建物址)	
久米高畑遺跡49次調査地	ア成 12年 1月30 日(日) 13:00~	古代の遺構(掘立柱建物址・溝等)、遺物 (軒丸瓦等)	100人
久米高畑遺跡50次調査地	弥生時代の遺構(竪穴式住居址・土坑・		
松ヶ谷遺跡	平成13年3月24日 (土) 10:00~11:30	弥生時代の遺構(竪穴式住居址・土坑・柱 穴)、遺物(土器、石器等)	100人
筋違P遺跡	平成13年3月30日(土)	古墳時代の遺構 (竪穴式住居址・掘立柱建 物址)、遺物 (土師器等)	80人

⑥まいぶん映画会

まいぶん映画会は、一般観覧者を対象としており、第2・4土曜日及び毎週日曜日・祝祭日の午前10時・午後1時30分の2回上映している。上映する映画の内容は、考古学関係のわかりやすいアニメーションから専門的なものまで幅広い。

⑦博物館実習

平成6年度より博物館学芸員資格の取得を希望する人のための博物館実習を実施している。12年度は、8月16日~8月25日、9月23日、10月21日の日程で、愛媛大学生7名を受け入れた。展示実習(常設展示解説・来館者案内)、写真実習(機材の取り扱い・撮影技術)、保存処理(技術・工程)などのカリキュラムを実施した。

⑧職場体験

当センターでは、中学校教育の一環として実施されている「職場体験学習」を受託している。平成 12年度は、2校の生徒を受け入れ、埋蔵文化財の発掘調査業務を体験していただいた。

表 6 教育普及活動(職場体験学習)

学 校 名	日 時	場所(発掘現場)	参加者数
松山市立久米中学校	平成12年7月13日 (木)	来任町遺跡/0次調直地	8人
松前町立北伊予中学校	平成12年10月19日(木)	来住廃寺	1人

⑨考古学入門講座「チャレンジ考古学V |

一般市民向けの「わかりやすい、やさしい考古学」を目指し、平成8年度から実施している。平成12年度は、1名の外部講師を招聘し、講座内容を松山平野を中心に県内全域まで拡大した。また発掘調査現場見学等を取り入れることで、よりグローバルな展開を模索している。

表 7 教育普及活動 (考古学講座)

回	テ ー マ	日 時	会場	講師	受講者数
1	松山平野の古代遺跡	平成12年9月9日(土)	講堂	当センター調査員 橋本 雄一	29人
2	発掘現場見学	平成12年9月23日(土)	来住廃寺	当センター学芸係長 西尾 幸則 〃 調査員 橋本 雄一	31人
3	古代の器と瓦	平成12年11月11日(土)	講堂	当センター学芸員 小笠原善治	21人
4	中世の城ー湯築城	平成12年11月25日(土)	講堂	脚愛媛県埋文調査センター調査員 柴田 圭子氏	20人
5	中世土器	平成12年12月9日(土)	講堂	当センター調査主任(文化教育課) 栗田 正芳	24人

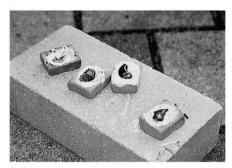


写真4 ガラス勾玉(体験学習)



写真 5 チャレンジ考古学 V (講師:橋本雄一調査員)

3. 収集・保管活動

①埋蔵文化財関連

平成12年度は、松山市久米周辺にて出土・採集され、平成9年度に当センターへ寄託されていた資料の寄贈を受けた。今後も継続して整理・研究を実施する。

②その他

古代ハス 平成10年4月に松山市農業指導センターより古代ハスの株分けを受けた。この古代ハスは、平成8年1月に、中国大連市の観光訪問団が表敬訪問で松山を訪れた際、大連市観光局局長の張宏安氏から、大連市で出土した1千年前のハスの種が松山市に贈呈された。その後、市農業指導センターで育成されてきたものである。平成12年度は、生育不良のため開花していない。

4. 広報·出版活動

広報・出版活動としては、考古館主催の展示会・講演会などを開催する際に、多くの観覧者を募るためにポスターやパンフレットを発刊したり、発掘調査を行った遺跡について、発掘調査報告書を刊行している。研究者はもとより、一般市民においても、これらの出版物を大いに活用していただくことで、埋蔵文化財保護の啓蒙普及に役立つものと思われる。

表 8 広報・出版活動 (展示・行事等)

出 版 物 名	発行日	対 象	版型・頁	部 数
⁸ 掘調査速報展 案内状	平成12年4月	一般	ハガキ	4,000
// ポスター	"	"	A 2	200
<i>γ</i> パンフレット	"	"	A 4 · 35頁	600
	//	聴講者	B 4 · 21頁	180
「ザ・古代伊豫路」(中予編)旅のしおり	平成12年5月	参加者	A 4 · 14頁	50
夏休み企画展ポスター	平成12年7月	一般	A 2	200
 夏休み親子体験学習セミナー パンフレット	"	教師	A 4 · 16頁	70
" "	"	参加者	A 4 · 18頁	50
ク 報告展 ポスター	平成12年8月	一般	A 2	20
クリスマス体験学習セミナー パンフレット	平成12年12月	"	A 4 · 12頁	40
考古学入門講座 レジメ(1)	平成12年9月	受講生	A 3 · 4 頁	70
" (2)	"	"	B4·5頁	70
"	平成12年11月	"	A 3 · 5 頁	70
" (4)	"	"	A 3 · 5 頁	70
<i>"</i> (5)	平成12年12月	"	A 3 · 14頁	70
特別展 案内状	平成12年10月	一般	ハガキ	3,000
ル ポスター	"	"	В 2	500
ル リーフレット	"	"	A 4	5,000
<i>η</i> パンフレット	"	"	A 4 · 4 頁	3,000
	"	"	A 4 · 28頁	500
〃 記念講演会 レジメ(1)	"	聴講者	B 4 · 11頁	150
〃 記念講演会 レジメ (2)	"	"	A 3 · 13頁	150
特別収蔵品展 案内状	平成13年2月	一般	ハガキ	1,600
ル ポスター	"	"	A 2	250
/ パンフレット .	"	"	A 3 · 2 頁	1,000
ル リーフレット	"	"	A 4 · 2 頁	2,000
〃 記念講演会 レジメ	平成13年3月	聴講者	A 3 · 41頁	250
生涯学習フェスタ2001用 埋文パンフレット	平成13年3月	来場者	A 4 · 10頁	80

表 9 広報·出版活動 (調査報告書等)

報告 書名	発行日	対 象	版型・頁	部 数
松山市埋蔵文化財調査年報 12 (平成11年度)	平成13年1月31日	一般	A 4 本 文145頁	1,000
松山市文化財調查報告書 第79集 東雲神社遺跡	平成13年2月28日	一般	A 4 本 文 24頁 写真図版 12頁	1,000
松山市文化財調査報告書 第80集 斎院の遺跡Ⅱ -鳥越、津田中学校構内、北斎院地内-	平成13年3月31日	一般	A 4 本 文172頁 写真図版 26頁	1,000
松山市文化財調査報告書 第81集 小野地区の遺跡 - 北梅本悪社谷遺跡 2 次調査地、北梅本北池遺跡、北梅本太尺寺遺跡 -	平成13年3月31日		A 4 本 文156頁 写真図版 8頁	1,000
松山市文化財調查報告書 第82集 東野中畦遺跡	平成13年3月31日	一般	A 4 本 文 76頁 写真図版 20頁	1,000
松山市文化財調查報告書 第83集 播磨塚天神山古墳	平成13年3月31日	一般	A 4 本 文112頁 写真図版 25頁	1,000
松山市文化財調査報告書 第84集 福音寺地区の遺跡Ⅲ	平成13年3月31日	一般	A 4 本 文236頁 写真図版18 頁	1,000

5. 施設の利用

当センターでは、主催事業だけではなく、考古学関連団体主催の研究会の会場として利用してもら

い、広く一般市民にも積極的に参加を呼びかけている。特に、愛媛大学法文学部下條信行教授を会長 とした瀬戸内海考古学研究会が奇数月第4土曜日に定期的に開催されている。

表10 施設の利用 (瀬戸内海考古学研究会)

(敬称略)

回	テ ー マ	日 時	会場	講師
60	「前・中期古墳における 副葬用鉄器の展開」	平成12年 5 月29日(土)	講堂	愛媛大学埋文調査室 山村 芳貴
61	「阿方遺跡における 弥生土器の検討」	平成12年7月22日(土)	講堂	(財愛媛県埋文センター 真鍋 昭文
62	「愛媛県における 前方後円墳の検討」	平成12年9月30日(土)	講堂	愛媛県歴史文化博物館 冨田 尚夫
64	「発掘成果からみた 河後森城跡の諸段階」	平成13年2月3日(土)	講堂	松野町教育委員会 高山 剛
65	「埴輪にみる地域色 〜朝倉村・樹の本古墳、松山市・三島 神社古墳出土の埴輪再検討より〜」	平成13年3月24日(土)	講堂	財愛媛県埋文センター 山内 英樹

表11 (愛媛考古学協会)

(敬称略)

テーマ	日 時	会場	講 師
1. 平成12年度愛媛考古学協会総会 2. 「謎の中世石像物を追う」	平成12年4月16日(日)	講堂	愛媛考古学協会会員 十亀 幸雄

6. 資料の貸出

当センターでは、各博物館や教育委員会主催事業の出品、研究者の要望に応えるべく、可能な限り の資料の貸出を行っている。

表12 資料の貸出・利用

(敬称略) (1)

貸出資料名	遺跡名	点数	貸出·利用目的(期間)	貸出先(利用者)
分銅形土製品	祝谷六丁場遺跡	6点	写真掲載・展示	滋賀県立安土城考古博物館
"	祝谷アイリ遺跡	2点		
"	文京遺跡 3 次調査	1 点		
"	文京遺跡 4 次調査	1 点		
"	道後鷺谷遺跡	1点		
"	福音小学校構内遺跡	2点		
"	樽味四反地遺跡 3 次	1点		
軒丸瓦	来住廃寺15次調査	4 点	写真掲載・展示	愛媛県歴史文化博物館
軒平瓦	"	2 点		
円面硯	来住廃寺	1点		
須恵器	"	3点		
土師器高盤	"	1点		
墨書土器	南久米町遺跡	1点		
軒丸瓦	久米高畑遺跡	1点		
須恵器	*	1点		
人形	前川Ⅱ遺跡	5点		
土馬	岩崎遺跡	1点		
蔵骨器	かいなご3号墳	1点		
蔵骨器蓋	"	1点		
軒丸瓦	中ノ子廃寺	1 点		
軒平瓦	"	1点		
平形銅剣	祝谷六丁場遺跡	1点	写真掲載	愛媛大学法文学部
				吉田 広
尖頭器	束本遺跡 4 次調査	1点	実測 (調査研究)	側愛媛県埋文調査センター
尖頭器	祝谷六丁場遺跡	1点		多田 仁
館内写真	常設展示室内	1点	資料収集	山口市教育委員会
				青島 啓

(2)

				(2,
貸出資料名	遺跡名	点数	貸出‧利用目的(期間)	貸出先(利用者)
直輪・須恵器	大峰ヶ台遺跡 9 次	/定一	資料集成	愛媛大学法文学部
頁惠器	船ヶ谷遺跡2次調査	一式		三吉 秀充
頁恵器	辻町遺跡1次調査	一式		
頁惠器	辻町遺跡2次調査	一式		
頁恵器	筋違C・E・H遺跡	一式		
頁恵器	船ヶ谷三ツ石古墳	一式		
頁恵器	桧山峠 7 号墳	一式		
頂恵器	樽味高木遺跡 4 次	一式		
頁惠質紡錘車	来住町遺跡 9 次	4点	講義資料	愛媛大学教育学部
万製紡錘車	,,	4点		田邊 勝利
貴跡写真	東本遺跡 4 次	5点	写真展示	愛媛銀行桑原支店
遺跡写真	畑寺 6 号墳	2点		渡部 久
遺跡写真	樽味高木遺跡 3 次	4 点		
貴跡写真	模味四反地遺跡 5 次	1点		
貴跡写真	東野お茶屋台遺跡	2点		
_{夏弥子兵} 貴跡写真	桑原地区	1点		
		一式	調査研究	愛媛県歴史文化博物館
須恵器 四笠埴齢	三島神社古墳	一式	PP4_DL_HV 7G	富田 尚夫
円筒埴輪				人间 山田
装身具	4日公二二丁IE.28.84	一式	(F) 古 +日 郵)	(財沖縄県文化振興会
貝輪写真	祝谷六丁 場 遺跡 。日	1点	写真掲載	则州相乐义 化派兴宏
壺棺写真		1	(→+ 19t) / →- ₩-→- \\-	女
弥生土器	松山大学構内 2 次	一式	実測(卒業論文)	奈良大学文学部
弥生土器	松山大学構内 3 次	一式		豊福・恵子
弥生土器	福音小学校構内遺跡	一式		
陶質土器	伝小野出土	1点	実測(卒業論文)	京都橘女子大学文学部 川本 紀子
弥生土器	朝美澤遺跡	一式	実測(卒業論文)	明治大学文学部 山崎 成子
公中区主	光 凯尼二会由	1 4	資料収集	津島町 橘 敬志郎
館内写真	常設展示室内	1点		岡山大学大学院
弥生土器	座拝坂遺跡	一式	実測(修士論文) 	下江健太
弥生土器	道後鷺谷遺跡	一式		174. 医八
弥生土器	松山大学構内遺跡	一式		1. 松町装本禾号△
石室模型	葉佐池古墳	一式	展示	小松町教育委員会
五鈴鏡 —————	空田池中島古墳	1点	写真資料収集	品川区 清川 之男
石器	祝谷六丁場遺跡	33点	実測・写真撮影(卒業論文)	愛媛大学法文学部
石器	祝谷本村遺跡	2点		中
石器	祝谷アイリ遺跡	3点		
石器	大峰ヶ台遺跡	4 点		
石器	文京遺跡	1点		
石器	松山大学構内遺跡	4 点		
石器	樽味高木遺跡	1点		
石器	釜ノ口遺跡	1点		
館内写真	弥生時代生活復元	1点	写真掲載	株式会社京都科学
館内写真	土器ジグゾーパズル	1点		
館内写真	土器クイズ	1点		
陶質土器	船ヶ谷遺跡4次調査	1点	写真掲載	朝日新聞社出版局
弥生土器	文京遺跡 2 次調査	一式	実測(卒業論文)	愛媛大学法文学部
弥生土器	文京遺跡 3 次調査	一夫		上山 喜也
弥生土器	松山大学構内 3 次	一式		
壺形土器	釜ノ口遺跡 9 次	2点	実測:写真撮影(修士論文)	愛媛大学大学院
亞ルエ帝 土器	古屋敷A遺跡	2点	The American Approximation of the Hills of t	武田 尊子
工 部 館内写真	常設展示室内	27点	資料収集	松山地方局林業課
		1点		愛媛大学法文学部
鉄鏃	釜ノ口遺跡	Į.	大郎 (十木間 人)	半沢 直也
鉄鏃	福音小学校構内遺跡	1点		十八 直也
鉄鏃	松山大学構内3次	2点		
鉄鏃	東本遺跡 4 次調査	2点	No. del des Ma	(c) c ulle in Land.
須恵器	駄馬姥ヶ懐1号窯址	一式	資料収集	脚香川県埋文調査センター
須恵器	枝朶下池3号窯址	一式		佐藤 竜馬
須恵器	悪社谷1号窯址	一一式		

(3)

貸出資料名	遺跡名	点数	貸出·利用目的(期間)	貸出先(利用者)
備前焼壺	古照遺跡 6 次調査	1点	写真掲載・展示	愛媛県歴史文化博物館
銭貨	"	56点		文
土師器皿	古照遺跡11次調査	11点		
銭貨	//	10点		
土師器坏	北斎院地内遺跡2次	1点		
銭貨	70 MINE ME 1 1 ME MIN 2 90	1点		
土師質土器杯	北斎院地内遺跡1次	5点		
土師質土器杯	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /			
	"	3点		
		16点		
土師質土器皿	来住廃寺15次調査	1点		
銭貨	" - TEXT 1- TEXT 1 - TEXT	18点		
土師質土器皿	東野お茶屋台5次	6点		
銭貨	<i>"</i>	4点		
二禽二獸鏡	朝日谷2号墳	1点	写真掲載・展示	唐津市末廬館
斜縁二神二獣鏡	"	1点		
鉄剣	"	1点		
太刀	"	1点		
銅鏃	"	30点		
二重口縁壺	"	1点		
分銅形土製品	祝谷六丁場遺跡	10点	実測 (卒業論文)	愛媛大学法文学部
分銅形土製品	祝谷アイリ遺跡	2点		本田 綾
分銅形土製品	文京遺跡 3 次調査	5 点		
分銅形土製品	松山大学構内遺跡	5点		
埴輪	三島神社古墳	一括	資料集成	側愛媛県埋文調査センター
埴輪	船ヶ谷向山古墳	一括		山内 英樹
埴輪	大池東古墳群	一括		
石器	祝谷六丁場遺跡	169点	実測・写真撮影 (卒業論文)	愛媛大学法文学部
石器	松山大学構内3次	17点	,	田中いづみ
石器	岩崎遺跡	9点		
石器	祝谷アイリ遺跡	5点		
石器	斎院烏山遺跡	3点		
石器	中村松田遺跡	4点		
石器	筋違F遺跡	5点		
石器	釜ノ口遺跡8次	3点		
石器	岩崎遺跡	6点	実測・写真撮影 (卒業論文)	愛媛大学法文学部
石器	古市遺跡	1点	大阪 子兵城形 (十米晡文)	
石器	釜ノ口遺跡7次	1点		山本 真也
石器	金ノ口遺跡 7次			
石器		3点		
石器	文京遺跡1次調査	7点		
	文京遺跡 3 次調査	7点		
石器	文京遺跡 4 次調査	1点		
石器	祝谷六丁場遺跡	11点	PHONIL (PROMISE A L.)	
須恵器	駄馬姥ヶ懐1号窯址	20点	実測 (卒業論文)	愛媛大学法文学部
TE TO ALL AN	MAS A SERVICE	1		宮脇 和人
平形銅剣	祝谷六丁場遺跡	1点	実測	愛媛大学法文学部
		-		吉田 広
円面硯	南久米片廻り2次	1点	写真掲載・展示	徳島市立考古資料館
円面硯	久米高畑遺跡22次	2 点		
円面硯	七ノ坪遺跡	1点		
円面硯	常堰遺跡	1点		
円面硯	樽味四反地遺跡 5 次	4点		
円面硯	来住廃寺	1点		
墨書土器	前川遺跡	1点		
墨書土器	南久米遺跡	1点		
刻書土器	久米高畑遺跡	1点		
堰写真	古照遺跡	1点	写真掲載	講談社
館内写真	大渕遺跡	5点	公民館活動に使用	太山寺町 佐々木信貴
館内写真	常設展示室内			
貼鬥与具	吊設展示室内	24点	学習資料	中央町 吉岡 健二

7. 職員研修・会議

当センターでは、毎年、奈良国立文化財研究所で実施されている発掘技術者研修をはじめとして、 各種研修・行事に参加している。こうした研究や会議に積極的に参加することにより、職員の資質向 上と業務の円滑な推進を図っている。

表13 職員研修・会議

研修 · 会議名	開催地	日 程	参加者数	
全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会	浜松市	平成12年6月8日~6月9日	1名	
第12回埋藏文化財写真技術研究会	奈良市	平成12年7月7日~7月8日	1名	
全国埋蔵文化財法人連絡協議会 コンピューター等研究委員会	徳島市	平成12年9月7日~9月8日	2名	
四国埋藏文化財法人実務担当者会	新居浜市	平成12年9月28日~9月29日	2名	
全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会	山口市	平成12年10月5日~10月6日	2名	
埋藏文化財発掘技術者專門研修 『遺跡環境調査課程』	奈良市	平成12年10月17日~10月26日	1名	
全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	鳥取市	平成12年10月26日~10月27日	3名	
埋蔵文化財発掘技術者専門研修 『報告書作成課程』	奈良市	平成13年1月10日~1月19日	1名	

表14 平成12年度 考古館月別入館者数調(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

月	開館 日数	一般	児 童 生 徒	団 体 一 般	団 体 児童生徒	老人	小中高生等 無料入館者	速報展等無料入館者	入館者 合 計	一日平均 入 館 者
4	26	230	55	34	0	130	348	378	1,175	45
5	25	202	79	40	155	53	1,450	2,174	4,153	166
6	26	121	27	4	16	81	40	322	611	24
7	25	133	50	74	28	84	304	303	976	39
8	27	234	118	0	0	44	4	492	892	33
9	25	109	33	51	0	136	0	76	405	16
10	26	197	58	34	213	364	430	214	1,510	58
11	24	291	82	143	199	226	231	77	1,249	55
12	24	117	11	0	0	58	134	33	353	15
1	21	73	15	0	0	26	0	35	149	7
2	24	188	50	92	0	95	19	137	581	24
3	26	234	27	0	0	101	410	189	961	37
計	299	2,129	605	472	611	1,398	3,370	4,430	13,015	44

8. 松山市文化財情報館

松山市文化財情報館は、松山市内で出土した文化財を整理・保管し、その活用を図るとともに市民 に開かれた歴史学習の場の提供を行うための施設設備の充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館 と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

開館 日 月~金曜日(祝祭日を除く)

開館時間 午前9時~午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

松山市埋蔵文化財調査年報 13

平成13年10月31日 発行

編·集 松 山 市 教 育 委 員 会

〒790-0003 松山市三番町6丁目6-1 TEL(089)948-6605

財団法人 松山市生涯学習振興財団 埋蔵文化財センター

〒791-8032 松山市南斎院町乙67番地6 TEL(089)923-6363

印刷原印刷株式会社 〒790-0056松山市土居田町396-6 TEL(089)974-8711

